

リファレンス

# Novell. ZENworks® 10 Asset Management SP3

10.3

2010年3月30日

[www.novell.com](http://www.novell.com)



## 保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容または本書を使用した結果について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、本書の商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる明示的または黙示的な保証も否認し、排除します。また、本書の内容は予告なく変更されることがあります。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また、ノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性について、いかなる明示的または黙示的な保証も否認し、排除します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の下で提供される製品または技術情報はすべて、米国の輸出規制および他国の商法の制限を受けます。お客様は、すべての輸出規制を遵守し、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出に関する詳細については、[Novell International Trade Services の Web ページ \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) を参照してください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2007-2010 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複製転載することは、その形態を問わず禁じます。

本書に記載された製品で使用されている技術に関連する知的所有権は、弊社に帰属します。これらの知的所有権は、[Novell Legal Patents の Web ページ \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/) に記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell, Inc.  
404 Wyman Street, Suite 500  
Waltham, MA 02451  
U.S.A.  
[www.novell.com](http://www.novell.com)

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell マニュアルの Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) を参照してください。

## **Novell の商標**

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

## **サードパーティ資料**

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。



# 目次

このガイドについて	11
ページのパートI ライセンスコンプライアンス	13
<b>1 ライセンスコンプライアンスの概念</b>	<b>15</b>
1.1 ライセンスコンプライアンスコンポーネント	15
1.2 エンタイトルメント	18
1.2.1 エンタイトルメントタイプ	19
1.2.2 ライセンスモデル	19
1.2.3 ユーザベースライセンスモデルのユーザーソース	21
1.2.4 ライセンス期間	22
1.2.5 複数エンタイトルメントのコンプライアンス計算	22
1.3 インストールデータ	23
1.4 ライセンスデータ	23
1.5 スイートとソフトウェアコレクション	24
1.6 バージョンのアップグレード	24
<b>2 ライセンスコンプライアンスのセットアップ</b>	<b>27</b>
2.1 管理ゾーンの準備	27
2.2 ソフトウェア製品のコンプライアンスのセットアップ	28
2.3 コンプライアンスの監視	30
<b>3 コンプライアンス設定の設定</b>	<b>31</b>
<b>4 コンプライアンスステータスの監視</b>	<b>33</b>
4.1 ホームページ	33
4.2 ライセンス製品リスト	33
4.3 ライセンス製品のコンプライアンスステータスページ	34
4.3.1 ライセンスコンプライアンス (使用データソース: インベントリ)	35
4.3.2 コンプライアンスステータス (使用データソース: インベントリ)	36
4.3.3 未解決のインストール	37
4.3.4 コンプライアンスステータス (使用データソース: 手動)	39
<b>5 コンプライアンスレポートの生成</b>	<b>41</b>
<b>6 ライセンス製品の操作</b>	<b>43</b>
6.1 ライセンス製品リストの表示	43
6.2 ライセンス製品リストのフィルタリング	44
6.3 ライセンス製品フォルダの作成	45
6.4 コンプライアンスステータスの更新	46
6.4.1 ステータスの自動更新	46
6.4.2 更新の手動トリガ	46
6.4.3 リフレッシュの詳細の表示	47
6.5 ライセンス製品の作成	47

6.5.1	ライセンス製品の手動作成	47
6.5.2	検出製品からのライセンス製品の作成	48
6.6	ライセンス製品の一般情報の変更	51
6.7	ライセンス製品へのカスタムフィールドの追加	52
6.8	ライセンス製品のマージ	54
6.9	ライセンス製品の削除	54
6.10	ライセンス製品の移動	55
<b>7</b>	<b>エンタイトルメントの操作</b>	<b>57</b>
7.1	ライセンス製品のエンタイトルメントの表示	57
7.2	エンタイトルメントの作成	58
7.2.1	インベントリエンタイトルメントの作成	59
7.2.2	手動エンタイトルメントの作成	61
7.3	カタログ製品の追加	63
7.3.1	エンタイトルメントの編集によるカタログ製品の追加	63
7.3.2	カタログ製品リストの使用によるカタログ製品の追加	64
7.4	購入概要レコードの追加	64
7.5	検出製品の追加	65
7.5.1	エンタイトルメントの編集による検出製品の追加	66
7.5.2	検出された製品リストの使用による検出製品の追加	66
7.6	ユーザとデバイスの範囲の指定	67
7.6.1	OEM エンタイトルメントとマシンエンタイトルメントへの対象デバイスの追加	68
7.6.2	名前付きユーザごとエンタイトルメントへの対象ユーザの追加	69
7.6.3	ユーザごとエンタイトルメントからのユーザの除外	70
7.7	契約とドキュメントの追加	71
<b>8</b>	<b>検出製品の操作</b>	<b>73</b>
8.1	インストールされたソフトウェア製品が検出製品になるプロセス	73
8.2	検出製品リストの表示	74
8.3	検出製品リストのフィルタリング	74
8.4	コンプライアンス計算からの検出製品の除外	76
8.5	ライセンス製品への検出製品の追加	76
8.5.1	エンタイトルメントの編集による検出製品の追加	76
8.5.2	検出された製品リストの使用による検出製品の追加	77
8.6	ソフトウェアコレクションへの検出製品の追加	78
8.7	検出製品のインストールの表示	78
8.8	検出製品のインストールカウントの調整	79
8.9	標準カテゴリの割り当て	81
8.10	検出製品に含まれているインベントリ製品の表示	82
8.11	コンプライアンスステータスの更新	83
8.11.1	ステータスの自動更新	83
8.11.2	更新の手動トリガ	84
8.11.3	リフレッシュの詳細の表示	84
<b>9</b>	<b>購買記録の操作</b>	<b>85</b>
9.1	購買記録リストの表示	85
9.2	購買記録リストのフィルタリング	86
9.3	購買記録フォルダの作成	86
9.4	購入記録の作成	87
9.4.1	購入記録のインポート	87
9.4.2	手動での購入記録の作成	89

9.5	購買記録の詳細の表示	91
9.6	購買記録の一般情報の変更	93
9.7	購買記録の削除	93
9.8	購買記録の移動	94
9.9	インポートファイルの操作	94
9.9.1	書式	94
9.9.2	フィールド	95
<b>10</b>	<b>カタログ製品の操作</b>	<b>101</b>
10.1	カタログ製品リストの表示	101
10.2	カタログ製品リストのフィルタリング	102
10.3	コンプライアンス計算からのカタログ製品の除外	103
10.4	購買記録のインポートによるカタログ製品の作成	104
10.5	手動でのカタログ製品の作成	104
10.6	カタログ製品への購入ライセンスの追加	105
10.7	ライセンス製品へのカタログ製品の追加	106
10.7.1	エンタイトルメントの編集によるカタログ製品の追加	106
10.7.2	カタログ製品リストの使用によるカタログ製品の追加	107
10.8	カタログ製品フォルダの作成	107
10.9	カタログ製品の購入レコードの表示	108
10.10	カタログ製品の一般情報の変更	109
10.11	カタログ製品の削除	110
10.12	カタログ製品の移動	110
<b>11</b>	<b>ソフトウェアコレクションの操作</b>	<b>111</b>
11.1	ソフトウェアコレクションのインストールをカウントする方法	111
11.2	ソフトウェアコレクションの作成	112
11.3	ソフトウェアコレクションへの製品の追加	112
11.4	ソフトウェアコレクションの削除	113
11.5	ソフトウェアコレクションフォルダの作成	114
11.6	ソフトウェアコレクションの移動	114
	<b>ページのパート II ライセンスの割り当て</b>	<b>115</b>
<b>12</b>	<b>ライセンス割り当ての概念</b>	<b>117</b>
12.1	割り当て対コンプライアンス	117
12.2	デバイス割り当てと統計割り当て	117
<b>13</b>	<b>統計データの準備</b>	<b>119</b>
13.1	デバイスへの統計データの追加	119
13.2	購買記録への統計データの追加	120
13.3	購買記録インポートファイルへの統計データの追加	122
13.4	デバイス / 購買記録間での統計データの一貫化	122
<b>14</b>	<b>ライセンスの割り当て</b>	<b>125</b>
14.1	割り当ての初期化	125
14.2	統計割り当ての手動追加	128
14.3	デバイス割り当ての手動追加	130

<b>15 ライセンス割り当ての操作</b>	<b>133</b>
15.1 統計割り当て用ライセンス数の調整	133
15.2 割り当ての削除	134
<b>16 割り当てレポートの生成</b>	<b>135</b>
<b>ページのパート III ソフトウェア使用状況</b>	<b>137</b>
<b>17 ソフトウェア使用状況の概念</b>	<b>139</b>
17.1 追跡対象のソフトウェア	139
17.2 使用状況データの収集時	140
17.3 基本的な使用状況データ対詳細な使用状況データ	140
<b>18 使用状況設定の設定</b>	<b>141</b>
<b>19 Web アプリケーションの設定</b>	<b>143</b>
<b>20 使用状況の監視</b>	<b>145</b>
20.1 検出製品リスト	145
20.2 ライセンス製品のコンプライアンスステータスページ	145
20.3 検出製品のインストール/使用ページ	146
<b>21 使用状況レポートの生成</b>	<b>149</b>
<b>ページのパート IV 契約</b>	<b>151</b>
<b>22 新規契約の作成</b>	<b>153</b>
<b>23 既存契約の操作</b>	<b>157</b>
23.1 契約リストの表示	157
23.2 契約リストのフィルタリング	158
23.3 契約フォルダの作成	159
23.4 既存の契約のコピー	159
23.5 契約へのドキュメントの追加	160
<b>24 日付通知の操作</b>	<b>163</b>
24.1 電子メールサーバの指定	163
24.2 デフォルト設定の設定	163
24.3 契約への日付通知の追加	165
24.4 日付の通知リストの表示	166
24.5 日付通知リストのフィルタリング	167
24.6 日付の通知フォルダの作成	168
24.7 日付通知の移動	168
24.8 日付通知の削除	168

<b>25 契約レポートの生成</b>	<b>171</b>
<b>ページのパート V 文書</b>	<b>173</b>
<b>26 ドキュメントのアップロード</b>	<b>175</b>
<b>27 ドキュメントの操作</b>	<b>177</b>
27.1 ドキュメントリストの表示	177
27.2 ドキュメントリストのフィルタリング	178
27.3 ドキュメントフォルダの作成	178
27.4 ライセンス製品、契約、および購入概要レコードへのドキュメントの添付	179
<b>ページのパート VI レポート</b>	<b>181</b>
<b>28 標準レポートとカスタムレポートの説明</b>	<b>183</b>
28.1 ライセンス管理レポート	183
28.1.1 標準レポート	183
28.1.2 カスタムレポートのサンプル	184
28.2 ソフトウェア使用状況レポート	184
28.2.1 標準レポート	185
28.2.2 カスタムレポートのサンプル	186
28.3 契約管理レポート	187
28.3.1 標準レポート	187
28.3.2 カスタムレポートのサンプル	188
<b>29 レポート権限の設定</b>	<b>189</b>
<b>30 レポート設定の設定</b>	<b>191</b>
<b>31 標準レポートの操作</b>	<b>193</b>
31.1 レポートの実行	193
31.2 レポートのエクスポート	194
31.3 レポートのグラフ表示	194
31.4 レポート期間の変更	194
31.5 フィルタ基準の変更	195
<b>32 カスタムレポートの操作</b>	<b>197</b>
32.1 カスタムレポートの作成	197
32.2 カスタムレポートの実行	198
32.3 カスタムレポートのスケジューリング	200
32.4 スケジュール済みカスタムレポートの表示	202
32.5 カスタムレポートの編集	203
32.6 カスタムレポートフォルダの作成	206
32.7 カスタムレポートフォルダの削除	206
32.8 カスタムレポートの移動	207
32.9 カスタムレポートの削除	207
32.10 新しいレポート定義のインポート	208

<b>33 ZENworks Reporting Server レポートの操作</b>	<b>209</b>
33.1 定義済みレポート . . . . .	209
33.1.1 ライセンス割り当てレポート . . . . .	209
33.1.2 購入レポート . . . . .	210
33.1.3 ソフトウェアコンプライアンスレポート . . . . .	210
33.1.4 スイートレポート . . . . .	211
33.2 事前定義レポートの表示 . . . . .	211

# このガイドについて

この『Novell ZENworks 10 Asset Management リファレンス』には、組織内でのソフトウェアライセンスの管理に役立つ情報が含まれています。このガイドの情報は、次のように構成されます。

- ◆ 13 ページのパート I 「ライセンスコンプライアンス」
- ◆ 115 ページのパート II 「ライセンスの割り当て」
- ◆ 137 ページのパート III 「ソフトウェア使用状況」
- ◆ 151 ページのパート IV 「契約」
- ◆ 173 ページのパート V 「文書」
- ◆ 181 ページのパート VI 「レポート」

## 対象読者

このガイドは、Novell® ZENworks® の管理者を対象としています。

## フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト \(http://www.novell.com/documentation/feedback.html\)](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

## 追加のマニュアル

ZENworks 10 Asset Management には、製品について学習したり、製品を実装したりするために使用できるその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式の両方) も用意されています。ZENworks 10 Configuration Management のマニュアル (<http://www.novell.com/documentation/zcm10/index.html>)。

## マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (\*) は、サードパーティの商標を示します。



# ライセンスコンプライアンス

Novell® ZENworks® Asset Management を使用すると、組織内のソフトウェア製品を監視することによって、ソフトウェアの展開がソフトウェアライセンスに準拠しているかどうかを知ることができます。

- ◆ 15 ページの第 1 章「ライセンスコンプライアンスの概念」
- ◆ 27 ページの第 2 章「ライセンスコンプライアンスのセットアップ」
- ◆ 31 ページの第 3 章「コンプライアンス設定の設定」
- ◆ 33 ページの第 4 章「コンプライアンスステータスの監視」
- ◆ 41 ページの第 5 章「コンプライアンスレポートの生成」
- ◆ 43 ページの第 6 章「ライセンス製品の操作」
- ◆ 57 ページの第 7 章「エンタイトルメントの操作」
- ◆ 73 ページの第 8 章「検出製品の操作」
- ◆ 85 ページの第 9 章「購買記録の操作」
- ◆ 101 ページの第 10 章「カタログ製品の操作」
- ◆ 111 ページの第 11 章「ソフトウェアコレクションの操作」



# ライセンスコンプライアンスの概念

# 1

ユーザによってインストールされた製品に必要なライセンスが組織の所有であることを確認することは、ライセンス管理の重要なコンポーネントです。一方、必要な数だけライセンスを購入することによって、コストを最小限に抑える必要もあります。

Novell® ZENworks® Asset Management は、ソフトウェア製品のライセンスコンプライアンスステータス ( 適合、適合超過、適合未満 ) の監視と報告によって、このバランスの達成を支援します。

次の各セクションでは、アセット管理を効果的に使用して組織内のソフトウェアライセンスコンプライアンスを管理する上で、理解しておく必要がある概念を紹介しています。

- [15 ページのセクション 1.1 「ライセンスコンプライアンスコンポーネント」](#)
- [18 ページのセクション 1.2 「エンタイトルメント」](#)
- [23 ページのセクション 1.3 「インストールデータ」](#)
- [23 ページのセクション 1.4 「ライセンスデータ」](#)
- [24 ページのセクション 1.5 「スイートとソフトウェアコレクション」](#)
- [24 ページのセクション 1.6 「バージョンのアップグレード」](#)

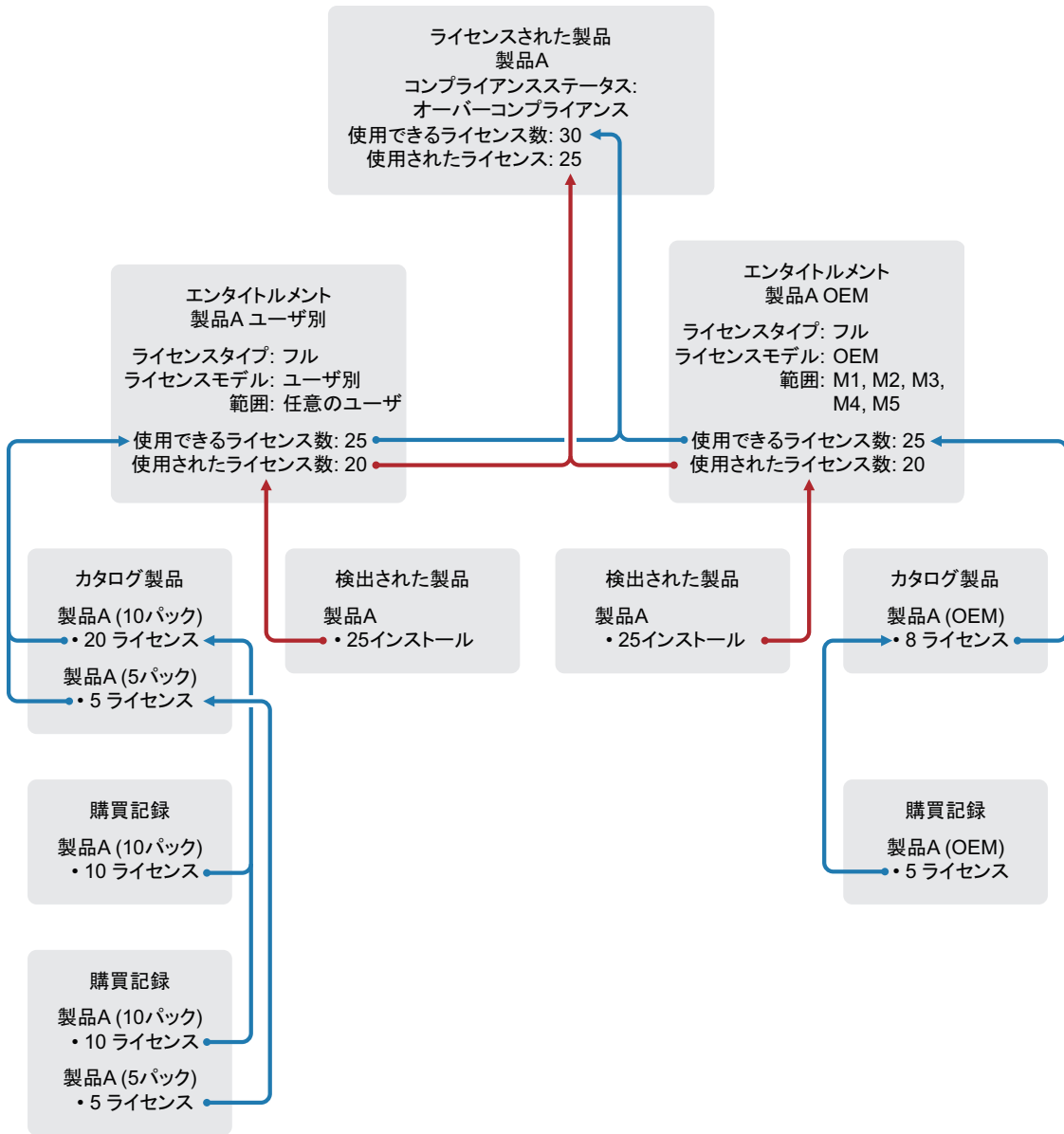
## 1.1 ライセンスコンプライアンスコンポーネント

組織内でのソフトウェア製品の展開がソフトウェア製品のライセンス記録に準拠しているかどうか知るには、その製品に関する 3 つの重要な情報を調整しなければなりません。

- **エンタイトルメント** : ソフトウェア製品に対する権利。次のような使用方法、使用場所、使用期間などを含みます。製品のプレインストール先の OEM マシンでしかその製品を使用できないかどうか。1 つのライセンスで複数のマシンに製品をインストールできるかどうか。製品のインストールごとにライセンスが必要かどうか。製品に有効期限があるかないか。これらの情報は、ソフトウェア製品の使用許諾契約またはソフトウェア購入契約に含まれています。
- **ライセンス** : 組織が購入したソフトウェア製品のライセンス数。通常、この情報は、ソフトウェアベンダが提供する購買記録に含まれています。
- **インストール数** : 組織内での実際のソフトウェア製品のインストール数。この情報は、ZENworks Asset Inventory で組織内のデバイスをスキャンすることにより取得できます ( それらのデバイスが ZENworks 管理ゾーンで登録されている場合のみ ) 。この情報は、手動でも取得できます。

次の図は、アセット管理が製品情報をまとめるために使用するコンポーネントを示しています。

図 1-1 コンプライアンスコンポーネント



**ライセンス製品：**ライセンス製品は、監視対象のライセンスコンプライアンスステータスを持つソフトウェア製品です。コンプライアンスステータスの決定に必要な情報（エンタイトルメント、インストール数、および購入ライセンス数）は、ライセンス製品のコンポーネント（エンタイトルメント、検出製品、カタログ製品、および購買記録）から取得されます。

ライセンス製品には、複数のバージョンをカバーするバージョンから独立した製品（製品 A など）と、バージョン固有の製品（製品 B バージョン 11 など）があります。

**ライセンスエンタイトルメント**：ほとんどの場合、同じ使用許諾契約によってソフトウェア製品のすべての購入がカバーされることはありません。一部の契約では、異なるライセンスタイプ（フル、アップグレードなど）、異なるライセンスモデル（ユーザごと、インストールごと、OEM など）、または異なるライセンス期間（永久または期限付き）が指定される場合があります。

ソフトウェア製品に関する異なる使用許諾契約は、それぞれ、一意のライセンスエンタイトルメントで表す必要があります。ライセンスエンタイトルメントは、ライセンスタイプ、ライセンスモデル、ライセンス期間など、契約の詳細を定義します。さらに、ライセンスエンタイトルメントは、製品のインストール数、購入ライセンス数、およびエンタイトルメントでカバーできる製品インストールのユーザとデバイスの情報も含みます。アセット管理は、エンタイトルメントの詳細、利用可能なライセンス数、（インストールによって）使用されたライセンス数、および範囲情報に基づいて、ライセンス製品のコンプライアンスステータスを決定します。

この例の製品 A には、2つのエンタイトルメントがあり、それらは、異なるライセンスモデルを持つ2つの使用許諾契約を表しています。

- ◆ OEM 使用許諾契約。OEM 使用許諾契約へのコンプライアンスを監視するため、カバーされている OEM マシン (M1、M2、M3、M4、M5) への製品のインストールが、OEM 使用許諾契約に照らし合わせて追跡されます。
- ◆ ユーザごと使用許諾契約。ユーザごとの使用許諾契約へのコンプライアンスを監視するため、他のすべてのインストールが、ユーザごとの使用許諾契約に照らし合わせて追跡されます。

エンタイトルメントの詳細については、[18 ページのセクション 1.2 「エンタイトルメント」](#) を参照してください。

**カタログ製品**：カタログ製品は、購入したライセンスの対象であるソフトウェア製品を識別します。カタログ製品のライセンスは、エンタイトルメントに追加されると、エンタイトルメントのインストールで使用できるようになります。

通常、カタログ製品は、特定の製品部品番号に対応します。たとえば、同じソフトウェア製品の 1 コピー、10 パック、および 100 パックを購入すると、それぞれの製品部品番号は異なります。その結果、それぞれが別個のカタログ製品になります。同様に、同じソフトウェア製品の 10 パックを 2 つ購入した場合も（1 つはフルライセンスパック、もう 1 つはアップグレードライセンスパック）、各パックが別個のカタログ製品になります。

結果として、1つのソフトウェア製品に複数のカタログ製品が存在することがあります。これによって、適切なエンタイトルメントに該当するカタログ製品を割り当てることができます。この例では、製品 A の非 OEM バージョンを表すカタログ製品を、製品 A のユーザごとエンタイトルメントに関連付けることにより、25 個のライセンスが利用可能になりました。製品 A の OEM カタログ製品は、製品 A の OEM エンタイトルメントに関連付けられて、5 個のライセンスが利用可能になっています。

カタログ製品の詳細については、[23 ページのセクション 1.4 「ライセンスデータ」](#) を参照してください。

**購買記録**：購買記録は、ソフトウェア製品用に購入されたライセンスの数の詳細を示します。これらのライセンスは、購入されたソフトウェア製品を表すカタログ製品にロールアップされます。

ソフトウェア製品の購入を繰り返すと、同じソフトウェア製品の購買記録がいくつも存在するようになります。この場合は、(各購買記録に含まれた)そのソフトウェア製品のライセンスが同じカタログ製品にロールアップされます。この例では、異なる2つの時期に製品 A(10 パック) が購入されていますが、両方の購買記録からのライセンスを製品 A(10 パック) のカタログ製品としてまとめています。

購買記録の電子ファイルがある場合は、それらの購買記録をインポートできます。購買記録ファイルのインポート時には、アセット管理によって、ファイルに記録されているソフトウェア製品のカタログ製品が生成されます。購買記録ファイルがない場合は、手動で購買記録を入力し、手動でカタログ製品を作成する必要があります。

詳細なソフトウェア購入情報を含む購買記録がない場合は、購入したライセンスを表す**購入概要**レコードを作成できます。購入の証拠として、補足資料を購入概要レコードに添付できます。

購買記録の詳細については、[23 ページのセクション 1.4 「ライセンスデータ」](#) を参照してください。

**検出された製品：** *検出製品* は、管理ゾーン内のインストールされたソフトウェア製品を表します。検出製品のインストールでは、エンタイトルメントに関連付けられていると、そのエンタイトルメントのライセンスを使用できます。

検出製品のインストールを (同じライセンス製品の) 異なるエンタイトルメントでカバーできる場合は、各エンタイトルメントにその検出製品を割り当てることができます。アセット管理のコンプライアンスエンジンは、エンタイトルメントのライセンスモデルと範囲に基づいて、各インストールをカバーするエンタイトルメントを決定します。

この例では、製品 A (検出製品) は、両方のエンタイトルメントに関連付けられています。製品 A の OEM エンタイトルメントでは、5 つのインストール (M1、M2、M3、M4、M5) でライセンスが使用されます。製品 A のユーザごとエンタイトルメントでは、他の 20 のインストールでライセンスが使用されます。

検出製品の詳細については、[23 ページのセクション 1.3 「インストールデータ」](#) を参照してください。

## 1.2 エンタイトルメント

[15 ページのセクション 1.1 「ライセンスコンプライアンスコンポーネント」](#) で説明されているように、ライセンスエンタイトルメントは、ソフトウェア製品のライセンスコンプライアンスを効果的に保守するために理解し管理する必要のある 3 つの情報の 1 つです。次の各セクションでは、エンタイトルメントに適用される概念を説明します。

- ◆ [19 ページのセクション 1.2.1 「エンタイトルメントタイプ」](#)
- ◆ [19 ページのセクション 1.2.2 「ライセンスモデル」](#)
- ◆ [21 ページのセクション 1.2.3 「ユーザベースライセンスモデルのユーザソース」](#)
- ◆ [22 ページのセクション 1.2.4 「ライセンス期間」](#)
- ◆ [22 ページのセクション 1.2.5 「複数エンタイトルメントのコンプライアンス計算」](#)

## 1.2.1 エンタイトルメントタイプ

エンタイトルメントの作成時には、エンタイトルメントのタイプを指定します。エンタイトルメントには3つの異なるタイプがあります。

- ◆ **フルライセンス**：以前のバージョンを所有せずに製品をインストールする権利をユーザに与える使用許諾契約を表します。
- ◆ **ライセンス/保守**：購入したバージョンと以降のメンテナンスバージョンに対するフルライセンスの権利をユーザに与える使用許諾契約を表します。
- ◆ **バージョンのアップグレード**：以前の製品バージョンを新バージョンにアップグレードする権利をユーザに与える使用許諾契約を表します。バージョンのアップグレードエンタイトルメントは、基本エンタイトルメントを参照して、それ自体と基本エンタイトルメント間で利用可能なライセンスを自動調整します。バージョンのアップグレードエンタイトルメントの詳細については、[24 ページのセクション 1.6「バージョンのアップグレード」](#)を参照してください。

## 1.2.2 ライセンスモデル

エンタイトルメントの作成時には、エンタイトルメントのライセンスモデルを指定してください。エンタイトルメントのライセンスモデルによって、1) ライセンス使用の計算方法と 2) そのエンタイトルメントでカバーできる製品のインストールが決まります。

インベントリによるインストールデータを使用するエンタイトルメントと手動入力によるインストールデータを使用するエンタイトルメントでは、ライセンスモデルが異なります。

- ◆ [19 ページの「インベントリエンタイトルメントのライセンスモデル」](#)
- ◆ [20 ページの「手動エンタイトルメントのライセンスモデル」](#)

### インベントリエンタイトルメントのライセンスモデル

検出製品のインベントリデータは、製品のインストール先デバイスとそれらのデバイスに関連付けられたプライマリユーザに関する情報を含みます。このインストール/デバイス/ユーザの関連付けは、次の表に示すデバイスベースのライセンスモデルとユーザベースのライセンスモデルをサポートします。

表 1-1 インベントリエンタイトルメントのライセンスモデル

ライセンスモデル	ライセンス使用	範囲	例
インストールごと	そのエンタイトルメントに関連付けられている検出製品のインストールごとに、1つのライセンスが使用されます。	すべてのデバイス	20名のユーザが、それぞれ、1台のデバイスに製品をインストールします。5名の追加ユーザが、それぞれ、2台のデバイスに製品をインストールします。合計30のインストールが行われ、インストールごとに1つのライセンスが使用されます。

ライセンスモデル	ライセンス使用	範囲	例
OEM	エンタイトルメントの検出製品がデバイスにインストールされているかどうかにかかわらず、対象のデバイスごとに1つのライセンスが使用されます。	対象デバイスとして指定するデバイスのみ	対象デバイスとして15台のデバイスを指定します。3名のユーザーが製品をアンインストールしたので、製品は12台のデバイスにのみインストールされています。インストールの合計数は12ですが、15台の対象デバイスすべてで1つのライセンスが使用されます。
マシン	対象デバイスは、エンタイトルメントの検出製品の1つ以上がそのデバイスにインストールされている場合のみ、ライセンスを使用します。	対象デバイスとして指定するデバイスのみ	対象デバイスとして15台のデバイスを指定します。対象デバイスのうち12台のみに製品がインストールされています。対象デバイスとして15台のデバイスを指定しましたが、インストール数は合計12なので、12台の対象デバイスでライセンスが使用されます。
ユーザごと	それぞれのユーザは、インストール数にかかわらず、エンタイトルメントの検出製品のすべてのインストールに1つのライセンスを使用します。	すべてのユーザ。ただし、特定のユーザを除外できます。	エンタイトルメントに2つの検出製品 (DP1 と DP2) が含まれています。両方の製品がユーザ1のデバイスにインストールされています。この場合、ユーザ1は1つのライセンスを使用します。  また、DP1 がユーザ1のデバイスの1つにインストールされ、DP1 と DP2 がユーザ1の別のデバイスにインストールされている場合でも、ユーザ1が使用するエンタイトルメントのライセンスは1つだけです。
名前付きユーザごと	それぞれの対象ユーザは、インストール数にかかわらず、エンタイトルメントの検出製品のすべてのインストールに1つのライセンスを使用します。	対象ユーザとして指定するユーザのみ	ユーザごとモデルと同じ。

## 手動エンタイトルメントのライセンスモデル

(インベントリデータの使用でなく) 手動入力 of インストールデータを使用する場合は、デバイスやユーザの情報がインストールに関連付けられることはありません。このため、手動データをソースにするエンタイトルメントは、インストールベースのライセンスモデルだけをサポートします。インストールの総数を入力すると、その数で、エンタイトルメントの利用可能なすべてのライセンスが使用されます。

手動エンタイトルメントには、いくつかの事前定義のライセンスモデルがあります。これらのライセンスモデルは、使用許諾契約で最もよく使用されるライセンスモデルに一致することを目指しています。目的のライセンスモデルが定義されていない場合は、自分で定義できます。

表 1-2 手動エンタイトルメントのライセンスモデル

ライセンスモデル	ライセンス使用	範囲	例
無制限 正規のデスクトップ CPU ユーザ 名前付きユーザ サーバ CAL サイト エンタープライズ	インストールごとに1つのライセンスを使用します。	指定したインストール数	<p>例 1: 20 名のユーザが製品をインストールします。使用許諾契約では、ユーザライセンスモデルが指定されています。エンタイトルメントのライセンスモデルとして「ユーザ」を選択し、インストール総数 20 を入力して、製品のインストール範囲をカバーします。20 のインストールで、エンタイトルメントに関連付けられたすべてのライセンスを使用します。</p> <p>例 2: 15 台のサーバでサーバ製品をインストールします。使用許諾契約では、サーバライセンスモデルが指定されています。エンタイトルメントのライセンスモデルとして「サーバ」を選択し、インストール総数 15 を入力して、製品のインストール範囲をカバーします。15 のインストールで、エンタイトルメントに関連付けられたすべてのライセンスを使用します。</p>

### 1.2.3 ユーザベースライセンスモデルのユーザソース

検出製品のインストールは、デバイスに関連付けられます。たとえば、検出製品が2つのデバイス上で検出された場合、両方のデバイスが検出製品の情報に記録されます。このインストール/デバイスの関連付けにより、デバイスベースのライセンスモデル(インストールごと、OEM、マシン)の使用が可能になります。

ユーザベースのライセンスモデル(ユーザごと、名前付きユーザごと)を有効にするには、アセット管理でインストール/デバイス/ユーザの関連付けを使用します。これは、各デバイスにユーザを関連付ける必要があることを意味します。この関連付けを提供できる2つの異なるユーザソースがあります。それらのどちらかを選択しなければなりません。

- ◆ **インベントリユーザデータ** : 各デバイスのインベントリデータにはユーザフィールドが含まれています。そのフィールドには、アセットインベントリが自動的にデータを入力することはありません。そのユーザ情報を入力するには、次の3つの方法があります。1) 自動化されたインベントリコレクションデータフォームでユーザから情報を収集する。2) ZENworks コントロールセンターでデバイスのインベントリデータを編集することによって、ユーザ情報を手動入力する。3) ZENworks 7.5 Asset Management からインベントリデータを移行する。
- ◆ **信頼できるユーザソース** : これは、ZENworks 管理ゾーンがユーザ情報の取得のために接続する LDAP ディレクトリです。ZENworks システムは、デフォルトでは、このソースからのユーザをデバイスのプライマリユーザとして自動的に割り当てるように設定されています。デバイスに複数のユーザがいる場合は、計算方法(使用ベース、ログインベース、または直接割り当て)を選択して、プライマリユーザを決定できます。

両オプションは、同様によく機能します。信頼されたユーザソースの方法では、手動でユーザ情報を入力したり、情報を移行したり、自動コレクションフォームの完了をユーザに依存したりする必要がないので、自動化がより促進されます。

ZENworks 7 Desktop Management でアセット管理を使用する場合は、インベントリユーザデータの方法を使用する必要があります。信頼されたユーザソースの方法に必要な ZENworks Adaptive Agent のユーザ管理機能は、ZENworks 7 Desktop Management Agent と同じデバイス上に共存させることはできません。そのユーザ管理機能をインストールすると、ZENworks 7 Desktop Management Agent は自動的にアンインストールされます。

## 1.2.4 ライセンス期間

使用許諾契約で、製品を使用できる期間が規定されている場合があります。エンタイトルメントの作成時に、ライセンス期間を永久にするか (終了しないか)、または限定するか指定してください。期限付きにする場合は、開始日と終了日を指定します。

## 1.2.5 複数エンタイトルメントのコンプライアンス計算

ライセンス製品が、同じ検出製品を共有する複数のエンタイトルメントを持つことがよくあります。その場合は、ソフトウェアコンプライアンスエンジンが、各エンタイトルメントに検出製品のインストールを割り当てる方法を決定する必要があります。

ソフトウェアコンプライアンスエンジンは、まず、最も制約の厳しいライセンスモデルを持つエンタイトルメントを処理します。エンタイトルメントの制約が厳しくなると、その制約を満たすインストール数も少なくなります。それらのエンタイトルメントを最初に処理することによって、エンタイトルメントに対して処理されるインストール数を最大化できるので、使用できるエンタイトルメントのライセンス数が増加します。

エンタイトルメントは、次の順序 (最も制約の厳しいエンタイトルメントから最も制約の少ないエンタイトルメントに至る順序) で処理されます。

1. **OEM:** 指定のデバイスにインストールされる場合のみ、そのインストールをカバーします。
2. **マシン:** 指定のデバイスにインストールされる場合のみ、そのインストールをカバーします。
3. **名前付きユーザ:** 指定のユーザに関連付けられる場合のみ、そのインストールをカバーします。
4. **ユーザごと (インストール数 > 1):** 製品を 2 回以上インストールしたユーザに関連付けられる場合のみ、そのインストールをカバーします。
5. **インストールごと 任意のデバイスへのインストールをカバーします。**
6. **ユーザごと (インストール数 = 1):** 任意のユーザに関連付けられたインストールをカバーします。
7. **手動:** 手動で指定された数のインストールをカバーします。

ライセンス製品のエンタイトルメントをすべて処理した後で、エンタイトルメントでまだ使用されていない検出製品のインストールが存在する場合は、ソフトウェアコンプライアンスエンジンがそのライセンス製品を適合未満 (ライセンス数よりインストール数が多い) として報告します。未使用の各インストールも、ライセンス製品の [コンプライアンスステータス] ページで「未解決のインストール」として報告されます。

## 1.3 インストールデータ

15 ページのセクション 1.1 「ライセンスコンプライアンスコンポーネント」で説明されているように、製品のインストール数は、製品のライセンスコンプライアンスを決定する上で必要な 3 つの主要情報の 1 つです。インストールデータは、次の 2 つのソースから取得できます。

- ◆ **インベントリデータ**：アセットインベントリは、ZENworks 管理ソーンのデバイスをスキャンし、インストール済みソフトウェア製品の情報を ZENworks データベースに保存します。アセット管理は、そのインストール情報を検出製品にマップします。検出製品がエンタイトルメントに関連付けられると、検出製品のインストールでエンタイトルメントのライセンスの 1 つを使用できるようになります。

インストールデータを供給するためには、インベントリを使用する方法が最も自動化されているので、推奨のアプローチです。製品がデバイス上でインストールまたはアンインストールされた場合、その変更は、次のインベントリスキャンの後で自動的にデータ（および対応する検出製品）に反映されます。さらに、インベントリデータを使用すると、デバイスベースとユーザベースの両方のライセンスモデルを使用できます（19 ページの「インベントリエンタイトルメントのライセンスモデル」を参照）。

- ◆ **手動データ**：エンタイトルメントは、手動で編集して（ZENworks コントロールセンター内）、製品のインストール数を入力できます。このためには、製品がインストールされているデバイスの数を知り、インストールの追加時または削除時にその数を変更する必要があります。また、使用できるライセンスモデルがインストールベースに制限され、デバイスベースとユーザベースのライセンスモデルは使用できません（20 ページの「手動エンタイトルメントのライセンスモデル」を参照）。

各エンタイトルメントのインストールデータには、1 つのソースしか使用できません。ただし、ライセンス製品は、複数のエンタイトルメントを含むことができます。その場合、一部のエンタイトルメントではインベントリデータからインストールデータを取得し、他のエンタイトルメントでは手動データを使用することができます。

## 1.4 ライセンスデータ

15 ページのセクション 1.1 「ライセンスコンプライアンスコンポーネント」で説明されているように、購入したライセンスの数は、製品のライセンスコンプライアンスを決定する上で必要な 3 つの主要情報の 1 つです。ライセンスデータは、次の 2 つのソースから取得できます。

- ◆ **カタログ製品と購買記録**：カタログ製品は、購入したライセンスの対象であるソフトウェア製品を識別します。カタログ製品のライセンスは、エンタイトルメントに追加されると、エンタイトルメントのインストールで使用できるようになります。

カタログ製品のライセンスは、ソフトウェア製品の購買記録から取得されます。複数の購買記録にソフトウェア製品のライセンス購入が記録されている場合は、すべてのライセンスがカタログ製品にロールアップされます。

購入したライセンスのデータソースとしてカタログ製品と購買記録を使用することをお勧めします。ソフトウェア製品の購買記録を追加するたびに、新しいライセンスの数だけ、カタログ製品の利用可能なライセンス数が自動的に増加します。

- ◆ **購入概要レコード**: 購入概要レコードを使用すると、エンタイトルメントにライセンスの数量を直接入力できます。この概要レコードは、製品の説明、コスト、およびライセンス数を記録します。ただし、購入概要レコードの使用では、カタログ製品と購買記録から製品ライセンスの追跡ができないという欠点があります。

エンタイトルメントでは、その使用可能なライセンスのソースとして、これらのどれか1つまたは両方を使用できます。

## 1.5 スイートとソフトウェアコレクション

アセット管理では、スタンドアロン製品に加えて、スイート製品 (\* Office および OpenOffice.org\* など) のライセンスコンプライアンスを保守できます。スイートは、ZENworks Knowledgebase に検出製品として含まれます。スイート検出製品には、スイートメンバーに関する情報が含まれます。

インベントリスキャンで (たとえば、レジストリ設定によって) デバイスにインストールされたスイートが検出されると、そのインストールは、スイートメンバーのインストール合計ではなく、スイートのインストール合計に加算されます。たとえば、Microsoft Word、Microsoft Excel\*、および Microsoft PowerPoint\* が Microsoft Office スイートとしてデバイスにインストールされた場合、そのインストールは、Microsoft Office の検出製品に適用され、Word、Excel、および PowerPoint の検出製品には適用されません。ただし、これらのアプリケーションがスタンドアロン製品として (Microsoft Office のインストールとしてではなく) 検出された場合は、そのインストールは、個々の検出製品に適用されます。

ソフトウェアコレクションは、管理者定義のスイートです。ソフトウェアコレクションを使用して、ZENworks Knowledgebase に含まれていないスイートを表すことができます。ソフトウェアコレクションの場合は、ソフトウェアコレクションのインストールとして資格を与えるには、メンバー製品を定義し、デバイスにインストールする必要のあるメンバー製品を指定する必要があります。すべての必要なメンバー製品がデバイスにインストールされると、そのインストールはソフトウェアコレクションとして加算されます。必要なメンバー製品の一部が不足している場合、そのメンバー製品のインストールは個々の検出製品として加算されます。

## 1.6 バージョンのアップグレード

ソフトウェアバージョンのアップグレードに関する通常の使用許諾契約では、基本製品のインストールをアップグレード製品で置き換えることが規定されています。言い換えれば、ライセンスエンタイトルメント (使用法、数量など) が基本製品からアップグレード製品に移動されます。

たとえば、基本製品の 10 ライセンスを購入し、次に、アップグレード製品の 6 ライセンスを購入した場合は、基本製品を 4 つインストールし、アップグレード製品を 6 つインストールできます。インストールできる合計数 (10) は同じままです。

アセット管理では、バージョンのアップグレードを表す「バージョンのアップグレード」と呼ばれるエンタイトルメントタイプを用意しています。バージョンのアップグレードエンタイトルメントを使用する場合は、アップグレードの基本エンタイトルメントを指定する必要があります。基本エンタイトルメントには、次の規定があります。

- ◆ 基本エンタイトルメントは、アップグレードエンタイトルメントと同じライセンス製品に属する必要があります。つまり、LicensedProduct1 でバージョンのアップグレードエンタイトルメントを作成し、LicensedProduct2 の基本エンタイトルメントを使用することはできません。

- ◆ 基本エンタイルメントは、3つのエンタイルメントタイプ(フルライセンス、ライセンス/保守、バージョンのアップグレード)のいずれであっても構いません。これは、アップグレードのアップグレードをサポートします。
- ◆ 基本エンタイルメントは、複数のバージョンのアップグレードエンタイルメントをサポートできます。たとえば、EntitlementAを、VersionUpgradeEntitlement1とVersionUpgradeEntitlement2の基本エンタイルメントにすることができます。

ライセンス製品がバージョンのアップグレードエンタイルメントを含む場合、ソフトウェアコンプライアンスエンジンは、バージョンのアップグレードエンタイルメントに利用できるライセンス数を計算し、そのライセンス数を基本エンタイルメントから差し引きます。



# ライセンスコンプライアンスのセットアップ

次の各セクションでは、ソフトウェア製品のライセンスコンプライアンスのセットアップに役立つ説明を提供します。

- [27 ページのセクション 2.1 「管理ゾーンの準備」](#)
- [28 ページのセクション 2.2 「ソフトウェア製品のコンプライアンスのセットアップ」](#)
- [30 ページのセクション 2.3 「コンプライアンスの監視」](#)


15 ページの第 1 章「ライセンスコンプライアンスの概念」に示されている概念を確認していない場合は、この章にとりかかる前にそれらを復習してください。特に、[15 ページのセクション 1.1 「ライセンスコンプライアンスコンポーネント」](#)で紹介されたコンポーネントをしっかりと理解しておく必要があります。



## 2.1 管理ゾーンの準備

ソフトウェア製品のコンプライアンスのセットアップを始める前に、ZENworks® 管理ゾーンを準備する必要があります。この準備には、いくつかの管理ゾーン設定を行い、管理ゾーン内でデバイスにインストールされているソフトウェア製品を検出し、管理ゾーンにソフトウェア購入情報を入力することが含まれます。

次の表では、完了する必要があるタスクについて説明し、それらのタスクを完了するのに役立つ特定の指示が記載された参照ページを示します。

表 2-1 管理ゾーンの準備タスク

タスク	詳細
 ZENworks 管理ゾーン設定の設定	<p>ライセンスコンプライアンスに関する ZENworks 管理ゾーン設定は 2 つあります。一方の設定では、コンプライアンスエンジンを毎日実行する時間を決定し、もう一方の設定では、ユーザベースのライセンスモデルのユーザソース (信頼されたユーザソースまたはイベントリユーザデータ) を決定します。</p> <p>方法については、<a href="#">31 ページの第 3 章「コンプライアンス設定の設定」</a>を参照してください。</p>


タスク	詳細
 インストールされたソフトウェア製品の検出	<p>アセット管理は、組織内でどのようなソフトウェア製品がインストールされているか、各製品にはいくつのインストールがあるかを知る必要があります。</p> <p>アセットインベントリは、ZENworks 管理ゾーン内のデバイスをスキャンしてインストールされているソフトウェア製品を検出することにより、この情報を提供します。次に、アセット管理は、アセット管理ナレッジベースでそれらのインストール製品をフィルタリングすることにより、それらの製品を統合し組み合わせて、ライセンスコンプライアンスで使用する検出製品のリストにします。</p> <p>ゾーン内のデバイスのソフトウェアインベントリスキャンを実行しなかったか、ソフトウェアインベントリデータを最近更新していない場合は、デバイスをスキャンして検出製品リストを作成する必要があります。検出製品を手動で作成することはできません。</p> <p>詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management Asset Inventory リファレンス』を参照してください。</p>
 ソフトウェア購入情報の記録	<p>アセット管理は、どのようなソフトウェア製品が購入され、製品ごとにいくつのライセンスが購入されたかを知る必要があります。</p> <p>この情報は、購買記録とカタログ製品として、アセット管理システムに入力してください。</p> <p>方法については、87 ページのセクション 9.4 「購入記録の作成」を参照してください。</p>




## 2.2 ソフトウェア製品のコンプライアンスのセットアップ


次の表では、ライセンスコンプライアンスのためにソフトウェア製品を設定する際に完了する必要のあるタスクについて説明します。

これらのタスクでは、27 ページのセクション 2.1 「管理ゾーンの準備」のタスクがすでに完了され、検出製品とカタログ製品が ZENworks 管理ゾーンに入力されていると想定しています。

表 2-2 コンプライアンスセットアップタスク

タスク	詳細
 ライセンス製品の作成	<p>ライセンス製品は、監視対象のライセンスコンプライアンスを持つソフトウェア製品を表します。ライセンス製品のコンプライアンスステータスの決定に必要なすべての情報 (インストール、購入したライセンス、ライセンス使用契約) は、ライセンス製品に関連付けられたコンポーネントを介して提供されます。</p> <p>方法については、47 ページのセクション 6.5 「ライセンス製品の作成」を参照してください。</p>



タスク	詳細
 エンタイトルメントの作成	<p>ライセンスエンタイトルメントは、通常、ライセンス製品の使用許諾契約を表します。ライセンスエンタイトルメントは、ライセンスタイプ（フル、アップグレード、保守など）やライセンスモデル（ユーザごと、インストールごと、OEM、マシンなど）のような契約詳細を含みます。ライセンスエンタイトルメントは、ライセンスモデルに基づいて、エンタイトルメントによってカバーされるユーザまたはマシンも指定します。</p> <p>一部のライセンス製品は、エンタイトルメントが1つしかないことがあります。たとえば、フルライセンスのインストールごとの契約で、すべてのインストールが対象となる製品があります。</p> <p>一方、複数のエンタイトルメントを持つ製品もあります。たとえば、OEMライセンスによるインストールとユーザごとライセンスによるインストールができる製品があります。その場合、両方の使用許諾契約を正しくカバーするには、異なるライセンスモデルとユーザ/マシン範囲を持つ2つのエンタイトルメントが必要になります。2つ目の例としては、フルライセンス契約とバージョンのアップグレード契約でカバーされる製品があります。</p> <p>[自動調整] ウィザードを使用してライセンス製品を作成した場合は、ライセンス製品ごとにエンタイトルメントが作成されています。それらのライセンス製品のいずれかが追加のエンタイトルメントを必要とする場合は、この時点で追加できます。手動でライセンス製品を作成した場合は、それらのライセンス製品にはまだエンタイトルメントがないので、それらを作成する必要があります。</p> <p>方法については、<a href="#">58 ページのセクション 7.2「エンタイトルメントの作成」</a>を参照してください。</p>
 カタログ製品の追加 または 購入概要レコードの追加	<p>ライセンス製品にその製品用に購入したライセンスの数を入力するには、カタログ製品をライセンス製品のエンタイトルメントに追加します。</p> <p>[自動調整] ウィザードを使用してライセンス製品を作成した場合は、カタログ製品が一部のライセンス製品にすでに追加されていることがあります。ライセンス製品が追加のエンタイトルメントを必要とする場合は、この時点で追加できます。方法については、<a href="#">63 ページのセクション 7.3「カタログ製品の追加」</a>を参照してください。</p> <p>ライセンス製品を割り当てるカタログ製品がない場合は、購入概要レコードを使用してライセンス製品にライセンスを追加できます。方法については、<a href="#">64 ページのセクション 7.4「購入概要レコードの追加」</a>を参照してください。</p>
 検出製品の追加	<p>作成したライセンス製品がインベントリエンタイトルメント（インストールカウントをインベントリデータから取得するエンタイトルメント）を含む場合は、検出製品をそのエンタイトルメントに追加する必要があります。検出製品は、該当するソフトウェア製品のインストールをライセンス製品に関連付けます。インベントリエンタイトルメントには、ユーザごと、名前付きユーザごと、OEM、マシン、およびインストールごとという種類があります。</p> <p>方法については、<a href="#">65 ページのセクション 7.5「検出製品の追加」</a>を参照してください。</p>

タスク	詳細
 エンタイトルメントでカバーされるユーザとデバイスの指定	OEM、マシン、名前付きユーザごと、またはユーザごとのライセンスモデルを使用するエンタイトルメントを作成した場合は、エンタイトルメントでカバーされるデバイスまたはユーザを指定する必要があります。  方法については、 <a href="#">67 ページのセクション 7.6「ユーザとデバイスの範囲の指定」</a> を参照してください。

## 2.3 コンプライアンスの監視

次の表では、製品のコンプライアンスステータスを監視する方法について説明します。

表 2-3 コンプライアンス監視タスク

タスク	詳細
 ZENworks コントロールセンターでのコンプライアンスステータスの表示	ZENworks コントロールセンターは、製品のコンプライアンスステータスのハイレベルビューと詳細ビューの両方を提供します。ハイレベルビューでは、製品が適合、適合未満、適合超過のいずれであるか見ることができます。詳細ビューでは、製品のコンプライアンスステータスが現在のステータスである理由を見ることができます。  方法については、 <a href="#">33 ページの第 4 章「コンプライアンスステータスの監視」</a> を参照してください。
 コンプライアンスレポートの生成	すべての製品または特定のコンプライアンスステータスを持つ製品だけのコンプライアンスステータスを示すレポートを生成できます。検出製品、カタログ製品、および購買記録の管理に役立つレポートを生成することもできます。  方法については、 <a href="#">41 ページの第 5 章「コンプライアンスレポートの生成」</a> を参照してください。

# コンプライアンス設定の設定

ライセンスコンプライアンスに関して、2つの ZENworks® 管理ゾーン設定があります。一方の設定では、コンプライアンスエンジンを毎日実行する時間を決定し、もう一方の設定では、ユーザベースライセンスモデルのユーザソース (信頼されたユーザソースまたはインベントリユーザデータ) を決定します。

設定を行うには、次の手順に従ってください。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] タブをクリックします。
- 2 [管理ゾーンの設定] パネルで、[アセット管理] をクリックして設定を表示します。
- 3 次の手順で、コンプライアンスの設定を行います。
  - 3a [準拠] をクリックします。
  - 3b コンプライアンスエンジンを毎日実行する時間を選択します。

コンプライアンスエンジンによって、各ライセンス製品のコンプライアンスの日付とステータスが更新されます。デフォルトの実行時間は、毎日、午後 11 時です。:
  - 3c [OK] をクリックします。
- 4 次の手順で、ユーザソースの設定を行います。

ユーザベースのライセンスモデル (ユーザごと、および名前付きユーザごと) をサポートするため、アセット管理では、デバイス上の製品インストールをデバイスのユーザに割り当てるための、インストール/デバイス/ユーザの関連付けを必要とします。インストール/デバイスの関連付けは、インベントリスキャンによって生成されます。デバイス/ユーザの関連付けには、2つの異なるユーザソースを使用できます。

  - 4a [ユーザソース] をクリックして、次のユーザソースの1つを選択します。
    - ◆ **インベントリユーザデータ** : 各デバイスのインベントリデータには、[入力されたユーザ] フィールドがあり、このフィールドによって、デバイスにユーザが関連付けられます。( [デバイス] タブ > [デバイス] > デバイス > [インベントリ] ページ > [ハードウェア/ソフトウェアのインベントリの詳細] リンク > [入力されたユーザ] フィールド)。

[入力されたユーザ] フィールドに、アセットインベントリが自動的にデータを入力することはありません。このソースを使用する場合は、各デバイスに [入力されたユーザ] があることを確認してください。そのユーザ情報を入力するには、次の3つの方法があります。1) 自動化されたインベントリコレクションデータフォームでユーザから情報を収集する。2) ZENworks コントロールセンターでデバイスのインベントリデータを編集することによって、ユーザ情報を手動入力する。3) ZENworks 7.5 Asset Management からインベントリデータを移行する。
    - ◆ **信頼できるユーザソース** : これは、ZENworks 管理ゾーンがユーザ情報の取得のために接続する LDAP ディレクトリです。ZENworks システムは、デフォルトでは、このソースからのユーザをデバイスのプライマリユーザとして自動的に割り当てるように設定されています。デバイスに複数のユーザがいる場合は、計算方法 (使用ベース、ログインベース、または直接割り当て) を選択して、プライマリユーザを決定できます。

一度に使用できるソースは1つだけです。ソースを変更した場合は、ユーザに対するライセンスの既存の割り当てがすべて削除されます。

---

**重要：**同じマシンで、ZENworks 7 Desktop Management を ZENworks 10 Asset Management と共に使用する場合は、[*Inventory user data*(インベントリユーザデータ)] オプションを、[*Authoritative user source*(信頼されたユーザソース)] オプションの代わりに使用します。[信頼されたユーザソース] オプションを使用する場合は、ZENworks 10 Adaptive Agent のユーザ管理機能をインストールする必要があります。ただし、このユーザ管理機能は、ZENworks 7 Desktop Management Agent と共存できないので、結果として、ZENworks 7 Desktop Management Agent がアンインストールされます。

---

**4b** [OK] をクリックします。

# コンプライアンスステータスの監視

ZENworks® コントロールセンターには、ライセンス製品のコンプライアンスステータスを表示できる場所がいくつかあります。

- ◆ 33 ページのセクション 4.1 「ホームページ」
- ◆ 33 ページのセクション 4.2 「ライセンス製品リスト」
- ◆ 34 ページのセクション 4.3 「ライセンス製品のコンプライアンスステータスページ」

## 4.1 ホームページ

[ホーム] ページの [アセット管理] パネルには、正しくライセンス製品 (●)、不十分にライセンス製品 (⊗) および過剰にライセンス製品 (⊕) の合計数が表示されます。ステータスをクリックすると、そのステータスを持つライセンス製品を表示できます。

	⊗	⊕	●	合計
カタログ製品	23	5	38	66
検出された製品	895	26	29	950
ライセンスされた製品	10	14	12	36
契約	6	1	2	9
ドキュメント	1	-	7	8

## 4.2 ライセンス製品リスト

ライセンス製品リスト ([アセット管理] タブ > [ライセンス管理] タブ > [ライセンスされた製品]) は、製品が正しくライセンスされているか (●)、不十分にライセンスされているか (⊗)、または過剰にライセンスされているか (⊕) を表示します。

名前	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数量	割り当てられた数量
Microsoft .NET Framework 2	⊕	☑	☑	5	1
Mozilla.org Firefox 2	●	☑		1	1
Sun Java2 Runtime Environment 23e43	⊗	☑	☑	1	0

ライセンス製品をクリックすると、コンプライアンスステータスの詳細が表示されます(34 ページのセクション 4.3 「ライセンス製品のコンプライアンスステータスページ」を参照)。[検索] フィルタを使用して、特定のステータスのライセンス製品だけを表示することもできます。

## 4.3 ライセンス製品のコンプライアンスステータスページ

ライセンス製品のコンプライアンスステータスは、その各エンタイトルメントのコンプライアンスステータスによって決まります。たとえば、3つのエンタイトルメントが正しくライセンスされ、1つのエンタイトルメントが不十分にライセンスされている場合があります。このライセンス製品のステータスは、不十分なライセンスとして表示されます。

ライセンス製品の [コンプライアンスステータス] ページには、各エンタイトルメントのライセンスコンプライアンスステータスの詳細が表示されます。ライセンス製品が非適合の場合は、この詳細からライセンス製品を適合にするために何が必要かを知ることができます。

ライセンス製品の [コンプライアンスステータス] ページにアクセスするには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▼ 移動... 削除 アクション ▼						
<input type="checkbox"/> 名前 ▲	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数量	割り当てられた数量	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Microsoft .NET Framework 2</a>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Mozilla.org Firefox 2</a>		<input checked="" type="checkbox"/>		1	1	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Sun Java2 Runtime Environment 23e43</a>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0	

1 - 3/3 25 ▼ 項目の表示

- 3 目的のライセンス製品をクリックします。
- 4 [コンプライアンスステータス] タブをクリックします。

発生時刻: 2010/04/22 12:27:14  
 使用期間: データベース内のすべての履歴

ライセンス使用(使用データソース: インベントリ)								
アクション ▼								
検出された製品	ライセンス配布	ライセンスタイプ	シリアル番号	インストール済み数量	無視されたインストール	追加コンサンクション	総使用量	アクティブな使用量
使用できる項目がありません。								
コンプライアンスステータス(使用データソース: インベントリ)								
ライセンスエンタイトルメント	ライセンスモデル	カバーされたバージョン	カバーされたインストール	ライセンス数量	使用されたライセンス	超えている/未済		
Custom	マシン		0	30	0	30		
test	マシン		0	0	0	0		
Per-Named User Upgrade	名前付きユーザごと		0	0	0	0		
Per-User	ユーザごと		0	0	0	0		
合計:				0	30	0		
コンプライアンスステータス(使用データソース: 手動)								
ライセンスエンタイトルメント	ライセンス数量			使用されたライセンス		超えている/未済		
Unrestricted	0			2		-2		
合計:				0	2			

[コンプライアンスステータス] ページには、次のパネルが含まれています。

- ライセンスコンプライアンス (使用データソース: インベントリ):** このライセンス製品に関連付けられている検出製品のインストールデータを表示します。  
 [総使用量] フィールドには、検出製品のインストール総数が表示されます。この数は、次の式で計算します。 $総使用量 = (インストール済み数量 + 追加コンサンクション) - 無視されたインストール$  [インストール済み数量] は、インベントリスキャンで検出されたインストール数を示します。[追加コンサンクション] と [無視されたインストール] は、検出製品の詳細を編集して、手動で調整できます。
- コンプライアンスステータス (使用データソース: インベントリ):** インベントリインストールデータを使用するすべてのエンタイトルメントのコンプライアンスステータスを表示します。
- 未解決のインストール:** エンタイトルメントの対象とならないインストールを持つすべての検出製品が表示されます。このパネルは、未解決のインストールがある場合にのみ表示されます。
- コンプライアンスステータス (使用データソース: 手動):** 手動入力されたインストールデータを使用するすべてのエンタイトルメントのコンプライアンスステータスを表示します。

### 4.3.1 ライセンスコンプライアンス (使用データソース: インベントリ)

このパネルは、このライセンス製品に関連付けられた検出製品のインストールデータを表示します。

ライセンス使用(使用データソース: インベントリ)								
アクション								
検出された製品	配布	ライセンスタイプ	シリアル番号	インストール済み数量	無視されたインストール	追加コンサンプション	総使用量	アクティブな使用量
Novell GroupWise 6.5 (Mac)				4	0	0	4	0
Novell GroupWise for Win32 6.5 (Windows)				19	0	0	19	8
合計:				23	0	0	23	8

ライセンスコンプライアンスに関しては、次のフィールドが重要です。

- ◆ **総使用量**: 検出製品のインストール総数を表示します。ライセンス製品が適合のステータスを持つには、これらのインストールのすべてがエンタイトルメントによってカバーされる必要があります。総使用量は、次の式で計算します。

$$\text{総使用量} = (\text{インストール済み数量} + \text{追加コンサンプション}) - \text{無視されたインストール}$$

総使用量の数字をクリックすると、検出製品の [インストール/使用] ページが表示されます。このページには、インストールと使用の詳細なデータが表示されます。このページでは、インストールを無視し、追加コンサンプションを指定できます。

- ◆ **インストール済み数量**: インベントリスキャンで検出されたインストールの数を表示します。
- ◆ **追加コンサンプション**: コンプライアンスの計算に含まれる余分なインストール数を表示します。これは、インベントリスキャンでは検出さなかったが、総使用量に含めたいインストールがある場合に手動調整できるフィールドです。方法については、[79 ページのセクション 8.8 「検出製品のインストールカウントの調整」](#) を参照してください。
- ◆ **無視されたインストール**: コンプライアンスの計算から除外されるインストール数を表示します。これは、総使用量に含めたくないインストールがある場合に手動調整できるフィールドです。方法については、[79 ページのセクション 8.8 「検出製品のインストールカウントの調整」](#) を参照してください。

### 4.3.2 コンプライアンスステータス (使用データソース: インベントリ)

このパネルには、インベントリインストールデータを使用するすべてのエンタイトルメントのコンプライアンスステータスが表示されます。

コンプライアンスステータス(使用データソース: インベントリ)						
ライセンスエンタイトルメント	ライセンスモデル	カバーされたバージョン	カバーされたインストール	ライセンス数量	使用されたライセンス	超えている床値
<a href="#">Per-Named User</a>	名前付きユーザごと	<a href="#">6.5 (Windows), 6.5 (Mac)</a>	5	3	3	0
<a href="#">Per-Named User Upgrade</a>	名前付きユーザごと	<a href="#">6.5 (Windows), 6.5 (Mac)</a>	5	7	4	3
<a href="#">Per-User</a>	ユーザごと	<a href="#">6.5 (Windows), 6.5 (Mac)</a>	9	25	7	18
合計:			19	35	14	

ライセンスコンプライアンスに関しては、次のフィールドが重要です。

- ◆ **対象のインストール**: エンタイトルメントによってカバーされるインストールの数を表示します。

[マシン]、[OEM]、[インストールごと] のエンタイトルメントの場合、インストールごとにライセンスを使用します。したがって、これらのエンタイトルメントの場合、対象のインストール数は使用ライセンス数に等しくなります。



[ユーザごと] および [名前付きユーザごと] のエンタイトルメントの場合、ユーザに関連付けられたインストール数とは無関係に、ユーザは1つのライセンスを使用します。ユーザは5台のデバイスにインストールできますが、1つのライセンスしか使用されません。したがって、これらのエンタイトルメントの場合、対象のインストール数は使用ライセンス数よりも多くなる場合があります。

(全エンタイトルメントの) [対象のインストール] の合計は、[ライセンス使用(使用データソース: インベントリ)] パネルの [総使用量] の合計に等しくなるはずで、等しくない場合、検出製品インストールの一部がエンタイトルメントの対象になっていません。これらのインストールは、[未解決のインストール] パネルに一覧表示されます。

- ◆ **ライセンス数**: エンタイトルメントに割り当てられたカタログ製品、またはエンタイトルメント用に作成された購入概要レコードのどちらかを介してエンタイトルメントに含まれるライセンスの数を表示します。
- ◆ **使用されたライセンス**: カバーされたインストールによって使用されたライセンスの数を表示します。
- ◆ **超えている/未満**: ライセンスコンプライアンスステータスを表示します。0は、使用されたライセンスの数([使用されたライセンス])が使用可能なライセンスの数([ライセンス数])に等しいことを示します。負の値は、使用されたライセンスの数が、使用可能なライセンス数より多いことを示します(適合未満)。正の値は、使用可能なライセンスが、使用されたライセンスより多いことを示します(適合超過)。複数のエンタイトルメントがある場合、ライセンス製品全体のコンプライアンスステータスは、次のように決定されます。
  - ◆ エンタイトルメントのどれかが適合未満の場合は、そのライセンス製品に適合未満のステータス(⊗)が割り当てられます。
  - ◆ 適合未満のエンタイトルメントはないが、適合超過のエンタイトルメントがある場合は、ライセンス製品に適合超過のステータス(⊕)が割り当てられます。
  - ◆ すべてのエンタイトルメントが適合の場合は、ライセンス製品に適合のステータス(●)が割り当てられます。

### 4.3.3 未解決のインストール

このパネルは、エンタイトルメントのライセンスを使用できないインストールを持つ検出製品を一覧します。

未解決のインストール(使用データソース: インベントリ)	
検出された製品	使用されたライセンス
 Novell GroupWise 6.5 (Mac)	1
 Novell GroupWise for Win32 6.5 (Windows)	11
合計:	12

未解決の各インストールについて、次の情報が表示されます。

- ◆ **検出された製品**: 未解決のインストールを持つ検出製品。検出製品をクリックすると、その詳細が表示されます。
- ◆ **使用されたライセンス**: いずれかのエンタイトルメントのライセンスを使用できないインストール数。数をクリックすると、未解決のインストールに関連付けられたデバイスのリストが表示されます。

未解決のインストールはさまざまな理由で起こります。次のセクションでは、未解決のインストールの例と解決策を示します。

## 例 1

製品 A には、次の 2 つのエンタイトルメントが含まれます。

エンタイトルメント	ライセンスモデル	ライセンス数	検出された製品	範囲
Version 6	名前付きユーザごと	3	製品 A バージョン 6	ユーザ 1、ユーザ 2、ユーザ 3
Version 7	OEM	5	製品 A バージョン 7	マシン 1、マシン 2、マシン 3、マシン 4、マシン 5

インベントリスキャンは、ユーザ 1、ユーザ 2、およびユーザ 4 のマシンでバージョン 6 のインストールを検出します。ユーザ 4 のマシンでのインストールは、バージョン 6 エンタイトルメントの対象にはなっておらず (ユーザ 4 は名前付きユーザには含まれないため)、バージョン 7 エンタイトルメントの対象になっていません (バージョンが間違っているため)。したがって、インストールはどちらのエンタイトルメントのライセンスも使用できないので、製品 A は、バージョン 6 の未解決のインストールを 1 つ含みます。

次のように、この状況の解決策はいくつかあります。

- ◆ ユーザ 4 を対象とするようにバージョン 6 エンタイトルメントを変更します。
- ◆ 製品 A バージョン 6 も対象とする [インストールごと] エンタイトルメントを作成します。ユーザベースのエンタイトルメント ([ユーザごと] および [名前付きユーザごと]) と、マシンベースのエンタイトルメント ([OEM] および [マシン]) が最初に評価され、続いて [インストールごと] エンタイトルメントが調べられます。この場合、インストールは、[インストールごと] エンタイトルメントの対象になります。

## 例 2

製品 A には次のエンタイトルメントが含まれます。

エンタイトルメント	ライセンスモデル	ライセンス数	検出された製品	範囲
Version 6	ユーザごと	15	製品 A バージョン 6	任意のユーザ
すべて	インストールごと	40	製品 A バージョン 6 製品 A バージョン 7	任意のインストール

インベントリスキャンは、バージョン 6 のインストール 26 を検出します。26 のインストールは 22 人のユーザに所属しています。21 人のユーザはそれぞれ 1 つのインストールに関連付けられており、1 人のユーザは 5 つのインストールに関連付けられています。

15 のユーザごとタイプのライセンスすべてが使用され、19 のインストール (1 人のユーザが 5 つのインストール、14 人のユーザが 1 つのインストールを保有) になります。ユーザ 16 から 22 のインストールは、ライセンスを使用できません。なぜなら、これ以上使用可能なライセンスはなく、したがって、これらのユーザに関連付けられた残りの 7 つのイ

インストールは、[すべて] エンタイトルメントに回されます。[すべて] エンタイトルメントのライセンスは、製品 A バージョン 6 も対象としているので、インストールはこのエンタイトルメントの 40 のライセンスうち 7 つを使用します。

[すべて] エンタイトルメントが存在しなかった場合、7 つのインストールは未解決のまま残され、バージョン 6 は [未解決のインストール] パネルに一覧表示されます。

次のように、この状況の解決策はいくつかあります。

- ◆ バージョン 6 エンタイトルメントに 7 つのライセンスを追加して、インストールを補います。
- ◆ 製品 A バージョン 6 も対象とする [インストールごと] エンタイトルメントを作成します。ユーザベースのエンタイトルメント ([ユーザごと] および [名前付きユーザごと]) と、マシンベースのエンタイトルメント ([OEM] および [マシン]) が最初に評価され、続いて [インストールごと] エンタイトルメントが調べられます。この場合、インストールは、[インストールごと] エンタイトルメントの対象になります。

### 例 3

製品 A には次のエンタイトルメントが含まれます。

エンタイトルメント	ライセンスモデル	ライセンス数	検出された製品	範囲
Version 6	マシン	10	製品 A バージョン 6	マシン 1、マシン 2、マシン 3

インベントリスキャンは、マシン 1 からマシン 5 上で、製品 A バージョン 6 の 5 つのインストールを検出します。マシン 4 とマシン 5 のインストールは、2 つのマシンがバージョン 6 エンタイトルメントの対象となっていないので、未解決のインストールとして報告されます。

次のように、この状況の解決策はいくつかあります。

- ◆ マシン 4 およびマシン 5 を対象とするように、バージョン 6 エンタイトルメントを変更します。
- ◆ 製品 A バージョン 6 も対象とする [インストールごと] エンタイトルメントを作成します。マシンベースのエンタイトルメント ([OEM] および [マシン]) と、ユーザベースのエンタイトルメント ([ユーザごと] および [名前付きユーザごと]) が最初に評価され、続いて [インストールごと] エンタイトルメントが調べられます。この場合、2 つのインストールは、[インストールごと] エンタイトルメントの対象になります。

## 4.3.4 コンプライアンスステータス (使用データソース: 手動)

このパネルには、手動入力のインストールデータを使用するすべてのエンタイトルメントのコンプライアンスステータスが表示されます。

コンプライアンスステータス(使用データソース: 手動)			
ライセンスエンタイトルメント	ライセンス数	使用されたライセンス	超えている/未済
<a href="#">Unrestricted</a>	2	4	-2
合計:	2	4	

ライセンスコンプライアンスに関しては、次のフィールドが重要です。

- ◆ **ライセンス数**：エンタイトルメントに割り当てられたカタログ製品、またはエンタイトルメント用に作成された購入概要レコードのどちらかを介してエンタイトルメントに含まれるライセンスの数を表示します。
- ◆ **使用されたライセンス**：使用されたエンタイトルメントのライセンス数を表示します。この数は、エンタイトルメントに割り当てられた [使用数量] の数字から取得されます (エンタイトルメント > [全般] タブ > [使用数量] )。
- ◆ **超えている / 未満**：ライセンスコンプライアンスステータスを表示します。0 は、使用されたライセンス数 ( [使用されたライセンス] ) が使用可能なライセンス数 ( [ライセンス数量] ) に等しいことを示します。負の値は、使用されたライセンスの数が、使用可能なライセンス数より多いことを示します ( 適合未満 )。正の値は、使用可能なライセンスが、使用されたライセンスより多いことを示します ( 適合超過 )。

複数のエンタイトルメントがある場合、ライセンス製品全体のコンプライアンスステータスは、次のように決定されます。

- ◆ エンタイトルメントのどれかが適合未満の場合は、そのライセンス製品に適合未満のステータス (✖) が割り当てられます。
- ◆ 適合未満のエンタイトルメントはないが、適合超過のエンタイトルメントがある場合は、ライセンス製品に適合超過のステータス (⚡) が割り当てられます。
- ◆ すべてのエンタイトルメントが適合の場合は、ライセンス製品に適合のステータス (⊕) が割り当てられます。

# コンプライアンスレポートの生成

# 5

ZENworks® Asset Management には、さまざまなレポートが組み込まれています。このレポートを生成してコンプライアンスとコンプライアンス関係のデータを見ることができ、事前定義のレポートの表示に加えて、カスタムレポートを作成したり、レポートをいくつかのファイル形式にエクスポートできます。

コンプライアンスレポート情報は、ソフトウェア使用状況と契約管理のレポート情報 (181 ページのパート VI 「レポート」) と組み合わせられます。次のリストは、コンプライアンスレポートに関する各セクションへの直接リンクを提供します。

- ◆ すべての標準レポートとカスタムレポートの説明 :183 ページの第 28 章「標準レポートとカスタムレポートの説明」
- ◆ 標準レポートの実行方法 :193 ページの第 31 章「標準レポートの操作」
- ◆ カスタムレポートの作成 / 生成方法 :197 ページの第 32 章「カスタムレポートの操作」
- ◆ ZENworks Reporting Server レポートの実行方法 :209 ページの第 33 章「ZENworks Reporting Server レポートの操作」



# ライセンス製品の操作

ライセンス製品は、監視対象のライセンスコンプライアンスを持つソフトウェア製品を表します。ライセンス製品のコンプライアンスステータスの決定に必要なすべての情報（インストール、購入したライセンス、ライセンス使用契約）は、ライセンス製品に関連付けられたコンポーネントを介して提供されます（15 ページのセクション 1.1 「ライセンスコンプライアンスコンポーネント」を参照）。

次の各セクションでは、ライセンス製品の管理に関するタスクについて説明します。

- ◆ 43 ページのセクション 6.1 「ライセンス製品リストの表示」
- ◆ 44 ページのセクション 6.2 「ライセンス製品リストのフィルタリング」
- ◆ 45 ページのセクション 6.3 「ライセンス製品フォルダの作成」
- ◆ 46 ページのセクション 6.4 「コンプライアンスステータスの更新」
- ◆ 47 ページのセクション 6.5 「ライセンス製品の作成」
- ◆ 51 ページのセクション 6.6 「ライセンス製品の一般情報の変更」
- ◆ 52 ページのセクション 6.7 「ライセンス製品へのカスタムフィールドの追加」
- ◆ 54 ページのセクション 6.8 「ライセンス製品のマージ」
- ◆ 54 ページのセクション 6.9 「ライセンス製品の削除」
- ◆ 55 ページのセクション 6.10 「ライセンス製品の移動」

## 6.1 ライセンス製品リストの表示

すべてのライセンス製品のリストを表示できます。このリストには、各ライセンス製品の一般情報（ライセンス製品のコンプライアンスステータス、ライセンス製品に検出製品およびカタログ製品が関連付けられているかどうかなど）が表示されます。

- 1 ZENworks® コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンスされた製品] をクリックします。



ライセンスされた製品						
新規 ▼ 移動... 削除 アクション ▼						
<input type="checkbox"/>	名前 ▲	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数	割り当てられた数
<input type="checkbox"/>	 Microsoft .NET Framework 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1
<input type="checkbox"/>	 Mozilla.org Firefox 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	1
<input type="checkbox"/>	 Sun Java2 Runtime Environment 23e43		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0



1 - 3/3 25 ▼ 項目の表示

各ライセンス製品に関する次の情報が一覧表示されます。

**名前:** ライセンス製品の名前を表示します。名前をクリックすると、ライセンス製品の詳細が表示されます。

**ステータス:** 製品のライセンスコンプライアンスのステータスを示します。

- ◆  正しいライセンス -: ライセンス数がインストール数に一致しています。
- ◆  ライセンス過剰 - インストールの数より多いライセンスがあります。

- ◆  ライセンス不足 - ライセンスの数より多いインストールがあります。
- ◆  未知 - コンプライアンスステータスが未評価です。次回のスケジュールされたコンプライアンスステータスの更新まで待てない場合は、[アクション] > [コンプライアンスステータスの更新] の順にクリックします。

コンプライアンスステータスの詳細情報を表示するには、そのステータスをクリックします。

**検出された製品:** 少なくとも1つの検出製品がライセンス製品に関連付けられていることを示します。

**カタログ製品:** 少なくとも1つのカタログ製品がライセンス製品に関連付けられていることを示します。

**ライセンス数:** エンタイトルメントを介してライセンス製品に関連付けられているライセンスの数を表示します。製品のエンタイトルメントを管理(表示、追加、または削除)するには、ライセンス数の数字をクリックします。

**割り当てられた数量:** 特定のデバイスへの割り当てまたは部署、サイト、コストセンターへの割り当てのいずれかによって割り当てられたライセンスの数を表示します。割り当ての詳細を表示するには、その数字をクリックしてします。

## 6.2 ライセンス製品リストのフィルタリング

[ライセンス製品] リストをフィルタすると、一定の条件を満たすライセンス製品だけを表示できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/>	名前 ▲	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数量	割り当てられた数量
<input type="checkbox"/>	 Microsoft .NET Framework 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1
<input type="checkbox"/>	 Mozilla.org Firefox 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	1
<input type="checkbox"/>	 Sun Java2 Runtime Environment 23e43		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0

1 - 3/3 25 ▾ 項目の表示

- 3 [検索] パネル ([ライセンスされた製品] パネルの横) で、フィルタに使用する条件を指定します。製品は、すべての条件に一致しないと表示されません。

**名前:** ライセンス製品名 (またはフォルダ名) に含める必要があるテキストを指定します。これは、大文字小文字を区別しない部分一致フィールドです。入力したテキストがライセンス製品名のどこかに含まれる場合、その製品は条件に一致します。

**タイプ:** 一致の対象として、フォルダ、ライセンス製品、または両方を選択します。

**製造元:** 特定の製造元を選択するか、どの製造元にも一致する [任意] を選択します。

**調整のステータス:** 次の一致条件の1つを選択します。

- ◆ **任意:** 調整ステータスを無視します。どのライセンス製品にも一致します。
- ◆ **カタログ製品なし:** カタログ製品のないライセンス製品に一致します。
- ◆ **検出された製品なし:** 検出製品のないライセンス製品に一致します。

- ◆ **製品なし**: カタログ製品と検出製品のないライセンス製品に一致します。
- ◆ **カタログと検出した製品**: カタログ製品と検出製品の両方のあるライセンス製品に一致します。

**割り当てステータス**: 割り当て付き、割り当てなし、または両方のライセンス製品に一致させるかどうか選択します。

**コンプライアンスステータス**: 次の一致条件の1つを選択します。

- ◆ **任意**: コンプライアンスステータスを無視します。どのライセンス製品にも一致します。
- ◆ **以上**: 過剰にライセンスされたライセンス製品に一致します。インストールの数より多いライセンスがあります。
- ◆ **以下**: 不十分にライセンスされたライセンス製品に一致します。ライセンスの数より多いインストールがあります。
- ◆ **正しいライセンスあり**: ライセンス数とインストール数が等しいライセンス製品に一致します。
- ◆ **未評価**: まだ計算されていないコンプライアンスステータスを持つライセンス製品に一致します。
- ◆ **評価済み**: コンプライアンスステータスが計算されている(ライセンス過剰、ライセンス不足、または正しいライセンス)ライセンス製品に一致します。

**サブフォルダを含む**: 現在のフォルダとそのサブフォルダを検索するには、このオプションを選択します。

4 [検索] をクリックして、検索条件を適用し、リストをフィルタします。

## 6.3 ライセンス製品フォルダの作成

[ライセンスされた製品] リスト内にフォルダを作成すると、ライセンス製品をさらに組織化できます。すべてのフォルダは、リストのトップに表示されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ライセンス管理] > [ライセンスされた製品] の順に選択します。
- 2 [ライセンスされた製品] パネルで、[新規] > [フォルダ] の順にクリックして、[新規フォルダ] ダイアログボックスを表示します。
- 3 次のフィールドに入力します。
 

**名前**: フォルダの名前を指定します。名前は、同レベルの他のすべてのフォルダとライセンス製品に対して一意である必要があります。

**フォルダ**: 新規フォルダを入れるフォルダを参照して選択します。

**説明**: フォルダを識別する任意の情報(オプション)を指定します。
- 4 [OK] をクリックしてフォルダを作成します。

## 6.4 コンプライアンスステータスの更新

新しいインストールが検出されたり、新しいライセンスが購入された場合は、ライセンス製品のコンプライアンスステータスが変わることがあります。次の各セクションでは、自動更新はいつ行われるか、更新を手動トリガする方法、および最新の更新スケジュール実行時を検出する方法について説明します。

- ◆ [46 ページのセクション 6.4.1 「ステータスの自動更新」](#)
- ◆ [46 ページのセクション 6.4.2 「更新の手動トリガ」](#)
- ◆ [47 ページのセクション 6.4.3 「リフレッシュの詳細の表示」](#)

### 6.4.1 ステータスの自動更新

すべてのライセンス製品のコンプライアンスステータスは、次の時点で自動的に更新されます。

- ◆ 購買記録のインポート時。新しく購入されたライセンスが製品のコンプライアンスステータスにただちに反映されます。
- ◆ コンプライアンスエンジンの更新スケジュールのために指定された毎日の時刻 ([31 ページの第 3 章「コンプライアンス設定の設定」](#)を参照)。検出製品のインストールカウントの変更が製品のコンプライアンスステータスに反映されます。

さらに、個々の製品のコンプライアンスステータスは、製品に対する次のアクションの発生時に自動的に更新されます。

- ◆ エンタイトルメントの作成または削除。
- ◆ ライセンス数またはインストール数に影響するエンタイトルメントエントリの追加、更新または削除。このようなエントリには、購買記録、購買記録の概要、カタログ製品、検出製品、およびソフトウェアコレクションがあります。
- ◆ (エンタイトルメントに関連付けられた) 検出された製品のインストールを無視としてマーク付け

### 6.4.2 更新の手動トリガ

すべてのライセンス製品のコンプライアンスステータスの更新を手動でトリガできます。個々のライセンス製品の更新は、手動でトリガできません。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ライセンス管理] の順にクリックして、[ライセンス管理] ページを表示します。
- 2 [ライセンスされた製品] をクリックして、[ライセンスされた製品] ページを表示します。  
コンプライアンスの更新は、[検出された製品] ページからもトリガできます。
- 3 [ライセンスされた製品] パネルで、[アクション] > [コンプライアンスステータスの更新] の順にクリックします。

### 6.4.3 リフレッシュの詳細の表示

[ライセンスされた製品] ページおよび [検出された製品] ページの両方のメニューバーの上に最新の更新情報が表示されます。この情報には、以下が含まれます。

- ◆ コンプライアンスのリフレッシュを開始および終了した最後の時間
- ◆ リフレッシュを初期化したもの
- ◆ リフレッシュはすべての製品であったか、単一の製品であったか

[ライセンスされた製品] ページの [コンプライアンスステータス] タブにはライセンスが最後に更新された日時も表示されます。また、[ライセンス管理レポート] > [ソフトウェアコンプライアンス] > [コンプライアンスレポート] の順にクリックすると、あるライセンスがすべてのライセンスの最終フルリフレッシュより最近に更新されているかどうかを示す [最近の再計算] と呼ばれるカラムが表示されます。

## 6.5 ライセンス製品の作成

ライセンス製品の作成に使用できる方法には、次の2つがあります。




- ◆ ライセンス製品を手動で作成できます。その場合は、ライセンス製品のエンタイトルメントを作成し、カタログ製品と検出製品を追加する必要があります。
- ◆ ライセンス製品を [自動調整] ウィザードを使用して、検出製品から作成できます。そのプロセス中に、エンタイトルメントを作成し、ライセンス製品に対してカタログ製品 (ウィザードによってライセンス製品に対する可能な一致として識別される) を調整します。ウィザードでは、一度に複数のライセンス製品を作成できます。

詳細については、次のセクションを参照してください。

- ◆ [47 ページのセクション 6.5.1 「ライセンス製品の手動作成」](#)
- ◆ [48 ページのセクション 6.5.2 「検出製品からのライセンス製品の作成」](#)

### 6.5.1 ライセンス製品の手動作成

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 移動... 削除 アクション						
<input type="checkbox"/>	名前	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数	割り当てられた数
<input type="checkbox"/>	 Microsoft .NET Framework 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1
<input type="checkbox"/>	 Mozilla.org Firefox 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	1
<input type="checkbox"/>	 Sun Java2 Runtime Environment 23e43		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0

- 3 [新規] > [ライセンスされた製品] の順にクリックして、[ライセンスされた新規製品の作成] ウィザードを起動します。
- 4 [一般情報] ページで、次のフィールドに情報を入力します。

**製造元 (オプション):** 製品の製造元。

**ライセンス製品 (必須):** 製品の名前です。

**バージョン ( オプション ):** 製品のバージョンです。

**メモ ( オプション ):** メモがあれば追加します。

- 5 [次] をクリックし、[New Licensed Product Summary( 新規ライセンス製品概要 )] ページの情報を確認してから、[完了] をクリックしてライセンス製品リストに製品を追加します。
- 6 次に示す追加タスクを完了することによって、ライセンス製品を設定します。
  - ◆ 1つ以上のエンタイトルメントを作成します。詳細については、[58 ページのセクション 7.2 「エンタイトルメントの作成」](#)を参照してください。
  - ◆ エンタイトルメントにカタログ製品を追加します。詳細については、[63 ページのセクション 7.3 「カタログ製品の追加」](#)を参照してください。
  - ◆ エンタイトルメントに検出製品を追加します。詳細については、[65 ページのセクション 7.5 「検出製品の追加」](#)を参照してください。
  - ◆ エンタイトルメントによってカバーされるユーザまたはデバイスを指定します。詳細については、[67 ページのセクション 7.6 「ユーザとデバイスの範囲の指定」](#)を参照してください。

## 6.5.2 検出製品からのライセンス製品の作成

[自動調整] ウィザードでは、検出製品からライセンス製品を作成できます。このウィザードは、次のように進行します。

- ◆ ユーザがライセンス製品の作成のベースにする検出製品を選択します。一度に複数の検出製品を選択すると、複数のライセンス製品を作成できます。
- ◆ 検出製品と同じ名前のライセンス製品が作成されます。
- ◆ ライセンス製品のエンタイトルメントが作成されます。ユーザがエンタイトルメントの説明とライセンスモデルを指定します。複数のライセンス製品を作成する場合は、製品ごとに同じ(つまり、説明とライセンスモデルが同じ)エンタイトルメントが作成されます。
- ◆ エンタイトルメントに検出製品が追加されます。
- ◆ ライセンス製品に一致する可能性のあるカタログ製品が識別されます。ユーザがライセンス製品のエンタイトルメントにカタログ製品を追加するかどうか、選択します。

[自動調整] ウィザードを実行する際には、同一のエンタイトルメントライセンスモデルを必要とする検出製品を選択する必要があります。上記で示したように、このウィザードでは、処理時に作成されたすべてのライセンス製品に同じエンタイトルメントが適用されます。そのエンタイトルメントライセンスモデルと一致しない検出製品からライセンス製品を作成する場合は、ライセンス製品のエンタイトルメントを手動で編集して、そのライセンスモデルを変更する必要があります。

検出製品からライセンス製品を作成するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/> 名前 ▲	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数	割り当てられた数	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Microsoft .NET Framework 2</a>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Mozilla.org Firefox 2</a>		<input checked="" type="checkbox"/>		1	1	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Sun Java2 Runtime Environment 23e43</a>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0	

1 - 3/3 25 ▾ 項目の表示

- 3 [ライセンスされた製品] パネルで、[アクション] > [自動調整: ライセンス製品の作成] の順にクリックして、[自動調整] ウィザードを起動します。次の表の情報をを使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

ウィザードページ	詳細
検出製品フィルタ	<p>検出製品のリストをフィルタすることにより、選択対象の製品リストを小さくすることができます。</p> <p><b>任意:</b> フィルタを無視するには、このオプションを選択します。すべての検出製品が表示されます。</p> <p><b>以下に指定した製品:</b> 検出製品リストをフィルタするには、このオプションを選択します。次のフィールドに入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>製造元:</b> [選択] をクリックして、リストに表示された製造元の1つを選択します。または、[検索] をクリックして、製造元を示すテキスト文字列を指定します。</li> <li>◆ <b>製品名:</b> 目的の製品を示すテキスト文字列を指定します。</li> </ul> <p>アスタリスク (*) をワイルドカードとして使用することができます。M で始まる製造元からのすべての検出製品を表示するには、[製造元] フィールドに M* を入力し、[製品名] フィールドに * を入力します。</p>
作成するライセンス製品を選択します	<p>このページには、前のページで定義したフィルタ条件を満たすすべての検出製品が一覧されます。</p> <p>最初の列には、作成するライセンス製品の名前が表示されます。2番目の列には、ライセンス製品に関連付けられる検出製品が表示されます。3番目の列には、ウィザードがライセンス製品に関連付ける候補と見なすカタログ製品が表示されます。</p> <p>デフォルトでは、すべてのライセンス製品が選択され、作成されます。作成したくないライセンス製品は、選択解除できます。</p> <p>ライセンス製品に関連付けたくないカタログ製品も選択解除できます。</p>
宛先フォルダ	<p>新しいライセンス製品を配置するライセンス製品のフォルダ階層の場所を指定できます。</p> <p>フィールドのデフォルト値は現在のフォルダ ([自動調整] ウィザードを起動したフォルダ) です。別のフォルダを指定するには、 をクリックしてフォルダを参照して選択します。既存のフォルダを指定します。選択ダイアログボックスを使用して新規フォルダを作成することはできません。</p>

---

**ウィザードページ****詳細**

---

**ライセンスエンタイトルメント**

ライセンス製品ごとに、少なくとも1つのエンタイトルメントが必要です。このページでは、作成中のライセンス製品に追加するエンタイトルメントの説明とライセンスモデルを指定します。

**説明:** ライセンスエンタイトルメントの説明を追加します。エンタイトルメントの説明は、エンタイトルメントの名前として機能し、ライセンス製品のエンタイトルメントリスト内でそのエンタイトルメントを識別します。この説明には、製品名、バージョン、ライセンスモデル、ライセンスタイプなどの分かりやすい情報を反映させることができます。

**ライセンスモデル:** 次のライセンスモデルのいずれかを選択します。

- ◆ **インストールごと:** エンタイトルメントの検出製品のインストールごとに、1つのライセンスが使用されます。
- ◆ **OEM:** エンタイトルメントの検出製品がデバイスにインストールされているかどうかにかかわらず、対象のデバイスごとに1つのライセンスが使用されます。エンタイトルメントが対象とするデバイスを指定します。
- ◆ **マシン:** いずれかのエンタイトルメントの検出製品がデバイスにインストールされている場合にのみ、対象のデバイスごとに1つのライセンスが使用されます。エンタイトルメントが対象とするデバイスを指定します。
- ◆ **ユーザごと:** それぞれのユーザは、インストール数にかかわらず、エンタイトルメントの検出製品のすべてのインストールに1つのライセンスを使用します。
- ◆ **名前付きユーザごと:** [ユーザごと] モデルと同じですが、エンタイトルメントが対象とするユーザを指定します。

**自動調整作成サマリ**

データを確認します。

---

- 4 ウィザードをまだ完了していない場合は、[完了] をクリックして、ライセンス製品の作成とそれらの [ライセンスされた製品] パネルへの追加を完了します。
- 5 必要な場合は、次に示す追加タスクの完了によって、ライセンス製品を設定します。
  - ◆ エンタイトルメントの対象ユーザまたはデバイスを指定します。詳細については、[67 ページのセクション 7.6 「ユーザとデバイスの範囲の指定」](#) を参照してください。
  - ◆ 追加のカタログ製品を追加します。詳細については、[63 ページのセクション 7.3 「カタログ製品の追加」](#) を参照してください。
  - ◆ 追加の検出製品を追加します。詳細については、[65 ページのセクション 7.5 「検出製品の追加」](#) を参照してください。
  - ◆ 追加のエンタイトルメントを作成します。詳細については、[58 ページのセクション 7.2 「エンタイトルメントの作成」](#) を参照してください。

## 6.6 ライセンス製品の一般情報の変更

ライセンス製品は、その製造元、製品名、バージョンなどの一般情報を含みます。これらの情報は、必要に応じて変更できます。カスタムフィールドを作成した場合は(52 ページのセクション 6.7「ライセンス製品へのカスタムフィールドの追加」参照)、それらも変更できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ライセンス管理] > [ライセンスされた製品] の順にクリックして、[ライセンスされた製品] ページを表示します。

ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/>	名前 ▲	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数	割り当てられた数
<input type="checkbox"/>	Microsoft .NET Framework 2	🟡	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1
<input type="checkbox"/>	Mozilla.org Firefox 2	🟢	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	1
<input type="checkbox"/>	Sun Java2 Runtime Environment 23e43	🔴	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0

- 2 [ライセンスされた製品] パネルで、編集する一般情報を含むライセンス製品をクリックします。

Novell GroupWise 7.0

全般    ライセンスの権限    コンプライアンスステータス    ライセンス割り当て

---

全般

製造元:

ライセンスされた製品:

バージョン:

メモ:

コストセンター:

- 3 必要に応じて、次のフィールドの内容を変更します。

**製造元:** リストから製品の製造元を選択するか、新しい製造元を入力します。

**ライセンス製品:** リストからライセンス製品の名前を選択するか、新しい名前を入力します。

**バージョン:** ライセンス製品が特定のバージョンを表す場合は、そのバージョンを指定します。指定しない場合は、フィールドを空のままにしておきます。

**メモ:** 製品に関して記録しておきたい情報を追加します。

**コストセンター:** 例として追加されるカスタムフィールド。事前定義の一般情報には含まれていません。カスタムフィールドは、自由に追加できます。詳細については、52 ページのセクション 6.7「ライセンス製品へのカスタムフィールドの追加」を参照してください。

## 6.7 ライセンス製品へのカスタムフィールドの追加

ライセンス製品は、製品の製造元、名前、バージョンを記録する事前定義のフィールドを含みます。これらのフィールドは、ライセンス製品の [全般] ページに表示されます。

ライセンス製品の追加情報の記録には、カスタムフィールドを作成できます。カスタムフィールドを作成すると、そのフィールドはライセンス製品の [全般] ページに追加されます。カスタムフィールドは、[ライセンスされた新規製品の作成] ウィザードにも組み込まれるので、ライセンス製品の作成中にそのフィールドに入力することができます。

カスタムフィールドを作成するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックし、[Asset Management] タブをクリックします。

環境設定	登録	システム情報	アセットインベントリ	システム更新	アセット管理
Webアプリケーション					
新規 削除					
<input type="checkbox"/>	製造元	アプリケーション	バージョン	最終更新日時	
<input type="checkbox"/>	PeopleSoft	<a href="#">Benefits System</a>		10/04/14	
<input type="checkbox"/>	Google	<a href="#">Gmail</a>		10/04/14	
<input type="checkbox"/>	Google	<a href="#">Google Calendar</a>		10/04/14	
<input type="checkbox"/>	Google	<a href="#">Google Maps</a>		10/04/14	
<input type="checkbox"/>	Novell	<a href="#">Innerweb COBE</a>		10/04/14	
1 - 5/7 5項目の表示					
管理者定義フィールド					
タイプ					
フィールド					
<a href="#">契約</a>					
1					
<a href="#">ライセンスされた製品</a>					
0					

- 2 [管理者定義フィールド] パネルで、[ライセンスされた製品] をクリックして、[ライセンスされた製品フィールド] ページを表示します。

ライセンスされた製品フィールド					
新規 削除					
<input type="checkbox"/>	名前	データタイプ	サイズ	タイプの編集	デフォルト値
内容名					
使用できる項目がありません。					

- 3 [新規] をクリックして、[新規管理者定義フィールド] ウィザードを起動します。次の表の情報を使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

ウィザードページ	詳細
一般情報	<p>次のフィールドに入力します。</p> <p><b>タイプ:</b> 選択したフィールドのタイプに応じてデフォルトで入力されます。</p> <p><b>名前:</b> フィールドラベルを指定します。このフィールドは必須です。</p> <p><b>デフォルト値:</b> フィールドのデフォルト値を指定します。デフォルト値は、フィールドのデータタイプに関して有効にする必要があります。たとえば、データタイプがデフォルト [整数] の場合は、デフォルト値を A にすることはできません。</p> <p><b>データタイプ:</b> [文字]、[整数]、[(10 進)]、または [日付] の中から、フィールドで使用できるデータのタイプを選択します。</p> <p><b>サイズ:</b> フィールドの中で使用できる英数字の最大数を指定します。これは、文字タイプのフィールドのみに適用されます。</p> <p><b>編集タイプ:</b> フィールドに値を入力する方法を決定します。選択できるオプションは次の 3 つです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>編集:</b> 値を入力したり、デフォルト値を編集したりできます。</li> <li>◆ <b>リスト:</b> 値のリストから値を選択できます。</li> <li>◆ <b>コンボ:</b> 値のリストから値を選択したり、新しい値を入力できます。</li> </ul> <p><b>マスクの編集:</b> [マスクの編集] フィールドリストから選択し、値を入力する方法を制限します。選択できるのは、「電話」、「時間」、および「通貨」です。これは、文字タイプのフィールドのみに適用されます。</p>
選択リストの値	<p>このページは、[タイプの編集] として [リスト] または [コンボ] を選択した場合に表示されます。</p> <p>選択肢のリストを作成するには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [選択リストの値] フィールド内で値を指定します。</li> <li>2. [追加] をクリックします。他の追加値についてもこの手順を繰り返します。</li> </ol> <p><b>編集:</b> 値を選択し、[編集] をクリックして値を変更します。</p> <p><b>削除:</b> 値を選択し、[削除] をクリックして値を削除します。</p> <p><b>インポート:</b> [インポート] をクリックすると、[選択リストの値のインポート] ダイアログボックスが開き、インポートするファイルを指定できます。</p>
フィールド概要	<p>データを確認します。前のページに戻ってフィールドを編集するには、[戻る] ボタンを使用します。</p>

- 4 [終了] をクリックして、新規管理者定義フィールドを作成します。  
フィールドが各ライセンス製品の [全般] ページに追加されます。

## 6.8 ライセンス製品のマージ

2つ以上のライセンス製品を1つのライセンス製品にマージできます。その場合は、ライセンス製品の1つをターゲット製品として選択すると、各ライセンス製品のエンタイトルメントがそのターゲット製品に移動します。ターゲット製品以外のすべてのマージ対象製品は、マージ後に削除されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ライセンス管理] > [ライセンスされた製品] の順にクリックして、[ライセンスされた製品] ページを表示します。

ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/> 名前 ▲	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数	割り当てられた数	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Microsoft .NET Framework 2</a>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Mozilla.org Firefox 2</a>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	1	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Sun Java2 Runtime Environment 23e43</a>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0	

- 2 [ライセンスされた製品] パネルで、マージするライセンス製品を選択します。
- 3 [アクション] > [ライセンス製品のマージ] の順にクリックします。
- 4 [ターゲット製品] リストで、選択したすべての製品のマージ先にするライセンス製品を選択して、[OK] をクリックします。

製品がマージされます。ターゲット製品が [ライセンスされた製品] リストに表示され、他のすべてのマージ対象製品は削除されます。

## 6.9 ライセンス製品の削除

ライセンス製品は、それを削除することによって、[ライセンスされた製品] リストから除去できます。ライセンス製品のみが削除され、そのライセンス製品に関連付けられたカタログ製品と検出製品は削除されません。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ライセンス管理] > [ライセンスされた製品] の順にクリックして、[ライセンスされた製品] ページを表示します。



ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/> 名前 ▲	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数	割り当てられた数	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Microsoft .NET Framework 2</a>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Mozilla.org Firefox 2</a>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	1	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Sun Java2 Runtime Environment 23e43</a>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0	

- 2 [ライセンスされた製品] パネルで、削除するライセンス製品を選択します。
- 3 [削除] をクリックし、次に [OK] をクリックして削除を確認します。

## 6.10 ライセンス製品の移動

ライセンス製品は、[ライセンスされた製品] リスト内の1つのフォルダから別のフォルダに移動できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ライセンス管理] > [ライセンスされた製品] の順にクリックして、[ライセンスされた製品] ページを表示します。

ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/>	名前 ▲	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数量	割り当てられた数量
<input type="checkbox"/>	 Microsoft .NET Framework 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1
<input type="checkbox"/>	 Mozilla.org Firefox 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	1
<input type="checkbox"/>	 Sun Java2 Runtime Environment 23e43		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0

1 - 3/3 25 ▾ 項目の表示

- 2 [ライセンスされた製品] パネルで、移動するライセンス製品を選択します。
- 3 [移動] をクリックして、[ライセンスされた製品の移動] ダイアログボックスを表示します。
- 4 ターゲットフォルダを参照および選択して、[OK] をクリックします。



# エンタイトルメントの操作

ライセンスエンタイトルメントは、通常、ライセンス製品の使用許諾契約を表します。ライセンスエンタイトルメントは、ライセンスタイプ(フル、アップグレード、保守など)やライセンスモデル(ユーザごと、インストールごと、OEM マシンなど)などの契約詳細を含みます。ライセンスエンタイトルメントは、ライセンスモデルに基づいて、エンタイトルメントによってカバーされるユーザまたはマシンも指定します。

一部のライセンス製品ではエンタイトルメントが1つしかないことがあります。たとえば、フルライセンスのインストールごとの契約で、すべてのインストールが対象となる製品があります。

一方、複数のエンタイトルメントを持つ製品もあります。たとえば、OEM ライセンスによるインストールとユーザごとライセンスによるインストールができる製品があります。その場合、両方の使用許諾契約を正しくカバーするには、異なるライセンスモデルとユーザ/マシン範囲を持つ2つのエンタイトルメントが必要になります。2つ目の例としては、フルライセンス契約とバージョンのアップグレード契約でカバーされる製品があります。

次の各セクションでは、エンタイトルメントの管理に関するタスクについて説明します。

- ◆ [57 ページのセクション 7.1 「ライセンス製品のエンタイトルメントの表示」](#)
- ◆ [58 ページのセクション 7.2 「エンタイトルメントの作成」](#)
- ◆ [63 ページのセクション 7.3 「カタログ製品の追加」](#)
- ◆ [64 ページのセクション 7.4 「購入概要レコードの追加」](#)
- ◆ [65 ページのセクション 7.5 「検出製品の追加」](#)
- ◆ [67 ページのセクション 7.6 「ユーザとデバイスの範囲の指定」](#)
- ◆ [71 ページのセクション 7.7 「契約とドキュメントの追加」](#)

## 7.1 ライセンス製品のエンタイトルメントの表示

ライセンス製品のエンタイトルメントのリストを表示できます。このリストには、各エンタイトルメントの一般情報(ライセンスタイプ、ライセンスモデル、ライセンス数量、対象検出製品など)が表示されます。

- 1 ZENworks<sup>®</sup> コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。
- 3 [ライセンスされた製品] パネルで、表示対象のエンタイトルメントを含むライセンス製品をクリックします。
- 4 [ライセンスエンタイトルメント] タブをクリックします。

[ライセンスの権限] ページが表示されます。このページは、[権限(使用データソース: インベントリ)] および [権限(使用データソース: 手動)] という2つのパネルで構成されます。

全般	ライセンスの権限	コンプライアンスステータス	ライセンス割り当て					
権限(使用データソース: インベントリ)								
新規 削除								
<input type="checkbox"/>	説明 ▲ タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	カバーされたバージョン	アップグレード元
<input type="checkbox"/>	ACME	フルライセンス	永久	アクティブ	インストールごと	8	8	
合計:						8	8	
権限(使用データソース: 手動)								
新規 削除								
<input type="checkbox"/>	説明 ▲ タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	アップグレード元	
使用できる項目がありません。								

管理ゾーン内のデバイススキャン時に収集されたインベントリデータから製品のインストールデータを取得するエンタイトルメントの管理には、[権限(使用データソース: インベントリ)] パネルを使用します。

製品のインストールデータを手動でエンタイトルメントに入力する必要があるエンタイトルメントの管理には、[権限(使用データソース: 手動)] パネルを使用します。

これらのページには、次の詳細情報が表示されます。

**説明:** エンタイトルメントの名前。名前をクリックすると、エンタイトルメントの詳細が表示されます。

**タイプ:** エンタイトルメントのタイプ (フル、ライセンス/保守、またはバージョンのアップグレード)

**ライセンス期間:** ライセンス期間が永久か、特定の期限付きかを示します。

**期間ライセンスステータス:** ライセンスがアクティブか、期限切れかを示します。

**ライセンスモデル:** ライセンスモデルのタイプ。

**ライセンス数:** エンタイトルメントに割り当てられたカタログ製品、またはエンタイトルメント用に作成された購入概要レコードのどちらかを介してエンタイトルメントに含まれるライセンスの総数。その数字をクリックして、ライセンスの合計に寄与するカタログ製品と購入概要レコードを管理します (つまり、表示、追加、または削除します)。

**使用可能な数量:** 使用可能なライセンスの数。これは、ライセンスの合計数から、使用しているライセンスを引くことによって計算されます。

**対象バージョン:** この列は、インベントリ用パネルにのみ含まれています。この列には、エンタイトルメントの対象検出製品がバージョン別に一覧されます。エンタイトルメントの対象製品のバージョンを管理 (つまり、表示、追加、または削除) するには、そのバージョンをクリックします。

**アップグレード元:** エンタイトルメントのタイプが [バージョンのアップグレード] の場合、このカラムには、アップグレードする前のエンタイトルメントが表示されます。

## 7.2 エンタイトルメントの作成

作成できるエンタイトルメントのカテゴリは2つあります (インベントリエンタイトルメント、手動エンタイトルメント)。インベントリエンタイトルメントは、その検出製品のインストールデータをインベントリデータベースから取得します。手動エンタイトルメントの場合は、インストールデータを手動で入力する必要があります。

- ◆ [59 ページのセクション 7.2.1 「インベントリエンタイトルメントの作成」](#)
- ◆ [61 ページのセクション 7.2.2 「手動エンタイトルメントの作成」](#)

## 7.2.1 インベントリエンタイトルメントの作成

次の手順は、検出製品のインストールデータソースとして、インベントリデータを使用するエンタイトルメントの作成方法を示しています。インストールデータを手動で入力するエンタイトルメントを作成する必要がある場合は、61 ページのセクション 7.2.2 「[手動エンタイトルメントの作成](#)」を参照してください。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▼ 移動... 削除 アクション ▼						
<input type="checkbox"/> 名前 ▲	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数量	割り当てられた数量	
<input type="checkbox"/> Microsoft .NET Framework 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1	
<input type="checkbox"/> Mozilla.org Firefox 2		<input checked="" type="checkbox"/>		1	1	
<input type="checkbox"/> Sun Java2 Runtime Environment 23e43		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0	

1 - 3/3 25 ▼ 項目の表示

- 3 エンタイトルメントを作成する製品をクリックします。
- 4 [ライセンスエンタイトルメント] タブをクリックします。

全般	ライセンスの権限	コンプライアンスステータス	ライセンス割り当て					
権限(使用データソース: インベントリ)								
新規 削除								
<input type="checkbox"/> 説明 ▲	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	カバーされたバージョン	アップグレード元
<input type="checkbox"/> ACME	フルライセンス	永久	アクティブ	インストールごと	8	8		
合計:					8	8		
権限(使用データソース: 手動)								
新規 削除								
<input type="checkbox"/> 説明 ▲	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	アップグレード元	
使用できる項目がありません。								

- 5 [権限(使用データソース: インベントリ)] パネルで、[新規] をクリックして [新規エンタイトルメントの作成] ウィザードを起動します。次の表の情報を使用して、ウィザードを完了します。

ウィザードページ	詳細
ライセンスモデル	<p>ライセンスモデルによって、適格なインストールのライセンス使用を計算する方法が決定します。次のライセンスモデルのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>インストールごと</b>：エンタイトルメントの検出製品のインストールごとに、1つのライセンスが使用されます。</li> <li>◆ <b>OEM</b>：エンタイトルメントの検出製品がデバイスにインストールされているかどうかにかかわらず、対象のデバイスごとに1つのライセンスが使用されます。エンタイトルメントが対象とするデバイスを指定します。</li> <li>◆ <b>マシン</b>：いずれかのエンタイトルメントの検出製品がデバイスにインストールされている場合にのみ、対象のデバイスごとに1つのライセンスが使用されます。エンタイトルメントが対象とするデバイスを指定します。</li> <li>◆ <b>ユーザごと</b>：それぞれのユーザは、インストール数にかかわらず、エンタイトルメントの検出製品のすべてのインストールに1つのライセンスを使用します。</li> <li>◆ <b>名前付きユーザごと</b>：[ユーザごと] モデルと同じですが、エンタイトルメントが対象とするユーザを指定する点が異なります。</li> </ul>
エンタイトルメントタイプ	<p>エンタイトルメントで表されるライセンスのタイプを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>フルライセンス</b>：新規製品のインストール(アップグレードのインストールと対照的)に対する権限をユーザに与えます。</li> <li>◆ <b>バージョンのアップグレード</b>：以前の製品バージョンを新バージョンにアップグレードする権限をユーザに与えます。このオプションは、ライセンス製品の最初のエンタイトルメントを作成する際には表示されません。</li> <li>◆ <b>ライセンス/保守</b>：新しい製品インストールと以降のメンテナンスバージョンに対する権限をユーザに与えます。</li> </ul>
エンタイトルメントのアップグレード	<p>このページは、エンタイトルメントタイプとして [バージョンのアップグレード] を選択した場合のみ表示されます。</p> <p>このエンタイトルメントでアップグレードするエンタイトルメントを選択します。</p>
一般情報	<p>次のフィールドに入力します。</p> <p><b>説明</b>：エンタイトルメントの説明を指定します。例：<i>製品 A OEM ライセンス</i> または <i>製品 A バージョン 6 のユーザごとライセンス</i>。</p> <p><b>プラットフォーム</b>：製品のプラットフォームをリストから選択します。</p> <p><b>ライセンス期間</b>：ライセンスが有効な期間。ライセンスに終了日がない場合は、[永久] を選択します。固定期間のライセンスである場合は、[期間] を選択し、次に、カレンダーアイコンをクリックして開始日と終了日を選択します。</p> <p><b>仮想マシン使用権限</b>：仮想マシンで製品を使用する際に適用されるソフトウェア使用権限を指定します。</p> <p><b>メモ</b>：任意のメモを入力します。</p>

新規エンタイトルメント データを確認します。  
の概要

- 6 ウィザードをまだ完了していない場合は、[完了] をクリックして、エンタイトルメントの作成とエンタイトルメントのパネルへの追加を完了します。
- 7 次の手順を実行して、エンタイトルメントを設定します。
  - ◆ 購入したライセンスに関する情報を追加します。63 ページのセクション 7.3 「カタログ製品の追加」 および 64 ページのセクション 7.4 「購入概要レコードの追加」を参照してください。
  - ◆ インストールに関する情報を追加します。詳細については、65 ページのセクション 7.5 「検出製品の追加」を参照してください。
  - ◆ エンタイトルメントの対象ユーザまたはデバイスを指定します。詳細については、67 ページのセクション 7.6 「ユーザとデバイスの範囲の指定」を参照してください。

## 7.2.2 手動エンタイトルメントの作成

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 移動... 削除 アクション						
<input type="checkbox"/> 名前	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数	割り当てられた数	
<input type="checkbox"/> Microsoft .NET Framework 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1	
<input type="checkbox"/> Mozilla.org Firefox 2		<input checked="" type="checkbox"/>		1	1	
<input type="checkbox"/> Sun Java2 Runtime Environment 23e43		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0	

1 - 3/3 25 項目の表示

- 3 エンタイトルメントを作成する製品をクリックします。
- 4 [ライセンスエンタイトルメント] タブをクリックします。

全般	ライセンスの権限	コンプライアンスステータス	ライセンス割り当て					
権限(使用データソース: インベントリ)								
新規 削除								
<input type="checkbox"/> 説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数	使用可能な数	カバーされたバージョン	アップグレード元
<input type="checkbox"/> ACME	フルライセンス	永久	アクティブ	インストールごと	8	8		
合計:					8	8		
権限(使用データソース: 手動)								
新規 削除								
<input type="checkbox"/> 説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数	使用可能な数	アップグレード元	
使用できる項目がありません。								

- 5 [権限(使用データソース: 手動)] パネルで [新規] をクリックして、[新規エンタイトルメントの作成] ウィザードを起動します。次の表の情報を使用して、ウィザードを完了します。

ウィザードページ	詳細
ライセンスモデル	事前定義されたライセンスモデルの1つを選択します。これらのライセンスモデルは、使用許諾契約で最もよく使用されるライセンスモデルに一致することを目指しています。目的のライセンスモデルが定義されていない場合は、[その他]を選択してライセンスモデルを指定します。
エンタイトルメントタイプ	エンタイトルメントで表されるライセンスのタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ <b>フルライセンス</b>：新規製品のインストール(アップグレードのインストールと対照的)に対する権限をユーザに与えます。</li> <li>◆ <b>バージョンのアップグレード</b>：以前の製品バージョンを新バージョンにアップグレードする権限をユーザに与えます。このオプションは、ライセンス製品の最初のエンタイトルメントを作成する際には表示されません。</li> <li>◆ <b>ライセンス/保守</b>：新しい製品インストールと以降のメンテナンスバージョンに対する権限をユーザに与えます。</li> </ul>
エンタイトルメントのアップグレード	このページは、エンタイトルメントタイプとして「バージョンのアップグレード」を選択した場合のみ表示されます。  このエンタイトルメントでアップグレードするエンタイトルメントを選択します。
一般情報	次のフィールドに入力します。  <b>説明</b> ：エンタイトルメントの説明を指定します。例：製品 A OEM ライセンス または 製品 A バージョン 6 のユーザごとライセンス。  <b>プラットフォーム</b> ：製品のプラットフォームをリストから選択します。  <b>ライセンス期間</b> ：ライセンスが有効な期間。ライセンスに終了日がない場合は、[永久]を選択します。固定期間のライセンスである場合は、[期間]を選択し、次に、カレンダーアイコンをクリックして開始日と終了日を選択します。  <b>使用数量</b> ：エンタイトルメントに対してカウントするインストールの数を指定します。  <b>仮想マシン使用権限</b> ：仮想マシンで製品を使用する際に適用されるソフトウェア使用権限を指定します。  <b>メモ</b> ：任意のメモを入力します。
新規エンタイトルメントの概要	データを確認します。

- 6 ウィザードをまだ完了していない場合は、[完了] をクリックして、エンタイトルメントの作成とエンタイトルメントのパネルへの追加を完了します。
- 7 次の手順を実行して、エンタイトルメントを設定します。
  - ◆ 購入したライセンスに関する情報を追加します。63 ページのセクション 7.3 「カタログ製品の追加」 および 64 ページのセクション 7.4 「購入概要レコードの追加」を参照してください。

- ◆ インストールに関する情報を追加します。詳細については、65 ページのセクション 7.5 「検出製品の追加」を参照してください。
- ◆ エンタイトルメントの対象ユーザまたはデバイスを指定します。詳細については、67 ページのセクション 7.6 「ユーザとデバイスの範囲の指定」を参照してください。

## 7.3 カタログ製品の追加

ライセンス製品にその製品用に購入したライセンスの数を入力するには、カタログ製品をライセンス製品のエンタイトルメントに追加します。カタログ製品がない場合は、代わりに購入概要レコードを作成できます (64 ページのセクション 7.4 「購入概要レコードの追加」を参照)。

カタログ製品をエンタイトルメントに追加する方法には、次の 2 つがあります。

- ◆ 63 ページのセクション 7.3.1 「エンタイトルメントの編集によるカタログ製品の追加」
- ◆ 64 ページのセクション 7.3.2 「カタログ製品リストの使用によるカタログ製品の追加」

### 7.3.1 エンタイトルメントの編集によるカタログ製品の追加

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/> 名前	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数量	割り当てられた数量	
<input type="checkbox"/> Microsoft .NET Framework 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1	
<input type="checkbox"/> Mozilla.org Firefox 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	1	
<input type="checkbox"/> Sun Java2 Runtime Environment 23e43		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0	

- 3 エンタイトルメントを持つライセンス製品をクリックします。
- 4 [ライセンスエンタイトルメント] タブをクリックします。

全般	ライセンスの権限	コンプライアンスステータス	ライセンス割り当て					
権限(使用データソース: インベントリ)								
新規 削除								
<input type="checkbox"/> 説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	カバーされたバージョン	アップグレード元
<input type="checkbox"/> ACME	フルライセンス	永久	アクティブ	インストールごと	8	8		
合計:						8	8	
権限(使用データソース: 手動)								
新規 削除								
<input type="checkbox"/> 説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	アップグレード元	
使用できる項目がありません。								

- 5 エンタイトルメントのパネルで、カタログ製品を追加するエンタイトルメントをクリックします。
- 6 [所有権の証明] タブをクリックします。
- 7 [カタログ製品] パネルで、[追加] をクリックします。

- 8 目的のカタログ製品を選択し、次に、[OK] をクリックして、選択したカタログ製品を [カタログ製品] パネルに追加します。


[カタログ製品] パネルには、各カタログ製品の購入数量が表示されます。この数量は、購入したカタログ製品の ( 購買記録に従った ) ユニット数です。[カタログ製品] パネルには、ライセンス数量も表示されます。この数量は、購入したユニットに含まれたライセンスの総数です。

## 7.3.2 カタログ製品リストの使用によるカタログ製品の追加

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[カタログ製品] をクリックします。

カタログ製品									
新規 移動... 削除 アクション									
名前	パッケージあたりのライセンス	製造者製品番号	販売者SKU	除外	購入数量	ライセンスされた製品	ライセンスエンタイトルメント		
<input type="checkbox"/>	4D TECHNOLOGIES INC CD DUPE MS OFFICE 2000 STANDARD 32 BIT WIN (CD)(NR) 2000 (FF_Media Duplication) (1)				1	C49567	C49567	1	
<input type="checkbox"/>	ACME Jumble 2 (Full License) (1)				1			2	<a href="#">Jumble</a>
<input type="checkbox"/>	ACME Turbo (Version Upgrade) (1)				1				
<input type="checkbox"/>	ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT CAPTURE V3.0 PERSONAL ED WNT (CD) 3 (Shrinkwrap Product) (1)				1	22101156	A59587	1	
<input type="checkbox"/>	ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT V5.0 MP (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)				1	22001438	A68210	2	
<input type="checkbox"/>	ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT V5.0 MP UPG (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)				1	22001440	A68250	3	
<input type="checkbox"/>	ADOBE SYSTEMS INC ADOBE DESIGN COLLECTION V4.0 MP (CD) 4 (Shrinkwrap Product) (1)				1	27590080	A69412	1	
<input type="checkbox"/>	ADOBE SYSTEMS INC ADOBE GOLIVE V6.0 MP (CD) 6 (Shrinkwrap Product) (1)				1	23200324	A84261	2	
<input type="checkbox"/>	ADOBE SYSTEMS INC ADOBE PAGEMAKER V7.0 MP (CD)(EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)				1	27530341	A69856	1	
<input type="checkbox"/>	ADOBE SYSTEMS INC ADOBE PAGEMAKER V7.0.2 MP UPG (CD)(EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)				1	27530402	A104342	1	

- 3 エンタイトルメントに追加するカタログ製品を選択します。
- 4 [アクション] > [ライセンスされた製品に追加] の順にクリックして、[カタログ製品をライセンス製品に追加] ウィザードを起動します。次の表の情報を使用して、ウィザードを完了します。

ウィザードページ	詳細
ライセンス製品	 をクリックして、カタログ製品を追加するエンタイトルメントを含むライセンス製品を参照し選択します。
ライセンスエンタイトルメント	カタログ製品を追加するエンタイトルメントを選択します。
概要	データを確認します。

- 5 ウィザードをまだ完了していない場合は、[完了] をクリックしてカタログ製品をエンタイトルメントに追加します。

[カタログ製品] リストには、追加したカタログ製品ごとに、現在関連付けられているライセンス製品とエンタイトルメントが表示されます。

## 7.4 購入概要レコードの追加

購入概要レコードを使用すると、カタログ製品や購買記録がなくても、エンタイトルメントにライセンスを追加できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▼ 移動... 削除 アクション ▼						
<input type="checkbox"/> 名前 ▲	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数	割り当てられた数	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Microsoft .NET Framework 2</a>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Mozilla.org Firefox 2</a>		<input checked="" type="checkbox"/>		1	1	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Sun Java2 Runtime Environment 23e43</a>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0	

1 - 3/3 25 ▼ 項目の表示

- エンタイトルメントを持つライセンス製品をクリックします。
- [ライセンスエンタイトルメント] タブをクリックします。

全般	ライセンスの権限	コンプライアンスステータス	ライセンス割り当て					
<b>権限(使用データソース: インベントリ)</b>								
新規 削除								
<input type="checkbox"/> 説明 ▲	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数	使用可能な数	カバーされたバージョン	アップグレード元
<input type="checkbox"/> ACME	フルライセンス	永久	アクティブ	インストールごと	8	8		
合計:					8	8		
<b>権限(使用データソース: 手動)</b>								
新規 削除								
<input type="checkbox"/> 説明 ▲	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数	使用可能な数	アップグレード元	
使用できる項目がありません。								

- エンタイトルメントのパネルで、購入概要レコードを追加するエンタイトルメントをクリックします。
- [所有権の証明] タブをクリックします。
- [購入概要レコード] パネルで、[新規] をクリックします。
- [一般情報] ページで、次のフィールドに情報を入力します。
  - 説明: レコードを識別する説明または名前を指定します。
  - ライセンス数: 購入したライセンスの数を指定します。
  - 総コスト: ライセンスの合計コストを指定します。この情報はオプションです。
  - メモ: レコードを識別するメモ (オプション) を指定します。
- [次へ] をクリックし、[概要] ページを表示します。
- 購入概要レコードを作成するには、[終了] をクリックします。

## 7.5 検出製品の追加

製品のインストールをライセンス製品に関連付けるには、検出製品をライセンス製品のエンタイトルメントに追加します。

検出製品は、インベントリエンタイトルメントにしか追加できません。手動エンタイトルメントは検出製品を使用しません。

検出製品をエンタイトルメントに追加する方法には、次の2つがあります。

- ◆ 66 ページのセクション 7.5.1 「エンタイトルメントの編集による検出製品の追加」
- ◆ 66 ページのセクション 7.5.2 「検出された製品リストの使用による検出製品の追加」

## 7.5.1 エンタイトルメントの編集による検出製品の追加

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 移動... 削除 アクション						
<input type="checkbox"/> 名前	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数量	割り当てられた数量	
<input type="checkbox"/> Microsoft .NET Framework 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1	
<input type="checkbox"/> Mozilla.org Firefox 2		<input checked="" type="checkbox"/>		1	1	
<input type="checkbox"/> Sun Java2 Runtime Environment 23e43		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0	

1 - 3/3 25 項目の表示

- 3 エンタイトルメントを持つライセンス製品をクリックします。
- 4 [ライセンスエンタイトルメント] タブをクリックします。

全般	ライセンスの権限	コンプライアンスステータス	ライセンス割り当て					
権限(使用データベース: インベントリ)								
新規 削除								
<input type="checkbox"/> 説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	カバーされたバージョン	アップグレード元
<input type="checkbox"/> ACME	フルライセンス	永久	アクティブ	インストールごと	8	8		
合計:					8	8		
権限(使用データベース: 手動)								
新規 削除								
<input type="checkbox"/> 説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	アップグレード元	
使用できる項目がありません。								


- 5 エンタイトルメントのパネルで、検出製品を追加するエンタイトルメントをクリックします。
- 6 [範囲] タブをクリックします。
- 7 管理ゾーン内でインストールされている検出製品からのみ選択する場合は、[検出された製品] パネルで、[追加] > [インストール済みの検出された製品] の順にクリックします。  
または  
[追加] > [任意の検出された製品] の順にクリックして、ZENworks Knowledgebase に含まれるすべての検出製品を表示します。
- 8 目的の検出製品を選択し、次に、[OK] をクリックしてその製品を [カバーされている検出された製品バージョン] パネルに追加します。

## 7.5.2 検出された製品リストの使用による検出製品の追加

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[検出された製品] をクリックします。

検出された製品						
アクション ▼						
<input type="checkbox"/>	名前 ▲	除外	ライセンスされた製品	インストール済み数量	アクティブな使用量	機能カテゴリ
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Adobe Adobe Flash Player Plugin 10.0 (Windows)</a>			2	0	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)</a>		<a href="#">Java2 Runtime Environment</a>	1	0	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Microsoft Windows XP Professional 5.1 (Windows)</a>			4	0	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Novell Novell CASA 1.7 (Windows)</a>			5	0	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Novell ZENworks Imaging Agent 10.2 (Windows)</a>			5	0	

- エンタイトルメントに追加する検出製品を選択します。
- [アクション] > [ライセンスされた製品に追加] の順にクリックして、[検出された製品をライセンス製品に追加] ウィザードを起動します。次の表の情報を使用して、ウィザードを完了します。

ウィザードページ	詳細
ライセンス製品	 をクリックして、検出製品を追加するエンタイトルメントを含むライセンス製品を参照し選択します。
ライセンスエンタイトルメント	検出製品を追加するエンタイトルメントを選択します。
概要	データを確認します。

- ウィザードをまだ完了していない場合は、[完了] をクリックして検出製品をエンタイトルメントに追加します。  
[検出された製品] リストに、検出製品に関連付けられたライセンス製品が表示されます。

## 7.6 ユーザとデバイスの範囲の指定

OEM、マシン、名前付きユーザごと、またはユーザごとのライセンスモデルを使用するエンタイトルメントの場合は、エンタイトルメントの対象デバイスまたはユーザを指定する必要があります。次のセクションではそれらの手順について説明します。

- 68 ページのセクション 7.6.1 「OEM エンタイトルメントとマシンエンタイトルメントへの対象デバイスの追加」
- 69 ページのセクション 7.6.2 「名前付きユーザごとエンタイトルメントへの対象ユーザの追加」
- 70 ページのセクション 7.6.3 「ユーザごとエンタイトルメントからのユーザの除外」

## 7.6.1 OEM エンタイトルメントとマシンエンタイトルメントへの対象デバイスの追加

OEM ライセンスモデルまたはマシンライセンスモデルでエンタイトルメントを作成する際には、エンタイトルメントの対象とするデバイスを指定する必要があります。対象デバイスのみが、エンタイトルメントのライセンスを使用できます。

- 1 ライセンス製品の [ライセンスエンタイトルメント] のページを開いている場合は、**ステップ 2** にスキップします。そうでない場合は、次の手順でそのページを開きます。
  - 1a ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
  - 1b [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。
  - 1c エンタイトルメントの範囲を変更する製品をクリックします。
  - 1d [ライセンスエンタイトルメント] タブをクリックします。

全般	ライセンスの権限	コンプライアンスステータス	ライセンス割り当て					
権限(使用データソース: インベントリ) <span style="float: right;">?</span>								
<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 削除								
<input type="checkbox"/> 説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	カバーされたバージョン	アップグレード元
<input type="checkbox"/> ACME	フルライセンス	永久	アクティブ	インストールごと	8	8		
合計:					8	8		
権限(使用データソース: 手動) <span style="float: right;">?</span>								
<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 削除								
<input type="checkbox"/> 説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	アップグレード元	
使用できる項目がありません。								

- 2 エンタイトルメントのパネルで、OEM またはマシンのエンタイトルメントをクリックします。
- 3 [範囲] タブをクリックします。
- 4 製品がインストールされているデバイスのみを表示する場合は、[カバーされているマシン] パネルで、[追加] > [Devices with Product Installed(製品がインストールされたデバイス)] をクリックします。

または

すべてのデバイスを表示する場合は、[追加] > [Any Devices(任意のデバイス)] の順にクリックします。

[デバイスの検索] ダイアログボックスが表示されます。システムには多数のデバイスが含まれることがあるので、[デバイスの検索] ダイアログボックスでは、定義した条件を満たすデバイスだけを表示できます。

- 5 [検索条件] を使用して、表示するデバイスを指定します。検索結果を制限しない場合は、**ステップ 6** にスキップします。

**デバイスの種類:** 検索結果に含めたいデバイスのタイプ (管理対象、インベントリ、マイグレート) を選択します。

**デバイスフィルタ:** フィルタを使用すると、検索結果に含まれるデバイスが満たす必要のある特定の基準を定義できます。[フィルタの追加]、[フィルタセットの追加]、[フィルタの挿入] の各オプションを使用して検索条件を作成します。

**Maximum Number of Devices to Display(表示するデバイスの最大数):** 検索結果に含めるデバイスの最大数を指定します。

- 6 [Columns to Display in Search Results( 検索結果として表示する列)] リストで、<Ctrl> キーを押してクリックするか、<Shift> キーを押してクリックして、検索結果として表示する列を選択します。
- 7 [検索] をクリックして、検索結果を表示します。
- 8 [カバーされているマシン] リストに追加するデバイスを選択して、[OK] をクリックします。

## 7.6.2 名前付きユーザごとエンタイトルメントへの対象ユーザの追加

名前付きユーザごとライセンスモデルを持つエンタイトルメントを作成するには、エンタイトルメントの対象とするユーザを指定する必要があります。対象ユーザのみが、エンタイトルメントのライセンスを使用できます。

- 1 ライセンス製品のライセンスエンタイトルメントのページを開いている場合は、[ステップ 2](#) にスキップします。そうでない場合は、次の手順でそのページを開きます。
  - 1a ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
  - 1b [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。
  - 1c エンタイトルメントの範囲を変更する製品をクリックします。
  - 1d [ライセンスエンタイトルメント] タブをクリックします。

全般	ライセンスの権限	コンプライアンスステータス	ライセンス割り当て								
権限(使用データソース: インベントリ)											
新規 削除											
<input type="checkbox"/>	説明	タイプ	ライセンス期間	期間	ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数	使用可能な数	カバーされたバージョン	アップグレード元	
<input type="checkbox"/>	ACME	フルライセンス	永久	アクティブ	インストールごと	8	8				
合計:							8	8			
権限(使用データソース: 手動)											
新規 削除											
<input type="checkbox"/>	説明	タイプ	ライセンス期間	期間	ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数	使用可能な数	アップグレード元		
使用できる項目がありません。											

- 2 エンタイトルメントのパネルで、[名前付きユーザごと] のエンタイトルメントをクリックします。
- 3 [範囲] タブをクリックします。
- 4 製品をインストールしたユーザのみを表示する場合は、[対象ユーザ] パネル、で、[追加] > [Users with Product Installed( 製品をインストールしたユーザ)] の順にクリックします。  
または  
すべてのユーザを表示する場合は、[追加] > [Any Users( 任意のユーザ)] の順にクリックします。
- 5 信頼されたユーザソースからユーザを選択する場合は、[対象ユーザ] リストに追加するユーザを参照し選択して、[OK] をクリックします。  
または  
インベントリデータソースからユーザを選択する場合は、次の手順を実行します。
  - 5a [検索条件] を使用して、表示するユーザを指定します。検索結果を制限しない場合は、[ステップ 5b](#) にスキップします。

**User Filter( ユーザフィルタ ):** フィルタを使用すると、検索結果に含まれるユーザが満たす必要のある特定の基準を定義できます。[フィルタの追加]、[フィルタセットの追加]、[フィルタの挿入] の各オプションを使用して検索条件を作成します。

**Maximum Number of Users to Display( 表示するユーザの最大数 ):** 検索結果に含まれるユーザの最大数を指定します。

- 5b** [Columns to Display in Search Results( 検索結果として表示する列)] リストで、<Ctrl> キーを押してクリックするか、<Shift> キーを押してクリックして、検索結果として表示する列を選択します。
- 5c** [検索] をクリックして、検索結果を表示します。
- 5d** [対象ユーザ] リストに追加するユーザを選択して、[OK] をクリックします。

### 7.6.3 ユーザごとエンタイトルメントからのユーザの除外

ユーザごとライセンスモデルでエンタイトルメントを作成する際には、すべてのユーザがエンタイトルメントの対象になります。ただし、必要な場合は、ユーザを除外できます。除外されたユーザは、検出製品のインストールが関連付けられている場合でも、ライセンスを使用しません。

- 1** ライセンス製品のライセンスエンタイトルメントのページを開いている場合は、**ステップ 2** にスキップします。そうでない場合は、次の手順でそのページを開きます。
  - 1a** ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
  - 1b** [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。
  - 1c** エンタイトルメントの範囲を変更する製品をクリックします。
  - 1d** [ライセンスエンタイトルメント] タブをクリックします。

全般	ライセンスの権限	コンプライアンスステータス	ライセンス割り当て
<b>権限(使用データソース: インベントリ)</b>			
新規 削除			
<input type="checkbox"/> 説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス
<input type="checkbox"/> ACME	フルライセンス	永久	アクティブ
		ライセンスモデル	ライセンス数
		インストールごと	8
		使用可能な数	8
合計:			8
<b>権限(使用データソース: 手動)</b>			
新規 削除			
<input type="checkbox"/> 説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス
		ライセンスモデル	ライセンス数
		使用可能な数	アップグレード元
使用できる項目がありません。			

- 2** エンタイトルメントのパネルで、[ユーザごと] のエンタイトルメントをクリックします。
- 3** [範囲] タブをクリックします。
- 4** 製品をインストールしたユーザのみを表示する場合は、[対象ユーザ] パネル、で、[追加] > [Users with Product Installed( 製品をインストールしたユーザ)] の順にクリックします。  
または  
すべてのユーザを表示する場合は、[追加] > [Any Users( 任意のユーザ)] の順にクリックします。

- 5 信頼されたユーザソースからユーザを選択する場合は、[対象ユーザ] リストに追加するユーザを参照し選択して、[OK] をクリックします。

または

インベントリデータソースからユーザを選択する場合は、次の手順を実行します。

- 5a [検索条件] を使用して、表示するユーザを指定します。検索結果を制限しない場合は、[ステップ 5b](#) にスキップします。

**User Filter( ユーザフィルタ ):** フィルタを使用すると、検索結果に含まれるユーザが満たす必要のある特定の基準を定義できます。[フィルタの追加]、[フィルタセットの追加]、[フィルタの挿入] の各オプションを使用して検索条件を作成します。

**Maximum Number of Users to Display( 表示するユーザの最大数 ):** 検索結果に含めるユーザの最大数を指定します。

- 5b [Columns to Display in Search Results( 検索結果として表示する列)] リストで、<Ctrl> キーを押してクリックするか、<Shift> キーを押してクリックして、検索結果として表示する列を選択します。

- 5c [検索] をクリックして、検索結果を表示します。

- 5d [対象ユーザ] リストに追加するユーザを選択して、[OK] をクリックします。

## 7.7 契約とドキュメントの追加

契約とドキュメントをエンタイトルメントに追加することによって、そのエンタイトルメントに関連付けられたライセンスを所有していることを証明できます。

次の手順では、すでに、アセット管理システムに契約を追加し、ドキュメントをアップロードしたと想定しています。そうでない場合は、[151 ページのパート IV 「契約」](#) および [173 ページのパート V 「文書」](#) を参照してください。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/>	名前 ▲	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数	割り当てられた数
<input type="checkbox"/>	 Microsoft .NET Framework 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1
<input type="checkbox"/>	 Mozilla.org Firefox 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	1
<input type="checkbox"/>	 Sun Java2 Runtime Environment 23e43		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0

- 3 エンタイトルメントを持つライセンス製品をクリックします。
- 4 [ライセンスエンタイトルメント] タブをクリックします。

全般									
ライセンスの権限		コンプライアンスステータス		ライセンス割り当て					
権限(使用データベース: インベントリ)									
新規 削除									
<input type="checkbox"/>	説明 ▲	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	カバーされたバージョン	アップグレード元
<input type="checkbox"/>	ACME	フルライセンス	永久	アクティブ	インストールごと	8	8		
合計:						8	8		
権限(使用データベース: 手動)									
新規 削除									
<input type="checkbox"/>	説明 ▲	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	アップグレード元	
使用できる項目がありません。									

- 5 エンタイトルメントのパネルで、契約とドキュメントを追加するエンタイトルメントをクリックします。
- 6 [所有権の証明] タブをクリックします。
- 7 [契約] パネルで、[追加] をクリックします。  
または  
[ドキュメント] パネルで、[追加] をクリックします。
- 8 追加する契約またはドキュメントを参照および選択し、次に、[OK] をクリックして、それらを [契約] リストまたは [ドキュメント] リストに追加します。

# 検出製品の操作

検出製品は、インストールをライセンス製品に関連付けるために使用されます。各検出製品には、管理ゾーン内のデバイスへのインストール総数に関する情報が含まれています。検出製品をライセンス製品のエンタイトルメントに関連付けると、検出製品のインストールでエンタイトルメントのライセンスを使用できるようになります。

次の各セクションでは、エンタイトルメントの管理に関するタスクについて説明します。

- ◆ 73 ページのセクション 8.1 「インストールされたソフトウェア製品が検出製品になるプロセス」
- ◆ 74 ページのセクション 8.2 「検出製品リストの表示」
- ◆ 74 ページのセクション 8.3 「検出製品リストのフィルタリング」
- ◆ 76 ページのセクション 8.4 「コンプライアンス計算からの検出製品の除外」
- ◆ 76 ページのセクション 8.5 「ライセンス製品への検出製品の追加」
- ◆ 78 ページのセクション 8.6 「ソフトウェアコレクションへの検出製品の追加」
- ◆ 78 ページのセクション 8.7 「検出製品のインストールの表示」
- ◆ 79 ページのセクション 8.8 「検出製品のインストールカウントの調整」
- ◆ 81 ページのセクション 8.9 「標準カテゴリの割り当て」
- ◆ 82 ページのセクション 8.10 「検出製品に含まれているインベントリ製品の表示」
- ◆ 83 ページのセクション 8.11 「コンプライアンスステータスの更新」

## 8.1 インストールされたソフトウェア製品が検出製品になるプロセス

アセット管理には 27,000 を超える事前定義の検出製品を含む製品ナレッジベースがあります。次のプロセスに従って、インストールされたソフトウェア製品がナレッジベースの検出製品にマップされます。

1. アセットインベントリによって、デバイスがスキャンされ、インストールされたソフトウェア製品に関する情報が収集されます。これらのインストールされたソフトウェア製品をインベントリ製品と呼びます。
2. アセット管理によって、ナレッジベースでインベントリ製品がフィルタされることにより、インベントリ製品が検出製品にマップされます。このプロセスでは、次のアクションが発生します。
  - ◆ 関連のバージョン、サービスリリース、および言語バージョンは、すべて同じマイナーバージョンの検出製品にマップされます。たとえば、製品 A 5.5、製品 A 5.5 (JP)、および製品 A 5.5.1 は、1 つの製品 A 5.5 検出製品の下に統合されます。
  - ◆ ブラウザやビューアなどのライセンスセンシングを必要としない製品は、除外されます。
  - ◆ ソフトウェアスイートとそのメンバー製品が識別されます。
3. アセット管理によって、検出製品のインストール数量がマップされたインベントリ製品のインストール総数と同等に設定されます。

検出製品の操作時には、インストール済みの検出された製品という言葉が表示されます。検出製品とは、ナレッジベースに含まれている 27,000 超の製品すべてを指します。インストール済みの検出製品とは、組織内に実際にインストールされている検出製品のみを指します。デフォルトでは、ZENworks® コントロールセンターの [検出された製品] リストは、インストール済みの検出製品を表示するようにフィルタされます。

## 8.2 検出製品リストの表示

すべての検出製品のリストを表示できます。このリストには、各検出製品の一般情報 (インストール数と検出製品に関連付けられているライセンス製品など) が表示されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[検出された製品] をクリックします。

検出された製品				
アクション				
<input type="checkbox"/>	名前	除外	インストール済み数量	アクティブな使用量
		ライセンスされた製品		標準カテゴリ
<input type="checkbox"/>	Adobe Adobe Flash Player Plugin 10.0 (Windows)		2	0
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)	Java2 Runtime Environment	1	0
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows XP Professional 5.1 (Windows)		4	0
<input type="checkbox"/>	Novell Novell CASA 1.7 (Windows)		5	0
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Imaging Agent 10.2 (Windows)		5	0

各検出製品に関する次の情報が一覧表示されます。

**名前:** 検出製品の名前。名前は、4 つの部分で構成されます (製造元、製品名、バージョン、プラットフォーム)。たとえば、*Acme Product A 8.5 (Windows)* の場合は、*Acme* が製造元、*製品 A* が製品名、*8.5* がバージョン、*Windows* がプラットフォームです。名前をクリックすると、検出製品の詳細が表示されます。

**除外:** 検出製品がコンプライアンス計算から除外されるかどうかを示します。除外された製品をライセンス製品に追加することはできません。

**ライセンス製品:** 検出製品が関連付けられているライセンス製品。ライセンス製品をクリックして、そのエンタイトルメントを表示します。検出製品は、一覧されたエンタイトルメントの 1 つに含まれています。

**インストール済み数量:** 管理ゾーン内の製品のインストール数。数量を表す数字をクリックすると、製品のインストール先デバイスが一覧されます。

**アクティブな使用量:** アクティブに使用されているインストール済みの製品数。[ライセンス管理ページに使用状況を表示しません] オプションが選択されている場合 ([環境設定] > [管理ゾーンの設定] > [アセット管理] > [使用表示] から選択)、[アクティブな使用量] は表示されません。

**標準カテゴリ:** 製品のカテゴリ。

## 8.3 検出製品リストのフィルタリング

デフォルトの [検出された製品] リストは、次の検出製品のみを表示します: 1) 管理ゾーン内のデバイスにインストールされた製品、および 2) コンプライアンス計算から除外されていない製品 [検索] の条件を変更すると、表示される検出製品を変更できます。

たとえば、特定の製造元の検出製品だけを表示したり、ライセンス製品に関連付けられている検出製品だけを表示したりできます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[検出された製品] をクリックします。

検出された製品						
アクション ▼						
<input type="checkbox"/>	名前 ▲	除外	ライセンスされた製品	インストール済み数量	アクティブな使用量	標準カテゴリ
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Adobe Adobe Flash Player Plugin 10.0 (Windows)</a>			2	0	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)</a>		<a href="#">Java2 Runtime Environment</a>	1	0	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Microsoft Windows XP Professional 5.1 (Windows)</a>			4	0	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Novell Novell C.A.S.A. 1.7 (Windows)</a>			5	0	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Novell ZENworks Imaging Agent 10.2 (Windows)</a>			5	0	

- 3 [検索] パネル ([検出された製品] パネルの横) で、リストのフィルタリングに使用する条件を指定します。製品は、定義されたすべての条件に一致しないと表示されません。

**名前:** 検出製品名 (またはフォルダ名) に含める必要があるテキストを指定します。これは、大文字小文字を区別しない部分一致フィールドです。入力したテキストが検出製品名のどこかに含まれる場合、その製品は条件に一致します。

**製造元:** 特定の製造元を選択するか、どの製造元にも一致する [任意] を選択します。

**現在の製造元:** 特定の製造元を選択するか、どの製造元にも一致する [任意] を選択します。

**プラットフォーム:** プラットフォーム ([Windows] または [Mac] ) を選択します。

**除外のステータス:** 次の一致条件の 1 つを選択します。

- **任意:** 除外ステータスを無視します。すべての検出製品に一致します。
- **除外:** コンプライアンス計算から除外される検出製品のみに一致します。除外された製品をライセンス製品に関連付けることはできません。
- **除外なし:** コンプライアンス計算から除外されていない検出製品に一致します。

**インストールステータス:** 次の一致条件の 1 つを選択します。

- **任意:** インストールステータスを無視します。すべての検出製品に一致します。
- **インストール済み:** 管理ゾーンにインストールされている検出製品のみに一致します。
- **インストールされていません:** ナレッジベースには含まれていますが、管理ゾーンにはインストールされていないすべての検出製品に一致します。

**使用ステータス:** 次の一致条件の 1 つを選択します。

- **任意:** 使用ステータスを無視します。どの検出製品にも一致します。
- **使用あり:** アクティブな使用量が記録されている検出製品に一致します。
- **使用なし:** アクティブな使用量が記録されていない検出製品に一致します。

**調整のステータス:** 次の一致条件の 1 つを選択します。

- **任意:** 調整ステータスを無視します。どの検出製品にも一致します。

- ◆ **調整済み**: ライセンス製品に関連付けられた検出製品に一致します。
- ◆ **未調整**: ライセンス製品に関連付けられていない検出製品に一致します。

**標準カテゴリ**: 標準カテゴリを選択するか、どのカテゴリにも一致する **[任意]** を選択します。

4 **[検索]** をクリックして、検索条件を適用し、リストをフィルタします。

## 8.4 コンプライアンス計算からの検出製品の除外

ライセンス製品に関連付けたくない検出製品がある場合は、それらの検出製品を除外できます。除外された検出製品は、ライセンス製品に関連付けることができないので、デフォルトの検索フィルタを変更しない限り、**[検出された製品]** リストに表示されません。**[自動調整]** ウィザードを実行してライセンス製品を検出製品から作成する場合、除外された検出製品は使用できません。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、**[アセット管理]** タブをクリックします。
- 2 **[ライセンス管理]** ページで、**[検出された製品]** をクリックします。

検出された製品						
アクション ▼						
<input type="checkbox"/>	名前	除外	ライセンスされた製品	インストール済み数	アクティブな使用量	標準カテゴリ
<input type="checkbox"/>	Adobe Adobe Flash Player Plugin 10.0 (Windows)			2	0	
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)		Java2 Runtime Environment	1	0	
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows XP Professional 5.1 (Windows)			4	0	
<input type="checkbox"/>	Novell Novell CASA 1.7 (Windows)			5	0	
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Imaging Agent 10.2 (Windows)			5	0	

- 3 除外する製品を選択します。
- 4 **[アクション]** > **[除外]** の順にクリックします。

## 8.5 ライセンス製品への検出製品の追加

製品のインストールをライセンス製品に関連付けるには、検出製品をライセンス製品のエンタイトルメントに追加します。

検出製品は、インベントリエンタイトルメントにしか追加できません。手動エンタイトルメントは検出製品を使用しません。

検出製品をエンタイトルメントに追加する方法には、次の2つがあります。

- ◆ 76 ページのセクション 8.5.1 「エンタイトルメントの編集による検出製品の追加」
- ◆ 77 ページのセクション 8.5.2 「検出された製品リストの使用による検出製品の追加」

### 8.5.1 エンタイトルメントの編集による検出製品の追加

- 1 ZENworks コントロールセンターで、**[アセット管理]** タブをクリックします。
- 2 **[ライセンス管理]** ページで、**[ライセンスされた製品]** をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▼ 移動... 削除 アクション ▼						
<input type="checkbox"/> 名前 ▲	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数	割り当てられた数	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Microsoft .NET Framework 2</a>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Mozilla.org Firefox 2</a>		<input checked="" type="checkbox"/>		1	1	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Sun Java2 Runtime Environment 23e43</a>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0	

1 - 3/3 25 ▼ 項目の表示

- 3 エンタイトルメントを持つライセンス製品をクリックします。
- 4 [ライセンスエンタイトルメント] タブをクリックします。

全般	ライセンスの権限	コンプライアンスステータス	ライセンス割り当て					
<b>権限(使用データベース: インベントリ)</b>								
新規 削除								
<input type="checkbox"/> 説明 ▲	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数	使用可能な数	カバーされたバージョン	アップグレード元
<input type="checkbox"/> ACME	フルライセンス	永久	アクティブ	インストールごと	8	8		
合計:					8	8		
<b>権限(使用データベース: 手動)</b>								
新規 削除								
<input type="checkbox"/> 説明 ▲	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数	使用可能な数	アップグレード元	
使用できる項目がありません。								

- 5 エンタイトルメントのパネルで、検出製品を追加するエンタイトルメントをクリックします。
- 6 [範囲] タブをクリックします。
- 7 管理ゾーン内でインストールされている検出製品からのみ選択する場合は、[検出された製品] パネルで、[追加] > [インストール済みの検出された製品] の順にクリックします。  
または  
[追加] > [任意の検出された製品] の順にクリックして、ZENworks Knowledgebase に含まれるすべての検出製品を表示します。
- 8 目的の検出製品を選択し、次に、[OK] をクリックしてその製品を [カバーされている検出された製品バージョン] パネルに追加します。


## 8.5.2 検出された製品リストの使用による検出製品の追加

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[検出された製品] をクリックします。

検出された製品					
アクション ▼					
<input type="checkbox"/> 名前 ▲	除外	ライセンスされた製品	インストール済み数	アクティブな使用数	標準カテゴリ
<input type="checkbox"/> <a href="#">Adobe Adobe Flash Player Plugin 10.0 (Windows)</a>			2	0	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)</a>		<a href="#">Java2 Runtime Environment</a>	1	0	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Microsoft Windows XP Professional 5.1 (Windows)</a>			4	0	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Novell Novell CASA 1.7 (Windows)</a>			5	0	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Novell ZENworks Imaging Agent 10.2 (Windows)</a>			5	0	

- 3 エンタイトルメントに追加する検出製品を選択します。

- [アクション] > [ライセンスされた製品に追加] の順にクリックして、[検出された製品をライセンス製品に追加] ウィザードを起動します。次の表の情報を使用して、ウィザードを完了します。

ウィザードページ	詳細
ライセンス製品	 をクリックして、検出製品を追加するエンタイトルメントを含むライセンス製品を参照し選択します。
ライセンスエンタイトルメント	検出製品を追加するエンタイトルメントを選択します。
概要	データを確認します。

- ウィザードをまだ完了していない場合は、[完了] をクリックして検出製品をエンタイトルメントに追加します。  
[検出された製品] リストに、検出製品に関連付けられたライセンス製品が表示されます。

## 8.6 ソフトウェアコレクションへの検出製品の追加

検出製品は、ソフトウェアコレクションに追加できます。ソフトウェアコレクションに追加後の検出製品は、[検出された製品] リストに個別の製品として表示されなくなります。代わりに、そのソフトウェアコレクションがリストに表示されます。

次の手順では、検出製品を既存のソフトウェアコレクションに追加すると想定します。ソフトウェアコレクションを作成する必要がある場合は、[111 ページの第 11 章「ソフトウェアコレクションの操作」](#)を参照してください。

- ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- [ライセンス管理] ページで、[検出された製品] をクリックします。

検出された製品						
アクション ▼						
<input type="checkbox"/>	名前 ▲	除外	ライセンスされた製品	インストール済み数	アクティブな使用量	標準カテゴリ
<input type="checkbox"/>	 Adobe Adobe Flash Player Plugin 10.0 (Windows)			2	0	
<input type="checkbox"/>	 Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)		Java2 Runtime Environment	1	0	
<input type="checkbox"/>	 Microsoft Windows XP Professional 5.1 (Windows)			4	0	
<input type="checkbox"/>	 Novell Novell CASA 1.7 (Windows)			5	0	
<input type="checkbox"/>	 Novell ZENworks Imaging Agent 10.2 (Windows)			5	0	

- ソフトウェアコレクションに追加する検出製品を選択します。
- [アクション] > [ソフトウェアコレクションへの追加] をクリックします。

## 8.7 検出製品のインストールの表示

各検出製品には、そのインストール先デバイスのリストが含まれています。このリストを表示するには、次の手順に従います。

- ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- [ライセンス管理] ページで、[検出された製品] をクリックします。

検出された製品					
アクション ▼					
<input type="checkbox"/>	名前 ▲	除外 ライセンスされた製品	インストール済み数	アクティブな使用量	標準カテゴリ
<input type="checkbox"/>	Adobe Adobe Flash Player Plugin 10.0 (Windows)		2	0	
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)	Java2 Runtime Environment	1	0	
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows XP Professional 5.1 (Windows)		4	0	
<input type="checkbox"/>	Novell Novell CASA 1.7 (Windows)		5	0	
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Imaging Agent 10.2 (Windows)		5	0	

- 表示したいインストールを含む検出製品をクリックします。
- [インストール/使用] タブをクリックして、インストールのリストを表示します。

Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)

詳細 インストール/使用

使用期間: 昨日

インストール

アクション ▼									
<input type="checkbox"/>	マシン名 ▲	ログイン名	IPアドレス	サイト	部署	コストセンター	無視	シリアル番号	アクティブな時間
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS2	Administrateur	172.22.14.192					69891-640-0997802-45303 0	

1 - 1/1 5 ▼ 項目の表示

アクティブなインストール 使用量: 0

検索

マシン名:

部署:

コストセンター:

サイト:

インストールステータス:

使用ステータス:

サブフォルダを含む

検索 リセット

使用

無視されたインストール: 0

認識されたインストール: 1

追加コンプライアンス:

総使用量: 1

適用 リセット

## 8.8 検出製品のインストールカウントの調整

検出製品は、製品のインストール総数のカウントを提供します。必要な場合は、インストールを無視したり、インストールカウントに加えることによって、手動でこのカウントを調整できます。

- ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- [ライセンス管理] ページで、[検出された製品] をクリックします。

検出された製品						
アクション						
<input type="checkbox"/>	名前	除外	ライセンスされた製品	インストール済み数	アクティブな使用量	機能カテゴリ
<input type="checkbox"/>	Adobe Adobe Flash Player Plugin 10.0 (Windows)			2	0	
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)		Java2 Runtime Environment	1	0	
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows XP Professional 5.1 (Windows)			4	0	
<input type="checkbox"/>	Novell Novell CASA 1.7 (Windows)			5	0	
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Imaging Agent 10.2 (Windows)			5	0	

- 調整したいインストールを含む検出製品をクリックします。
- [インストール/使用] タブをクリックします。

Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)

詳細 インストール/使用

使用期間: 昨日

インストール

アクション									
<input type="checkbox"/>	マシン名	ログイン名	IPアドレス	サイト	部署	コストセンター	無視	シリアル番号	アクティブな時間
<input type="checkbox"/>	ZENDOCWKS2	Administrateur	172.22.14.192					69891-640-0997802-45303 0	

1 - 1/1 5 項目の表示

アクティブなインストール 使用量: 0

検索

マシン名:

部署:

コストセンター:

サイト:

インストールステータス:

使用ステータス:

サブフォルダを含む

検索 リセット

使用

無視されたインストール: 0

認識されたインストール: 1

追加コンサンプション:

総使用量: 1

適用 リセット

[使用] パネルに、次の情報が表示されます。

**無視されたインストール:** インストールの総数 (総使用量とも呼ばれる) から除外されるインストールの数。無視したいインストールには、手動でマークを付けることができます。ステップについては、[ステップ 5](#) を参照してください。

**認識されたインストール:** 合計インストール数に含まれるインストール数

**追加コンサンプション:** 認識されたインストールに追加する追加インストールの数。ステップについては、[ステップ 6](#) を参照してください。

**総使用量:** 検出製品のインストールカウントに含まれるインストールの総数。これは、( [認識されたインストール] + [追加コンサンプション] ) - [無視されたインストール] と同等です。

- 5 インストールを無視するには、[インストール] パネルで、そのインストールの横にあるチェックボックスをクリックすることによってインストールを選択し、次に、[アクション] > [インストールの無視] の順にクリックします。
- 6 インストールをカウントに追加するには、[使用] パネルの [追加コンサンプション] フィールドを使用して追加インストールの数を選択します。
- 7 [適用] をクリックして変更内容を保存します。

## 8.9 標準カテゴリの割り当て

インストールされたソフトウェア製品が準拠する必要のあるポリシーまたは標準が組織にあるか、単に、検出製品の組織化に貢献する別のカテゴリ化が必要な場合は、標準カテゴリを検出製品に割り当てることができます。

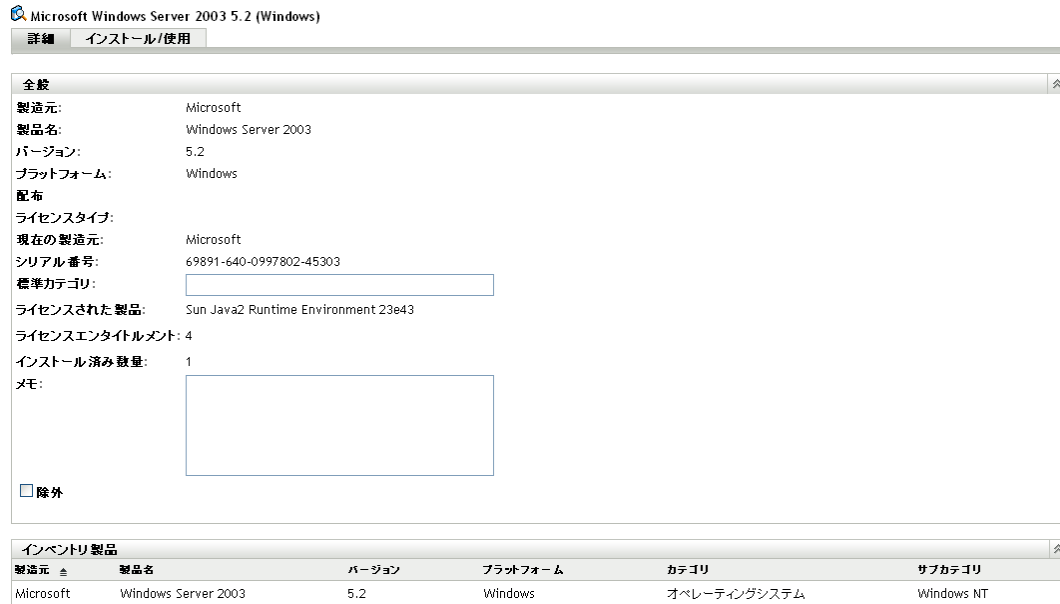
たとえば、標準、非標準、および標準違反の各カテゴリを作成して、検出製品全体に渡って、標準へのコンプライアンスを追跡することができます。または、カテゴリをより詳細にすることもできます(標準デスクトップ、非標準デスクトップ、標準デスクトップ違反、標準サーバ、非標準サーバ、標準サーバ違反など)。

[検出された製品] リストには、各検出製品の標準カテゴリを表示する列が含まれています。さらに、各製品の標準カテゴリを含むソフトウェア標準レポートを生成することもできます(193 ページの第 31 章「標準レポートの操作」を参照)。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[検出された製品] をクリックします。

検出された製品					
アクション					
<input type="checkbox"/>	名前	除外 ライセンスされた製品	インストール済み数量	アクティブな使用量	標準カテゴリ
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Adobe Adobe Flash Player Plugin 10.0 (Windows)</a>		2	0	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)</a>	<a href="#">Java2 Runtime Environment</a>	1	0	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Microsoft Windows XP Professional 5.1 (Windows)</a>		4	0	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Novell Novell CASA 1.7 (Windows)</a>		5	0	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Novell ZENworks Imaging Agent 10.2 (Windows)</a>		5	0	

- 3 標準カテゴリを割り当てる検出製品をクリックします。



- 4 [標準カテゴリ] フィールドで、既存のカテゴリを選択するか、新しいカテゴリを入力します。

別の検出製品に標準カテゴリをすでに作成してある場合のみ、その既存の標準カテゴリを選択できます。そうでない場合は、リストを利用できないので、このフィールドに標準カテゴリを入力することによって、そのカテゴリを定義する必要があります。

- 5 [適用] をクリックします。

## 8.10 検出製品に含まれているインベントリ製品の表示

各検出製品は、その製品に統合されているインベントリ製品のリストを提供します(73 ページのセクション 8.1 「インストールされたソフトウェア製品が検出製品になるプロセス」を参照)。このリストを表示するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[検出された製品] をクリックします。

検出された製品						
アクション ▼						
<input type="checkbox"/>	名前	除外	ライセンスされた製品	インストール済み数量	アクティブな使用量	標準カテゴリ
<input type="checkbox"/>	Adobe Adobe Flash Player Plugin 10.0 (Windows)			2	0	
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)		Java2 Runtime Environment	1	0	
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows XP Professional 5.1 (Windows)			4	0	
<input type="checkbox"/>	Novell Novell CASA 1.7 (Windows)			5	0	
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Imaging Agent 10.2 (Windows)			5	0	

- 3 表示したいインベントリ製品を含む検出製品をクリックします。

[詳細] タブの [インベントリ製品] パネルに各インベントリ製品が一覧されます。

製造元	製品名	バージョン	プラットフォーム	カテゴリ	サブカテゴリ
Microsoft	Windows Server 2003	5.2	Windows	オペレーティングシステム	Windows NT

## 8.11 コンプライアンスステータスの更新

コンプライアンスデータを更新すると、検出製品すべてのインストールカウントが再計算され、すべてのライセンス製品のコンプライアンスステータスが再計算されます。次の各セクションでは、自動更新はいつ行われるか、更新を手動トリガする方法、および最新の更新スケジュール実行時を検出する方法について説明します。

- ◆ [83 ページのセクション 8.11.1 「ステータスの自動更新」](#)
- ◆ [84 ページのセクション 8.11.2 「更新の手動トリガ」](#)
- ◆ [84 ページのセクション 8.11.3 「リフレッシュの詳細の表示」](#)

### 8.11.1 ステータスの自動更新

すべてのライセンス製品のコンプライアンスステータスは、次の時点で自動的に更新されます。

- ◆ 購買記録のインポート時。新しく購入されたライセンスが製品のコンプライアンスステータスにただちに反映されます。
- ◆ コンプライアンスエンジンの更新スケジュールのために指定された毎日の時刻 ([31 ページの第 3 章「コンプライアンス設定の設定」](#)を参照)。検出製品のインストールカウントの変更が製品のコンプライアンスステータスに反映されます。

さらに、次に示すアクションが発生すると、個々の製品のコンプライアンスステータスが自動的に更新されます。

- ◆ エンタイトルメントの作成または削除。

- ◆ ライセンス数またはインストール数に影響するエンタイトルメントエントリの追加、更新または削除。このようなエントリには、購買記録、購買記録の概要、カタログ製品、検出製品、およびソフトウェアコレクションがあります。
- ◆ 検出製品のインストールカウント (総使用量) の調整。

### 8.11.2 更新の手動トリガ

すべてのライセンス製品のコンプライアンスステータスの更新を手動でトリガできます。個々のライセンス製品の更新は、手動でトリガできません。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ライセンス管理] の順にクリックして、[ライセンス管理] ページを表示します。
- 2 [検出された製品] をクリックして、[検出された製品] ページを表示します。  
コンプライアンスの更新は、[ライセンスされた製品] ページからもトリガできます。
- 3 [検出された製品] パネルで、[アクション] > [コンプライアンスステータスの更新] の順にクリックします。

### 8.11.3 リフレッシュの詳細の表示

[ライセンスされた製品] ページおよび [検出された製品] ページの両方のメニューバーの上に最新の更新情報が表示されます。この情報には、以下が含まれます。

- ◆ コンプライアンスのリフレッシュを開始および終了した最後の時間
- ◆ リフレッシュを初期化したもの
- ◆ リフレッシュはすべての製品であったか、単一の製品であったか

[ライセンスされた製品] ページの [コンプライアンスステータス] タブにはライセンスが最後に更新された日時も表示されます。また、[ライセンス管理レポート] > [ソフトウェアコンプライアンス] > [コンプライアンスレポート] の順にクリックすると、あるライセンスがすべてのライセンスの最終フルリフレッシュより最近に更新されているかどうかを示す [最近の再計算] と呼ばれるカラムが表示されます。

# 購買記録の操作

購買記録には、ソフトウェア製品用に購入したライセンス数の詳細が含まれています。

たとえば、購買記録1には、2つの購入詳細が含まれています(10ユニットの製品A(シングルライセンスパック)と3ユニットの製品B(10ライセンスパック)。購買記録2には、追加として4ユニットの製品B(10ライセンスパック)の購入詳細が含まれています。

カタログ製品は、関連付けられた購入詳細からの購入ライセンス数を使用します。たとえば、製品B(10ライセンスパック)のカタログ製品は、合計70のライセンスを使用します。購買記録1は、3ユニットの製品B(10ライセンスパック)からの30ライセンスを提供します。購買記録2は、4ユニットの製品B(10ライセンスパック)からの40ライセンスを提供します。

次の各セクションでは、購買記録の管理に関するタスクについて説明します。

- ◆ 85 ページのセクション 9.1 「購買記録リストの表示」
- ◆ 86 ページのセクション 9.2 「購買記録リストのフィルタリング」
- ◆ 86 ページのセクション 9.3 「購買記録フォルダの作成」
- ◆ 87 ページのセクション 9.4 「購入記録の作成」
- ◆ 91 ページのセクション 9.5 「購買記録の詳細の表示」
- ◆ 93 ページのセクション 9.6 「購買記録の一般情報の変更」
- ◆ 93 ページのセクション 9.7 「購買記録の削除」
- ◆ 94 ページのセクション 9.8 「購買記録の移動」
- ◆ 94 ページのセクション 9.9 「インポートファイルの操作」

## 9.1 購買記録リストの表示

すべての購買記録のリストを表示できます。このリストには、各購買記録の一般情報(注文書の番号と日付など)が表示されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[購買記録] をクリックします。

PO番号	注文日	販売者
10077	8/9/07	Software Spectrum
101	8/4/07	
10100	8/9/07	Software Spectrum
10101	8/9/07	Software Spectrum

各購買記録に関する次の情報が一覧表示されます。

**PO#:** 購買記録に関連付けられた注文書番号

**注文日付:** 注文書の日付

**販売者:** 購入した製品の販売者。

## 9.2 購買記録リストのフィルタリング

[購買記録] リストをフィルタすると、一定の条件を満たす購買記録だけを表示できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[購買記録] をクリックします。



PO番号	注文日	販売者
10077	8/9/07	Software Spectrum
101	8/4/07	
10100	8/9/07	Software Spectrum
10101	8/9/07	Software Spectrum

- 3 [検索] パネルで ([購買記録] リストの横にある)、フィルタに適用する条件を入力します。製品は、すべての条件に一致しないと表示されません。

**PO 番号:** 注文書番号 (またはフォルダ名) に含める必要があるテキストを指定します。これは、大文字小文字を区別しない部分一致フィールドです。入力したテキストが注文書番号のどこかに含まれる場合、その購買記録は条件に一致します。

**タイプ:** 一致の対象として、フォルダ、購買記録、または両方を選択します。

**販売者:** 特定の販売者を選択するか、どの販売者にも一致する [任意] を選択します。

**注文日付:** 次の一致条件の 1 つを選択します。

- **任意:** 注文日付を無視します。どの購買記録にも一致します。
- **オン:** 注文日付が指定の日付である購買記録に一致します。 をクリックして日付を指定します。
- **以前:** 注文日付が指定の日付より前である購買記録に一致します。 をクリックして日付を指定します。
- **以降:** 注文日付が指定の日付より後である購買記録に一致します。 をクリックして日付を指定します。

**サブフォルダを含む:** 現在のフォルダとそのサブフォルダを検索するには、このオプションを選択します。

- 4 [検索] をクリックして、検索条件を適用し、リストをフィルタします。

## 9.3 購買記録フォルダの作成

[購買記録] リスト内にフォルダを作成すると、購買記録をさらに組織化できます。すべてのフォルダは、リストのトップに表示されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ライセンス管理] > [購買記録] の順にクリックして、[購買記録] ページを表示します。

PO番号	注文日	販売者
10077	8/9/07	Software Spectrum
101	8/4/07	
10100	8/9/07	Software Spectrum
10101	8/9/07	Software Spectrum

- [新規] > [フォルダ] の順にクリックし、[新規フォルダ] ダイアログボックスを表示します。
- 次のフィールドに入力します。  
**名前:** フォルダの名前を指定します。名前は、同レベルの他のすべてのフォルダと購買記録に対して一意である必要があります。  
**フォルダ:** 新規フォルダを入れるフォルダを参照して選択します。  
**説明:** フォルダを識別する任意の情報 (オプション) を指定します。
- [OK] をクリックしてフォルダを作成します。

## 9.4 購入記録の作成

最も簡単に購入記録を作成する方法は、販売者から提供されたファイルから購入記録をインポートすることです。アセット管理では、CompuCom\*、Insight、KMD/SAP\*、SHI\*、および Softchoice\* からの購入記録をインポートできます。さらに、使用できる汎用インポート形式もあります (94 ページの「インポートファイルの操作」を参照)。

サポートされているインポートファイルからデータをインポートできない場合は、購入記録を手動で作成する必要があります。

- ◆ 87 ページのセクション 9.4.1 「購入記録のインポート」
- ◆ 89 ページのセクション 9.4.2 「手動での購入記録の作成」

### 9.4.1 購入記録のインポート

- ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- [ライセンス管理] ページで、[購入記録] をクリックします。

PO番号	注文日	販売者
10077	8/9/07	Software Spectrum
101	8/4/07	
10100	8/9/07	Software Spectrum
10101	8/9/07	Software Spectrum

- [アクション] > [インポートの開始] の順にクリックして、[購入記録のインポート] ダイアログボックスを表示します。



- 4 [ファイル名] フィールドで、[ブラウズ] をクリックし、インポートファイルを見つけて選択します。
- 5 [OK] をクリックして、インポートを開始します。  
 インポート中、購入記録リストの上に進行状況が表示されます。[インポートステータス] タブをクリックして、インポートの進行状況と以前のインポートのレコードを参照することもできます。  
 インポートが完了すると、新しい購入記録がリストに追加されます。
- 6 購買記録をクリックして、その情報を表示します。

1345787

全般 購入の詳細

---

全般

PO番号: 1345787 注文日: 2/9/2009

受信者: Tom Raymond 販売者: Cheap Software.com

社名: Novell, Inc

発送先(1): 30 Lafayette St

発送先(2):

市町村: Lebanon

都道府県: NH

郵便番号: 03766

国: USA

メモ:

適用 リセット

[全般] ページには、販売者、購入者、購入日付の情報が表示されます。

7 [購入の詳細] タブをクリックします。

1345787

全般 購入の詳細

---

購入の詳細

新規 編集... 削除

製品名	請求書番号	数量	ユニット	単価	総額	シリアル番号	有効期限	コストセンター	部署	サイト
Adobe Systems FrameMaker 7 (Full License) (1)	45768	15	999.00	799.00	11,985.00			F83750		Lebanon
MySQL AB MySQL 4.0.13 (Full License) (1)	23	2	0.00	0.00	0.00			Marketing		Lebanon
合計:		17	999.00	799.00	11,985.00					

[購入の詳細] ページでは、各ソフトウェア製品の購入（購買記録に含まれている）にカタログ製品が関連付けられています。必要な場合は、アセット管理によって、購買記録に含まれる新規ソフトウェア製品のカタログ製品が作成されます。

[ライセンス管理] タブ > [カタログ製品] の順にクリックすると、すべてのカタログ製品を表示できます。

## 9.4.2 手動での購入記録の作成

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[購買記録] をクリックします。

PO番号	注文日	販売者
<input type="checkbox"/> <a href="#">10077</a>	8/9/07	Software Spectrum
<input type="checkbox"/> <a href="#">101</a>	8/4/07	
<input type="checkbox"/> <a href="#">10100</a>	8/9/07	Software Spectrum
<input type="checkbox"/> <a href="#">10101</a>	8/9/07	Software Spectrum

- 3 [購買記録] パネルで、[新規] > [購買記録] の順にクリックして、[新規購入記録の作成] ウィザードを起動します。
- 4 [一般情報] ページで、次のフィールドの1つ以上に入力します。その他のフィールドは、オプションです。
 

**PO 番号:** 発注書番号。購買記録オブジェクトは、その名前に PO 番号を使用します。PO 番号を入力しないと、購買記録オブジェクトの名前は、デフォルトで、Unknown (MM\_DD\_YY) に設定されます。ここで、MM\_DD\_YY は、該当するローカル形式による現在の日付です。

**注文日付:** 製品が注文された日付。日付を選択するには、 をクリックし、日付を選択してから [OK] をクリックします。PO 番号を入力しても日付を入力しない場合、このフィールドは、デフォルトで現在の日付に設定されます。
- 5 [次] をクリックして、[New Purchase Record Summary( 新規購買記録の概要 )] ページを表示します。
- 6 [作成後に詳細を設定] を選択し、次に、[完了] をクリックして、購入記録を作成し、[購入の詳細] ページを表示します。
 

[購入の詳細] ページでは、購買記録に含める各ソフトウェア製品の購入の詳細を入力します。

各購入の詳細は、カタログ製品に関連付ける必要があります。たとえば、購買記録に製品 B (10 ライセンスパック) の購入が含まれている場合は、その購入の詳細を作成する前に、製品 B (10 ライセンスパック) のカタログ製品が存在する必要があります。必要に応じて、[購入の詳細] ページでカタログ製品を作成できます。
- 7 カタログ製品がすでに存在する場合は、[新規] > [購入の詳細] の順にクリックして、[購買詳細の追加] ダイアログボックスを表示します。それ以外の場合は、スキップしてステップ 8 に進みます。
  - 7a 次のフィールドに入力します (他のフィールドはオプションです)。
 

**製品:**  をクリックして、購入の詳細に関連付けるカタログ製品を参照し選択します。カタログ製品が購入されたライセンスを継承します。

**購入数:** 購入した製品のユニット数を指定します。この数は、必ずしも製品のライセンス数と一致しません。たとえば、製品 A (シングルライセンスパック) を 5 ユニット購入したり、製品 B (10 ライセンスパック) を 10 ユニット購入することがあります。

**ユニット MSRP:** シングルユニットの製造元希望小売価格 (MSRP)。

**単価:** 1 ユニットに支払われる価格。

**総額:** このフィールドの標準計算は、単価 × 購入数量です (たとえば、\$200.00 x 5)。フィールドを空のままにした場合、その計算は購入の詳細の作成時に自動的に実行されます。標準計算が正しくない場合は、正しい総額を指定します。
  - 7b [OK] をクリックして、購入の詳細をリストに追加します。
  - 7c これらの手順を繰り返して、追加の購入詳細を作成します。

- 8 カタログ製品が存在しない場合は、[新規] > [カタログ製品] の順にクリックして、[新規カタログ製品の作成] ウィザードを起動します。
- 8a [一般情報] ページで、次のフィールドに情報を入力します。他のフィールドはオプションですが、できるだけ多くの情報を入力して、カタログ製品を識別してください。
- 製品:** 購買記録に記載される製品名を指定します。これは、できるだけ詳細にします。たとえば、製品名が *製品 B (10 ライセンスパック)* の場合は、*製品 B* ではなく、その名前を入力します。
- パッケージ別ライセンス:** パッケージに付属していたライセンス数を指定します。
- 8b [新規] をクリックして、[New Purchase Detail(新規購入の詳細)] ページを開き、次のフィールドに入力して購入の詳細を作成します(他のフィールドはオプションです)。
- 購入数:** 購入した製品のユニット数を指定します。この数は、必ずしも製品のライセンス数に一致しません。たとえば、*製品 A (シングルライセンスパック)* を 5 ユニット購入したり、*製品 B (10 ライセンスパック)* を 10 ユニット購入することがあります。
- ユニット MSRP:** シングルユニットの製造元希望小売価格 (MSRP)。
- 単価:** 1 ユニットに支払われる価格。
- 総額:** このフィールドの標準計算は、単価 × 購入数量です (たとえば、\$200.00 x 5)。フィールドを空のままにした場合、その計算は購入の詳細の作成時に自動的に実行されます。標準計算が正しくない場合は、正しい総額を入力してください。
- 8c [新規] をクリックして情報を確認し、[完了] をクリックして、購入の詳細とカタログ製品を作成します。
- 8d これらの手順を繰り返して、追加のカタログ製品と購入詳細を作成します。

## 9.5 購買記録の詳細の表示

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[購買記録] をクリックします。

PO番号	注文日	販売者
<a href="#">10077</a>	8/9/07	Software Spectrum
<a href="#">101</a>	8/4/07	
<a href="#">10100</a>	8/9/07	Software Spectrum
<a href="#">10101</a>	8/9/07	Software Spectrum

- 3 購買記録をクリックして、その情報を表示します。

1345787

全般 購入の詳細

---

全般

PO番号: 1345787 注文日: 2/9/2009

受信者: Tom Raymond 販売者: Cheap Software.com

社名: Novell, Inc

発送先(1): 30 Lafayette St

発送先(2):

市町村: Lebanon

都道府県: NH

郵便番号: 03766

国: USA

メモ:

適用 リセット

[全般] ページには、販売者、購入者、購入日付の情報が表示されます。

4 [購入の詳細] タブをクリックします。

1345787

全般 購入の詳細

---

購入の詳細

新規 編集... 削除

製品名	請求書番号	数量	ユニット MSRP	単 価	総 額	シリアル番号	有効 期限	コスト センター	部署	サイト
Adobe Systems FrameMaker 7 (Full License) (1)	45768	15	999.00	799.00	11,985.00			F83750		Lebanon
MySQL AB MySQL 4.0.13 (Full License) (1)	23	2	0.00	0.00	0.00			Marketing		Lebanon
合計:		17	999.00	799.00	11,985.00					

[購入の詳細] ページでは、各ソフトウェア製品の購入（購買記録に含まれている）にカタログ製品が関連付けられています。そのカタログ製品が、購買記録に含まれているライセンスを使用します。

[ライセンス管理] タブ > [カタログ製品] の順にクリックすると、すべてのカタログ製品を表示できます。

## 9.6 購買記録の一般情報の変更

購買記録には、注文書番号、受信者、アドレス、注文日、販売者などの一般情報が含まれています。これらの情報は、必要に応じて変更できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ライセンス管理] > [購買記録] の順にクリックして、[購買記録] ページを表示します。
- 2 [購買記録] パネルで、編集する一般情報を持つ購買記録をクリックします。

[ライセンス管理](#) > [購買記録](#) > 1345787

1345787

全般 購入の詳細

全般

PO番号:	<input type="text" value="1345787"/>	注文日:	<input type="text" value="2/9/2009"/>
受信者:	<input type="text" value="Tom Raymond"/>	販売者:	<input type="text" value="Cheap Software.com"/>
社名:	<input type="text" value="Novell, Inc"/>		
発送先(1):	<input type="text" value="30 Lafayette St"/>		
発送先(2):	<input type="text"/>		
発送先(1):	<input type="text"/>		
市町村:	<input type="text" value="Lebanon"/>		
都道府県:	<input type="text" value="NH"/>		
郵便番号:	<input type="text" value="03766"/>		
国:	<input type="text" value="USA"/>		
メモ:	<input type="text"/>		

適用 リセット

- 3 必要に応じて、次のフィールドの内容を変更します。
  - PO番号: 注文書に割り当てられた数字を指定します。
  - 受信者 - 国: これらのフィールドでは、注文品の受取人の情報を指定します。フィールドごとに、リストから値を選択するか、新しい値を入力します。
  - メモ: 注文書とともに記録しておきたい情報を追加します。
  - 注文日付: をクリックして購入日を選択します。
  - 販売者: リストから販売者を選択するか、新しい販売者を入力します。
- 4 [適用] をクリックして変更内容を保存します。

## 9.7 購買記録の削除

購買記録は、それを削除することによって [購買記録] リストから除去できます。購買記録とその詳細の両方が削除されます。

購買記録を削除すると、購買記録の詳細からの購入ライセンスを使用するカタログ製品のライセンス数が減少します。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ライセンス管理] > [購買記録] の順にクリックして、[購購買記録] ページを表示します。
- 2 [購買記録] パネルで、削除する購買記録を選択します。
- 3 [削除] をクリックし、次に [OK] をクリックして削除を確認します。






## 9.8 購買記録の移動

購買記録は、[購買記録] リスト内の 1 つのフォルダから別のフォルダに移動できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ライセンス管理] > [購買記録] の順にクリックして、[購買記録] ページを表示します。
- 2 [購買記録] パネルで、移動する購買記録を選択します。
- 3 [移動] をクリックして、[購買記録の移動] ダイアログボックスを表示します。
- 4 ターゲットフォルダを参照および選択して、[OK] をクリックします。

## 9.9 インポートファイルの操作

ZENworks Asset Management では、標準のアセット管理インポートファイルか、次の販売者のインポートファイルから、購買記録をインポートできます。

- ◆  CompuCom. CompuCom\* ソフトウェアコンプライアンスレポート
- ◆  softchoice Softchoice 製品履歴レポート
- ◆  insight ZENworks Asset Management リセラーコネクタレポート
- ◆  shi SHI ライセンスコンプライアンスレポート
- ◆  KMD KMD アセットレポート - SAP からアセット管理関連データを自動的にインポート

販売者のインポートファイルを変更する必要があるか、または標準アセット管理インポートファイルを作成する場合には、次の情報が提供されています。

- ◆ [94 ページのセクション 9.9.1 「書式」](#)
- ◆ [95 ページのセクション 9.9.2 「フィールド」](#)

### 9.9.1 書式

インポートファイルは、タブで区切られた ASCII テキストファイルです。最初の行には、列見出しが含まれています。その後の各行は、購買記録内の特定製品の明細 (つまり詳細) を識別するデータ行です。次の例では、ファイルの最初の数行を示しています。列見出しは、最初の数列だけが表示されています。

PO#	OrderDate	Reseller	Recipient	CompanyName	ShippingAddress1
1234	12/16/2009	CheapSoft	Jen Adams	Novell	1800 S. Novell Pl.
87654	12/18/2009	Soft-R-Us	Nigel Ray	Novell	404 Wyman Street

列の順序は重要ではありません。たとえば、PO# と OrderDate を逆にしたり、不要な情報を含む列を削除できます。

## 9.9.2 フィールド

下記の表には、各販売者インポートファイルで使用されるフィールドが一覧されています。

表の最初の列は、標準、Insight、CompuCom、SHI、および KMD のインポートファイルをカバーしますが、これは、それらのファイルが同じフィールド名を使用するからです。ただし、KMD だけは、PO # ではなく、PO\_NUMBER を使用します。表の 2 番目の列は、Softchoice インポートファイルをカバーします。

フィールド 1?13 は、購買記録を識別します。フィールド 14?30 は、購買記録に含まれる明細 (つまり、詳細) を識別します。2 つの製品を同じ購買記録に含めるには、フィールド 1?13 の情報が一致しなければなりません。

インポートファイルの操作では、次のルールが適用されます。

- ◆ そのインポートファイル用のフィールドだけを使用します。たとえば、Softchoice インポートファイルの編集では、Softchoice フィールドの列に一覧されたフィールドだけを含まれます。無効なフィールドがあると、インポートが失敗します。
- ◆ (PO# | PO\_NUMBER | PURCHASEORDER)、(OrderDate | ORDERDATE)、(ProductName | ITEMDESC)、および (PurchaseQty | QTYORD) は、必須フィールドです。これらのフィールドを削除すると、インポートが失敗します。
- ◆ [LicensesPerPackage] フィールドも必須ですが、このフィールドがない場合は、インポータがデフォルト値 1 を割り当てます。
- ◆ 必須でないフィールドはすべて、削除可能です。削除する場合は、フィールドの列見出しと以降の各行にあるフィールドテキストを両方とも削除してください。

表 9-1 インポートファイルフィールド

標準、KMD、Insight、CompuCom、および SHI のフィールド	フィールド	説明
1 PO# (標準、Insight、CompuCom、SHI) PO_NUMBER (KMD)	PURCHASEORDER	注文書番号。  このフィールドまたは [OrderDate] フィールドのいずれかがレコードに含まれている必要があります。どちらのフィールドにもデータがない場合、そのレコードはインポートされません。  ZENworks 購買記録オブジェクト (インポート時に作成される) は、その名前に PO 番号を使用します。PO 番号を入力しないと、購買記録オブジェクトの名前は、デフォルトで、Unknown (MM_DD_YY) に設定されます。ここで、MM_DD_YY は、該当するロケール書式による現在の日付です。  最大フィールド長は、32 文字です。

標準、KMD、Insight、CompuCom、および SHI のフィールド	フィールド	説明
2 OrderDate	ORDERDATE	<p>製品が注文された日付。</p> <p>このフィールドまたは [PO#] フィールドのいずれかがレコードに含まれている必要があります。どちらのフィールドにもデータがない場合、そのレコードはインポートされません。</p> <p>PO 番号を入力し、日付を入力しない場合、[OrderDate] フィールドはデフォルトでインポート日付に設定されます。</p> <p>標準、Insight、CompuCom、または SHI のインポートファイルの場合、[OrderDate] フィールドには、ZENworks コントロールセンターのサーバロケールで決定される短い日付形式を使用する必要があります。たとえば、サーバロケールが US-English の場合、正しい日付形式は、m/d/yyyy です (12/16/2009 または 5/3/2010)。</p> <p>KMD インポートファイルの場合は、[OrderDate] フィールドに d/M/yy 形式を使用する必要があります (たとえば、28/1/09)。</p> <p>Softchoice インポートファイルの場合は、[ORDERDATE] フィールドに dd-MMM-yyyy 形式を使用する必要があります (たとえば、18-JUL-2010)。</p>
3 販売者		<p>この注文の製品の購入元販売者。</p> <p>最大フィールド長は、64 文字です。</p>
4 Recipient	SHIPCONTACTNAME	<p>この注文の製品の発送先の個人。</p> <p>最大フィールド長は、32 文字です。</p>
5 CompanyName	COMPANYNAME	<p>注文を実行した会社または団体の名前。</p> <p>最大フィールド長は、32 文字です。</p>
6 ShippingAddress1	SHIPADDR	<p>発送先の最初の行。</p> <p>最大フィールド長は、64 文字です。</p>
7 ShippingAddress2	SHIPCITYSTZIP	<p>発送先の 2 番目の行。</p> <p>最大フィールド長は、64 文字です。</p>
8 ShippingAddress3		<p>発送先の 3 番目の行。</p> <p>最大フィールド長は、64 文字です。</p>
9 市町村		<p>注文の発送先の市町村。</p> <p>最大フィールド長は、32 文字です。</p>
10 ステータス		<p>注文の発送先の都道府県。</p> <p>最大フィールド長は、32 文字です。</p>

標準、KMD、Insight、CompuCom、および SHI のフィールド	フィールド	説明
11 郵便番号		送り先の郵便番号。 最大フィールド長は、16 文字です。
12 国		注文の発送先の国。 最大フィールド長は、32 文字です。
13 Notes		購入記録に関する汎用メモ用のフィールド。 最大フィールド長は、255 文字です。
14 Manufacturer	PUBLISHER	製品の製造元。 [製造元]、[製品名]、[バージョン]、[製品のタイプ]、および [パッケージあたりのライセンス数] のフィールドを使用して、固有の製品が存在するかどうか決定されます。 最大フィールド長は、64 文字です。
15 ProductName	ITEMDESC	購入製品の名前または説明。このフィールドは必須です。 [製造元]、[製品名]、[バージョン]、[製品のタイプ]、および [パッケージあたりのライセンス数] のフィールドを使用して、固有の製品が存在するかどうか決定されます。 最大フィールド長は、255 文字です。
16 バージョン		購入製品のバージョン。 [製造元]、[製品名]、[バージョン]、[製品のタイプ]、および [パッケージあたりのライセンス数] のフィールドを使用して、固有の製品が存在するかどうか決定されます。 最大フィールド長は、32 文字です。
17 製品のタイプ		購入製品のタイプ。このフィールドは、フルライセンス、アップグレード、メディアなど、製品が表す内容の明示に役立ちます。 [製造元]、[製品名]、[バージョン]、[製品のタイプ]、および [パッケージあたりのライセンス数] のフィールドを使用して、固有の製品が存在するかどうか決定されます。 最大フィールド長は、32 文字です。

標準、KMD、Insight、CompuCom、および SHI のフィールド	フィールド	説明
18 パッケージあたりのライセンス数		<p>購入製品のユニットごとのライセンス数。</p> <p>たとえば製品が5パックの場合、この値は5です。デフォルトは1です。範囲値(たとえば、1-25)はサポートされておらず、それらを使用すると、インポート時に明細がスキップされます。</p> <p>[製造元]、[製品名]、[バージョン]、[製品のタイプ]、および [パッケージあたりのライセンス数] のフィールドを使用して、固有の製品が存在するかどうか決定されます。</p>
19 ResellerSKU	SKU	<p>リセラーによって割り当てられた SKU 番号。この値は、特定のリセラーとやり取りするとき重要となる場合があります。</p> <p>最大フィールド長は、32 文字です。</p>
20 MfrPart#	MFGSKU	<p>製造者が割り当てた部品番号。部品番号があると、特定の製品を容易に識別するのに役立つことがよくあります。</p> <p>最大フィールド長は、32 文字です。</p>
21 PurchaseQty	QTYORD	<p>この注文書で購入した製品ユニットの数。</p> <p>これは、1つの値でなければなりません。範囲値(たとえば、1-25)はサポートされておらず、それらを使用すると、インポート時にレコードがスキップされます。</p> <p>-1000000 ~ 1000000 の値である必要があります。</p>
22 シリアル番号		<p>注文した製品に関連付けられたソフトウェアのシリアル番号。</p> <p>最大フィールド長は、40 文字です。</p>
23 Site <sup>1</sup>		<p>[Site]、[Department]、および [CostCenter] の各フィールドは人口統計の追跡に使用されません。1つの明細をこれらのいずれかまたはすべての列の値に関連付けて、特定の人口統計内におけるライセンス数量の概要を作成することができます。これらの値を意味あるものとするためには、対応する統計を ZENworks Asset Management インベントリのデバイスに関連付ける必要があります。</p> <p>最大フィールド長は、32 文字です。</p>
24 Department <sup>1</sup>		
25 CostCenter <sup>1</sup>		
26 Comment	COMMENTS	<p>購入した製品に関する汎用コメント用のテキストフィールド。</p> <p>最大フィールド長は、128 文字です。</p>

標準、KMD、Insight、CompuCom、および SHI のフィールド	フィールド	説明
27 Invoice#	INVOICE	<p>購入製品の請求書番号。</p> <p>同じ注文書番号に複数の請求書を関連付けることができます。</p>
28 ユニット MSRP		UnitMSRP は、1 つの製品ユニットに対する製造元の希望価格です。
29 単価		
30 増値		<p>UnitPrice は、1 つの製品ユニットの実際の価格です。</p> <p>ExtendedPrice は、購入した全製品ユニットのコストです。[増値] フィールドに値が存在しない場合、[購入数量] フィールドと [単価] フィールドの値に基づいて、値が計算されます。値が存在する場合はインポートされ、計算値に一致しているかどうかは確認されません。</p> <p>フィールドに通貨記号と千単位の区切記号が表示されている場合、これらはデータのインポート時に外されます。</p> <p>インポータはサーバのロケールを使用して、千単位区切および通貨単位区切に使用されている文字を判別します。値に複数の通貨が含まれている場合、インポートされたコスト値が正しくないことがあります。</p> <p>範囲値 (たとえば、25.00-39.99) はサポートされておらず、それらを使用すると、インポート時にそのレコードがスキップされます。</p>

<sup>1</sup> [Cost Center]、[Department]、[Site] の値は、人口統計割り当てが有効な、ライセンス製品に意味があります。対応する人口統計の割り当てタイプ (site、department、cost center) を持ち、[今後の購入記録のインポートによって、統計データのライセンス割り当てを更新しません] が有効になっているライセンス製品に対して、割り当てられた数量 (およびライセンス数量) が更新されます。



# カタログ製品の操作

カタログ製品は、検出製品をライセンス製品に関連付けるために使用されます。次の各セクションでは、カタログ製品の管理に関するタスクについて説明します。

- ◆ 101 ページのセクション 10.1 「カタログ製品リストの表示」
- ◆ 102 ページのセクション 10.2 「カタログ製品リストのフィルタリング」
- ◆ 103 ページのセクション 10.3 「コンプライアンス計算からのカタログ製品の除外」
- ◆ 104 ページのセクション 10.4 「購買記録のインポートによるカタログ製品の作成」
- ◆ 104 ページのセクション 10.5 「手動でのカタログ製品の作成」
- ◆ 105 ページのセクション 10.6 「カタログ製品への購入ライセンスの追加」
- ◆ 106 ページのセクション 10.7 「ライセンス製品へのカタログ製品の追加」
- ◆ 107 ページのセクション 10.8 「カタログ製品フォルダの作成」
- ◆ 108 ページのセクション 10.9 「カタログ製品の購入レコードの表示」
- ◆ 109 ページのセクション 10.10 「カタログ製品の一般情報の変更」
- ◆ 110 ページのセクション 10.11 「カタログ製品の削除」
- ◆ 110 ページのセクション 10.12 「カタログ製品の移動」

## 10.1 カタログ製品リストの表示

すべてのカタログ製品のリストを表示できます。このリストには、1ユニットのカタログ製品に含まれたライセンスの数、製造部品番号、カタログ製品に関連付けられたライセンス製品など、各カタログ製品の一般情報が含まれています。

- 1 ZENworks® コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[カタログ製品] をクリックします。

カタログ製品							
<span>新規</span> <span>移動...</span> <span>削除</span> <span>アクション</span>							
名前	パッケージあたりのライセンス	製造者部品番号	販売者SKU	購入除外	数量	ライセンスされた製品	ライセンスエンタイトルメント
<input type="checkbox"/> 4D TECHNOLOGIES INC CD DUPE MS OFFICE 2000 STANDARD 32 BIT WIN (CD)(NR) 2000 (FF_Media Duplication) (1)	1		C49567		C49567		1
<input type="checkbox"/> ACME Jumble 2 (Full License) (1)			1				2 Jumble
<input type="checkbox"/> ACME Turbo (Version Upgrade) (1)			1				
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT CAPTURE V3.0 PERSONAL ED WNT (CD) 3 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22101156	A59587				1
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT V5.0 MP (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22001438	A68210				2
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT V5.0 MP UPG (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22001440	A68250				3
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE DESIGN COLLECTION V4.0 MP (CD) 4 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27590080	A69412				1
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE GOLIVE V6.0 MP (CD) 6 (Shrinkwrap Product) (1)	1	23200324	A84261				2
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE PAGEMAKER V7.0 MP (CD)(EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27530341	A69856				1
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE PAGEMAKER V7.0.2 MP UPG (CD)(EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27530402	A104342				1

各カタログ製品に関する次の情報が一覧表示されます。

**名前:** カタログ製品の名前。この名前は、5つの部分で構成されています：**製造元製品名バージョン(製品タイプ)(パッケージごとのライセンス数)**たとえば、*Acme Product A 8.5 (Full License) (10)* では、*Acme* が製造元、*Product A* が製品、*8.5* がバージョン、*Full License* が製品タイプ、*10* が製品ユニットごとのライセンス数です。名前をクリックすると、カタログ製品の詳細が表示されます

**パッケージあたりのライセンス:** 1 ユニットのカタログ製品に含まれるライセンス数。たとえば、カタログ製品が **製品 B(10 ライセンスパック)** の場合、ライセンス数は 10 になります。

**製造部品 #:** 製造元が、このカタログ製品で表されるソフトウェア製品パッケージに割り当てた部品番号。

**販売者 SKU:** 販売者が、このカタログ製品で表されるソフトウェア製品パッケージに割り当てた SKU (stock-keeping unit)。

**除外:** カタログ製品がコンプライアンス計算から除外されるかどうかを示します。除外された製品をライセンス製品に追加することはできません。

**購入数:** 購入したソフトウェア製品のパッケージ数。この数にパッケージあたりのライセンス数を掛け合わせると、カタログ製品に関連付けられているライセンスの総数になります。購入数の数字をクリックすると、カタログ製品の購入リストが表示されます。

**ライセンス製品:** カタログ製品が割り当てられているライセンス製品。ライセンス製品をクリックして、その [ライセンスエンタイトルメント] ページを表示します。

**ライセンスエンタイトルメント:** カタログ製品が割り当てられている特定のライセンスエンタイトルメント。エンタイトルメントをクリックすると、エンタイトルメントの [所有権の証明] ページが表示されます。このページを使用すると、カタログ製品とエンタイトルメントとの関連付けを管理 (表示、追加、または削除) できます。

## 10.2 カタログ製品リストのフィルタリング

デフォルトの [カタログ製品] リストは、コンプライアンス計算から除外されていないすべてのカタログ製品を一覧します。[検索] の条件を変更すると、表示されるカタログ製品を変更できます。

たとえば、特定の製造元のカタログ製品だけを表示したり、ライセンス製品に関連付けられているカタログ製品だけを表示したりできます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[カタログ製品] をクリックします。

カタログ製品							
新規 移動... 削除 アクション							
名前	パッケージあたりのライセンス	製造者部品番号	販売者SKU	除外	数量	購入	ライセンスされた製品
4D TECHNOLOGIES INC CD DUPE MS OFFICE 2000 STANDARD 32 BIT WIN (CD)(NR) 2000 (FF_Media Duplication) (1)	1		C49567		C49567		1
ACME Jumble 2 (Full License) (1)	1						2 <a href="#">Jumble</a>
ACME Turbo (Version Upgrade) (1)	1						
ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT CAPTURE V3.0 PERSONAL ED WNT (CD) 3 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22101156	A59587				1
ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT V5.0 MP (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22001438	A68210				2
ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT V5.0 MP UPG (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22001440	A68250				3
ADOBE SYSTEMS INC ADOBE DESIGN COLLECTION V4.0 MP (CD) 4 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27590080	A69412				1
ADOBE SYSTEMS INC ADOBE GOLIVE V6.0 MP (CD) 6 (Shrinkwrap Product) (1)	1	23200324	A84261				2
ADOBE SYSTEMS INC ADOBE PAGEMAKER V7.0 MP (CD)(EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27530341	A69856				1
ADOBE SYSTEMS INC ADOBE PAGEMAKER V7.0.2 MP UPG (CD)(EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27530402	A104342				1

- 3 [検索] パネルで ([カタログ製品] パネルの横)、リストのフィルタリングに使用する条件を指定します。製品は、定義されたすべての条件に一致しないと表示されません。

**名前:** カタログ製品名 (またはフォルダ名) に含める必要があるテキストを指定します。これは、大文字小文字を区別しない部分一致フィールドです。入力したテキストが名前のごどこかに含まれる場合、その製品は条件に一致します。

**製造元:** 特定の製造元を選択するか、どの製造元にも一致する [任意] を選択します。

**製品タイプ:** 特定の製品タイプを選択するか、どの製品タイプとも一致する [任意] を選択します。

**プラットフォーム:** プラットフォーム ([Windows] または [Mac]) を選択します。

**製造部品番号:** 部品番号に含める必要があるテキストを指定します。これは、大文字小文字を区別しない部分一致フィールドです。入力したテキストが部品番号のごどこかに含まれる場合、その部品番号は条件と一致します。

**除外のステータス:** 次の一致条件の1つを選択します。

- **任意:** 除外ステータスを無視します。すべてのカタログ製品に一致します。
- **除外:** コンプライアンス計算から除外されるカタログ製品のみ一致します。除外された製品をライセンス製品に関連付けることはできません。
- **除外なし:** コンプライアンス計算から除外されないカタログ製品に一致します。

**調整のステータス:** 次の一致条件の1つを選択します。

- **任意:** 調整ステータスを無視します。すべてのカタログ製品に一致します。
- **調整済み:** ライセンス製品に割り当てられているカタログ製品に一致します。
- **未調整:** ライセンス製品に割り当てられていないカタログ製品に一致します。

**サブフォルダを含む:** 現在のフォルダとそのサブフォルダを検索するには、このオプションを選択します。

4 [検索] をクリックして、検索条件を適用し、リストをフィルタします。

## 10.3 コンプライアンス計算からのカタログ製品の除外

ライセンス製品に関連付けたくないカタログ製品がある場合は、それらのカタログ製品を除外できます。除外されたカタログ製品は、ライセンス製品に割り当てることができないので、デフォルトの検索フィルタを変更しない限り、[カタログ製品] リストには表示されません。[自動調整] ウィザードを実行してライセンス製品を検出製品から作成する際には、除外されたカタログ製品は使用できません。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[カタログ製品] をクリックします。

カタログ製品							
新規 移動... 削除 アクション							
名前	パッケージあたりの ライセンス	製造者部品番号	販売者SKU	除外 数量	購入 数量	ライセンスされた製品	ライセンスエンタイトルメント
<input type="checkbox"/> 4D TECHNOLOGIES INC CD DUPE MS OFFICE 2000 STANDARD 32 BIT WIN (CD)(NR) 2000 (FF_Media Duplication) (1)	1		C49567		C49567	1	
<input type="checkbox"/> ACME Jumble 2 (Full License) (1)	1					2	Jumble
<input type="checkbox"/> ACME Turbo (Version Upgrade) (1)	1						
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT CAPTURE V3.0 PERSONAL ED WNT (CD) 3 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22101156	A59587			1	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT V5.0 MP (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22001438	A68210			2	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT V5.0 MP UPG (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22001440	A68250			3	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE DESIGN COLLECTION V4.0 MP (CD) 4 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27590080	A69412			1	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE GOLIVE V6.0 MP (CD) 6 (Shrinkwrap Product) (1)	1	23200324	A84261			2	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE PAGEMAKER V7.0 MP (CD)(EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27530341	A69856			1	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE PAGEMAKER V7.0.2 MP UPG (CD)(EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27530402	A104342			1	

- 除外する製品を選択します。
- [アクション] > [除外] の順にクリックします。

## 10.4 購買記録のインポートによるカタログ製品の作成

アセット管理では、購買記録をインポートすることができます。購買記録に、アセット管理のカタログ製品としてまだ識別されていないソフトウェア製品が含まれている場合は、インポートプロセスでカタログ製品が作成されます。購買記録に、すでにカタログ製品として識別されたソフトウェア製品が含まれている場合は、インポートプロセスで製品の購入ライセンスがカタログ製品に追加されます。

購買記録のインポートについては、87 ページのセクション 9.4.1 「購入記録のインポート」を参照してください。

## 10.5 手動でのカタログ製品の作成

カタログ製品は手動で作成できます。カタログ製品は、ソフトウェア製品を定義しますが、ライセンスは含みません。カタログ製品にソフトウェア製品のライセンスを含めるには、カタログ製品をライセンスの購入レコードを含む購買記録に関連付ける必要があります。

- ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- [ライセンス管理] ページで、[カタログ製品] をクリックします。

カタログ製品							
新規 移動... 削除 アクション							
名前	パッケージあたりの ライセンス	製造者部品番号	販売者SKU	除外 数量	購入 数量	ライセンスされた製品	ライセンスエンタイトルメント
<input type="checkbox"/> 4D TECHNOLOGIES INC CD DUPE MS OFFICE 2000 STANDARD 32 BIT WIN (CD)(NR) 2000 (FF_Media Duplication) (1)	1		C49567		C49567	1	
<input type="checkbox"/> ACME Jumble 2 (Full License) (1)	1					2	Jumble
<input type="checkbox"/> ACME Turbo (Version Upgrade) (1)	1						
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT CAPTURE V3.0 PERSONAL ED WNT (CD) 3 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22101156	A59587			1	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT V5.0 MP (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22001438	A68210			2	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT V5.0 MP UPG (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22001440	A68250			3	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE DESIGN COLLECTION V4.0 MP (CD) 4 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27590080	A69412			1	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE GOLIVE V6.0 MP (CD) 6 (Shrinkwrap Product) (1)	1	23200324	A84261			2	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE PAGEMAKER V7.0 MP (CD)(EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27530341	A69856			1	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE PAGEMAKER V7.0.2 MP UPG (CD)(EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27530402	A104342			1	

- 3 「[新規](#)」 > [\[カタログ製品\]](#) の順にクリックして、[\[新規カタログ製品の作成\]](#) ウィザードを起動します。次の表の情報を使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

ウィザードページ	詳細
一般情報	<p>次のフィールドに入力します。</p> <p><b>製造元:</b> 製品の製造元を指定します。</p> <p><b>製品:</b> 購買記録に記載される製品名を指定します。これは、できるだけ詳細にします。たとえば、製品名が <i>製品 B (10 ライセンスパック)</i> の場合は、<i>製品 B</i> ではなく、その名前を入力します。</p> <p><b>製品タイプ:</b> 製品のタイプを選択します。</p> <p><b>バージョン:</b> 製品バージョンを指定します。</p> <p><b>製造者部品番号:</b> 製品パッケージに割り当てられた部品番号を指定します。</p> <p><b>販売者 SKU:</b> 販売者の SKU を指定します。</p> <p><b>パッケージ別ライセンス:</b> パッケージに付属していたライセンス数を指定します。</p> <p><b>メモ:</b> 必要に応じて、メモを追加します。</p> <p><b>除外:</b> <a href="#">[除外]</a> を選択すると、コンプライアンスの計算から製品を取り除くことができます。除外された製品をライセンス製品に割り当てることはできません。</p>
新規カタログ製品の概要	データを確認します。

- 4 ウィザードをまだ完了していない場合は、[\[完了\]](#) をクリックして、カタログ製品を作成します。
- 5 カタログ製品へのライセンスの追加については、[105 ページのセクション 10.6「カタログ製品への購入ライセンスの追加」](#)を参照してください。

## 10.6 カタログ製品への購入ライセンスの追加

購入したライセンスをカタログ製品に追加する方法には、次の2つがあります。

- ◆ 購入したライセンスを含む購買記録ファイルをインポートできます。購買記録が作成され、さらに、購買記録に含まれたソフトウェア製品名がカタログ製品名と一致する場合は、購入ライセンスがカタログ製品に関連付けられます。詳細については、[87 ページのセクション 9.4.1「購入記録のインポート」](#)を参照してください。
- ◆ 新しい購買記録を手動で作成し、カタログ製品に関連付けられた購入の詳細を追加できます。購入の詳細に含まれたライセンス数量がカタログ製品に追加されます。方法については、[89 ページのセクション 9.4.2「手動での購入記録の作成」](#)を参照してください。

## 10.7 ライセンス製品へのカタログ製品の追加

購入されたライセンスの数をライセンス製品に入力するには、カタログ製品をライセンス製品のエンタイトルメントに追加します。カタログ製品をライセンス製品のエンタイトルメントに追加する方法には、次の2つがあります。

- ◆ 106 ページのセクション 10.7.1 「エンタイトルメントの編集によるカタログ製品の追加」
- ◆ 107 ページのセクション 10.7.2 「カタログ製品リストの使用によるカタログ製品の追加」

### 10.7.1 エンタイトルメントの編集によるカタログ製品の追加

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/>	名前	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数量	割り当てられた数量
<input type="checkbox"/>	Microsoft .NET Framework 2	🟡	☑	☑	5	1
<input type="checkbox"/>	Mozilla.org Firefox 2	🟢	☑		1	1
<input type="checkbox"/>	Sun Java2 Runtime Environment 23e43	🔴	☑	☑	1	0

- 3 エンタイトルメントを持つライセンス製品をクリックします。
- 4 [ライセンスエンタイトルメント] タブをクリックします。

全般	ライセンスの権限	コンプライアンスステータス	ライセンス割り当て							
権限(使用データソース: インベントリ)										
新規 削除										
<input type="checkbox"/>	説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	カバーされたバージョン	アップグレード元	
使用できる項目がありません。										
権限(使用データソース: 手動)										
新規 削除										
<input type="checkbox"/>	説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	アップグレード元		
<input type="checkbox"/>	ACME	フルライセンス	永久	アクティブ	無制限	0	0			
合計:							0	0		

- 5 エンタイトルメントのパネルで、カタログ製品を追加するエンタイトルメントをクリックします。
- 6 [所有権の証明] タブをクリックします。
- 7 [カタログ製品] パネルで、[追加] をクリックします。
- 8 目的のカタログ製品を選択し、次に、[OK] をクリックして、選択したカタログ製品を [カタログ製品] パネルに追加します。


[カタログ製品] パネルには、各カタログ製品の購入数量が表示されます。この数量は、購入したカタログ製品の(購買記録に従った)ユニット数です。[カタログ製品] パネルには、ライセンス数量も表示されます。この数量は、購入したユニットに含まれたライセンスの総数です。

## 10.7.2 カタログ製品リストの使用によるカタログ製品の追加

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[カタログ製品] をクリックします。

カタログ製品							
新規 移動... 削除 アクション							
名前	パッケージあたりの ライセンス	製造者/製品番号	販売者SKU	除外	数量	ライセンスされた製品	ライセンスエンタイトルメント
<input type="checkbox"/> 4D TECHNOLOGIES INC CD DUPE MS OFFICE 2000 STANDARD 32 BIT WIN (CD)(NR) 2000 (FF_Media Duplication) (1)	1		C49567		C49567	1	
<input type="checkbox"/> ACME Jumble 2 (Full License) (1)	1					2	Jumble
<input type="checkbox"/> ACME Turbo (Version Upgrade) (1)	1						
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT CAPTURE V3.0 PERSONAL ED WNT (CD) 3 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22101156	A59587			1	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT V5.0 MP (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22001438	A68210			2	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT V5.0 MP UPG (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22001440	A68250			3	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE DESIGN COLLECTION V4.0 MP (CD) 4 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27590080	A69412			1	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE GOLIVE V6.0 MP (CD) 6 (Shrinkwrap Product) (1)	1	23200324	A84261			2	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE PAGEMAKER V7.0 MP (CD)(EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27530341	A69856			1	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE PAGEMAKER V7.0.2 MP UPG (CD)(EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27530402	A104342			1	

- 3 エンタイトルメントに追加するカタログ製品を選択します。
- 4 [アクション] > [ライセンスされた製品に追加] の順にクリックして、[カタログ製品をライセンス製品に追加] ウィザードを起動します。次の表の情報を使用して、ウィザードを完了します。

ウィザードページ	詳細
ライセンス製品	 をクリックして、カタログ製品を追加するエンタイトルメントを含むライセンス製品を参照し選択します。
ライセンスエンタイトルメント	カタログ製品を追加するエンタイトルメントを選択します。
概要	データを確認します。

- 5 ウィザードをまだ完了していない場合は、[完了] をクリックしてカタログ製品をエンタイトルメントに追加します。

[カタログ製品] リストには、追加したカタログ製品ごとに、現在関連付けられているライセンス製品とエンタイトルメントが表示されます。

## 10.8 カタログ製品フォルダの作成

[カタログ製品] リスト内にフォルダを作成すると、カタログ製品をさらに組織化できます。すべてのフォルダは、リストのトップに表示されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ライセンス管理] > [カタログ製品] の順にクリックして [カタログ製品] ページを表示します。

カタログ製品							
新規 移動... 削除 アクション							
名前	パッケージあたりのライセンス	製造者部品番号	販売者SKU	購入除外数量	ライセンスされた製品	ライセンスエンタイトルメント	
<input type="checkbox"/> 4D TECHNOLOGIES INC CD DUPE MS OFFICE 2000 STANDARD 32 BIT WIN (CD)(NR) 2000 (FF_Media Duplication) (1)	1		C49567	C49567		1	
<input type="checkbox"/> ACME Jumble 2 (Full License) (1)	1					2	Jumble
<input type="checkbox"/> ACME Turbo (Version Upgrade) (1)	1						
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT CAPTURE V3.0 PERSONAL ED WNT (CD) 3 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22101156	A59587			1	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT V5.0 MP (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22001438	A68210			2	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT V5.0 MP UPG (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22001440	A68250			3	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE DESIGN COLLECTION V4.0 MP (CD) 4 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27590080	A69412			1	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE GOLIVE V6.0 MP (CD) 6 (Shrinkwrap Product) (1)	1	23200324	A84261			2	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE PAGEMAKER V7.0 MP (CD)(EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27530341	A69856			1	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE PAGEMAKER V7.0.2 MP UPG (CD)(EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27530402	A104342			1	

- 2 [新規] > [フォルダ] の順にクリックし、[新規フォルダ] ダイアログボックスを表示します。
- 3 次のフィールドに入力します。  
**名前:** フォルダの名前を指定します。名前は、同レベルの他のすべてのフォルダとカタログ製品に対して一意である必要があります。  
**フォルダ:** 新規フォルダを入れるフォルダを参照して選択します。  
**説明:** フォルダを識別する任意の情報 (オプション) を指定します。
- 4 [OK] をクリックしてフォルダを作成します。

## 10.9 カタログ製品の購入レコードの表示

カタログ製品の購入ライセンス数量のソースである購買記録のリストを表示できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[カタログ製品] をクリックします。

カタログ製品							
新規 移動... 削除 アクション							
名前	パッケージあたりのライセンス	製造者部品番号	販売者SKU	購入除外数量	ライセンスされた製品	ライセンスエンタイトルメント	
<input type="checkbox"/> 4D TECHNOLOGIES INC CD DUPE MS OFFICE 2000 STANDARD 32 BIT WIN (CD)(NR) 2000 (FF_Media Duplication) (1)	1		C49567	C49567		1	
<input type="checkbox"/> ACME Jumble 2 (Full License) (1)	1					2	Jumble
<input type="checkbox"/> ACME Turbo (Version Upgrade) (1)	1						
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT CAPTURE V3.0 PERSONAL ED WNT (CD) 3 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22101156	A59587			1	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT V5.0 MP (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22001438	A68210			2	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE ACROBAT V5.0 MP UPG (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22001440	A68250			3	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE DESIGN COLLECTION V4.0 MP (CD) 4 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27590080	A69412			1	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE GOLIVE V6.0 MP (CD) 6 (Shrinkwrap Product) (1)	1	23200324	A84261			2	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE PAGEMAKER V7.0 MP (CD)(EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27530341	A69856			1	
<input type="checkbox"/> ADOBE SYSTEMS INC ADOBE PAGEMAKER V7.0.2 MP UPG (CD)(EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27530402	A104342			1	

- 3 カタログ製品をクリックして、その [詳細] ページを表示します。
- 4 [購入/ライセンス] タブをクリックします。

Novell GroupWise for Win32 7 (Shrinkwrap Product) (5)

詳細 購入/ライセンス

PO番号	注文日	請求書番号	販売者	購入数量	ライセンス数量
 <a href="#">101</a>	11/11/04	6675432	Cheap Software.com	4	20
 <a href="#">11141</a>	1/19/03	6742742	Insight	3	15
合計:				7	35

購買記録ごとに1回の購入を表します。[購入数量]は、購入されたカタログ製品のユニット数です。[ライセンス数量]は、購入に含まれたライセンスの総数です。

## 10.10 カタログ製品の一般情報の変更

カタログ製品は、その製造元、製品名、バージョン、製品パッケージごとのライセンス数などの、一般情報を含んでいます。これらの情報は、必要に応じて変更できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ライセンス管理] > [カタログ製品] の順にクリックして [カタログ製品] ページを表示します。
- 2 [カタログ製品] パネルで、編集する一般情報を含むカタログ製品をクリックします。

Novell GroupWise 7.0 (Full Licence) (1)

詳細 購入/ライセンス

**全般** ▲

製造元:

製品名:

製品のタイプ:

バージョン:

製造者部品番号:

販売者SKU:

ライセンスされた製品: Novell GroupWise 7.0

ライセンスエンタイトルメント: Novell GroupWise 7.0

パッケージあたりのライセンス数:

メモ:

除外

適用

リセット

- 3 必要に応じて、次のフィールドの内容を変更します。
  - 製造元: リストから製品の製造元を選択するか、新しい製造元を入力します。
  - 製品: リストから製品名を選択するか、新しい名前を入力します。
  - 製品タイプ: リストから製品のタイプを選択するか、新しいタイプを入力します。
  - バージョン: 製品バージョンを指定します。

**製造者部品番号:** カタログ製品で表されるソフトウェア製品パッケージに製造元が割り当てた部品番号を指定します。

**販売者 SKU:** カタログ製品で表されるソフトウェア製品パッケージに販売者が割り当てた SKU (stock-keeping unit) を指定します。

**ライセンス製品:** カタログ製品に関連付けられたライセンス製品を表示します。

**ライセンスエンタイトルメント:** カタログ製品に関連付けられた (ライセンス製品からの) エンタイトルメントを表示します。

**パッケージ別ライセンス:** カタログ製品で表されるソフトウェア製品パッケージ (つまりユニット) に含まれるライセンスの数を指定します。パッケージあたりのライセンス数を変更すると、カタログ製品に割り当てられるライセンス総数が変わります。たとえば、3つの購買記録に製品の購入レコードが含まれており、そのパッケージあたりのライセンス数を 10 から 20 に変更した場合は、カタログ製品のライセンス総数が 30 から 60 に増加します。

**メモ:** 製品に関して記録しておきたい情報を追加します。

**除外:** コンプライアンスの計算からカタログ製品を除外する場合に、このオプションを選択します。除外された製品をライセンス製品に追加することはできません。

4 [適用] をクリックして変更内容を保存します。

## 10.11 カタログ製品の削除

カタログ製品は、それを削除することによって、[カタログ製品] リストから除去できます。カタログ製品がライセンス製品に割り当てられている場合は、そのカタログ製品 (およびそのライセンス数量) がライセンス製品から削除されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ライセンス管理] > [カタログ製品] の順にクリックして [カタログ製品] ページを表示します。
- 2 [カタログ製品] パネルで、削除するカタログ製品を選択します。
- 3 [削除] をクリックし、次に [OK] をクリックして削除を確認します。

## 10.12 カタログ製品の移動

カタログ製品は、[カタログ製品] リスト内の1つのフォルダから別のフォルダに移動できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ライセンス管理] > [カタログ製品] の順にクリックして [カタログ製品] ページを表示します。
- 2 [カタログ製品] パネルで、移動するカタログ製品を選択します。
- 3 [移動] をクリックして、[カタログ製品の移動] ダイアログボックスを表示します。
- 4 ターゲットフォルダを参照および選択して、[OK] をクリックします。

所有しているソフトウェアスイートに対応する検出製品が、ZENworks® Knowledgebase に存在しない場合があります。これには、スイートが現在のナレッジベースでまだ定義されていないことから、スイートのインストールがスイートとして登録されていないことまで、さまざまな理由があります。

ソフトウェアコレクションは、管理者定義のスイートです。ソフトウェアコレクションは、管理者が作成し、検出製品をコレクションのメンバーとして追加します。デバイス上ですべてのメンバー製品が検出されると、個々のメンバー製品のカウントではなく、ソフトウェアコレクションのインストールカウントが増分されます。個々の検出製品やスイートの検出製品を割り当てる場合とまったく同様に、ソフトウェアコレクションをライセンス製品に割り当てることができます。

次の各セクションでは、購買記録の管理に関するタスクについて説明します。

- ◆ [111 ページのセクション 11.1 「ソフトウェアコレクションのインストールをカウントする方法」](#)
- ◆ [112 ページのセクション 11.2 「ソフトウェアコレクションの作成」](#)
- ◆ [112 ページのセクション 11.3 「ソフトウェアコレクションへの製品の追加」](#)
- ◆ [113 ページのセクション 11.4 「ソフトウェアコレクションの削除」](#)
- ◆ [114 ページのセクション 11.5 「ソフトウェアコレクションフォルダの作成」](#)
- ◆ [114 ページのセクション 11.6 「ソフトウェアコレクションの移動」](#)

## 11.1 ソフトウェアコレクションのインストールをカウントする方法

ソフトウェアコレクションのメンバー製品には、必須の製品も、必須でない製品もあります。インストールがソフトウェアコレクションの正規のインストールであるためには、その必須メンバー製品がデバイス上で検出される必要があります。必須でないメンバー製品は、マシンにインストールされると、ソフトウェアコレクションの一部と見なされますが、そのインストールは必須ではありません。

次のサンプルについて考えてみます。SoftwareCollection に、次の 3 つのメンバー製品が含まれています。

- ◆ ProdA ( 必須 )
- ◆ ProdB ( 必須 )
- ◆ ProdC ( 必須でない )

メンバー製品は、次のようにインストールされています。

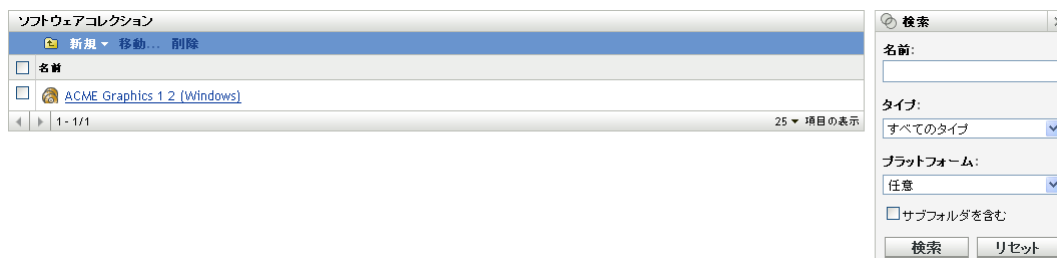
- ◆ デバイス 1: ProdA、ProdC
- ◆ デバイス 2: ProdA、ProdB
- ◆ デバイス 3: ProdA、ProdB、ProdC
- ◆ デバイス 4: ProdA

[検出された製品] リストには、次のように表示されます。

- ◆ SoftwareCollection: 2 インストール ( デバイス 2、デバイス 3)
- ◆ ProdA: 2 インストール ( デバイス 1、デバイス 4)
- ◆ ProdB: 0 インストール
- ◆ ProdC: 1 インストール ( デバイス 1)

## 11.2 ソフトウェアコレクションの作成

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ソフトウェアコレクション] をクリックします。



- 3 [新規] > [ソフトウェアコレクション] の順にクリックして、[新規ソフトウェアコレクションの作成] ウィザードを起動します。次の表の情報を使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

ウィザードページ	詳細
一般情報	次のフィールドに入力します。 <b>製造元</b> : 製造元の名前を指定します。 <b>製品</b> : 製品名を指定します。 <b>バージョン</b> : 製品バージョンを指定します。 <b>プラットフォーム</b> : Windows または Mac のいずれかを指定します。 <b>メモ</b> : 必要に応じて、メモを追加します。
新規ソフトウェアコレクションの概要	概要データを確認します。変更を加えるには [戻る] をクリックします。

- 4 ウィザードをまだ完了していない場合は、[完了] をクリックしてソフトウェアコレクションを作成します。
- 5 次のセクションの [ソフトウェアコレクションへの製品の追加](#) に進みます。

## 11.3 ソフトウェアコレクションへの製品の追加

- 1 [ソフトウェアコレクション] リストで、製品を追加するソフトウェアコレクションをクリックします。
- 2 [メンバー製品] タブをクリックします。

3 検出製品をコレクションのメンバーとして追加します。

3a 管理ゾーン内のデバイスにインストールされた検出製品のみを表示したい場合は、[検出された製品] パネルで、[検出された製品] > [インストール済みの検出された製品] の順にクリックします。

または

[追加] > [任意の検出された製品] をクリックして、ナレッジベースに含まれるすべての検出製品を表示します。

3b 追加する製品を参照して選択し、次に [OK] をクリックして、選択した製品を [検出された製品] リストに追加します。

4 メンバー製品を必須または必須以外としてマークします。

ソフトウェアコレクションのメンバー製品には、必須の製品も、必須でない製品もあります。デフォルトでは、メンバー製品は、リストへの追加時に [必須] に設定されます。インストールがソフトウェアコレクションの正規のインストールであるためには、その必須メンバー製品がデバイス上で検出される必要があります。必須でないメンバー製品は存在する必要はありません。ただし、それらの製品が存在していれば、そのインストールは、個々の検出製品インストールではなく、ソフトウェアコレクションのインストールの一部と見なされます。

4a 必須製品を必須でない製品に変更するには、製品の横にあるチェックボックスをクリックして変更する製品を選択し、次に、[追加] > [クリアが必要です] の順にクリックします。

4b 必須でない製品を必須製品に変更するには、製品の横にあるチェックボックスをクリックして変更する製品を選択し、次に、[アクション] > [設定が必要です] の順にクリックします。

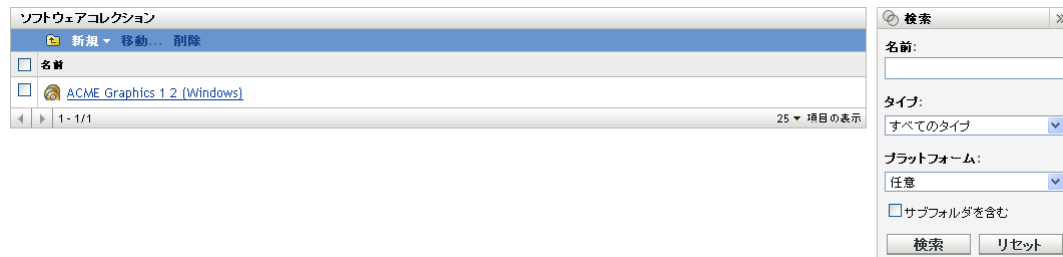
## 11.4 ソフトウェアコレクションの削除

ソフトウェアコレクションは、それを削除することによって、[ソフトウェアコレクション] リストから除去できます。ソフトウェアコレクションがライセンス製品に割り当てられている場合は、そのコレクション (およびそのインストール数量) がライセンス製品から削除されます。

ソフトウェアコレクションを削除しても、コレクションのメンバーである検出製品は削除されません。

1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。

2 [ソフトウェアコレクション] をクリックします。



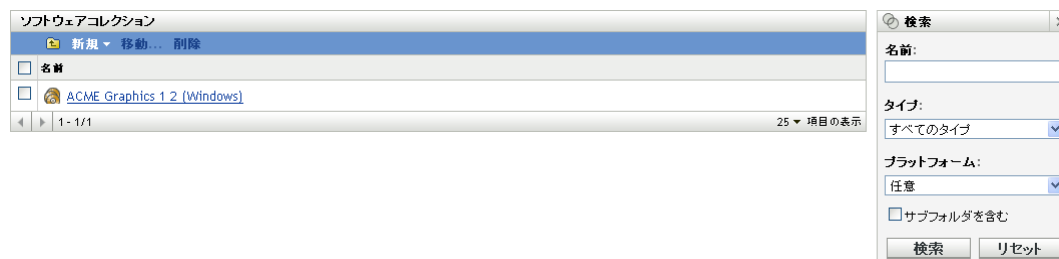
3 [ソフトウェアコレクション] パネルで、削除するコレクションを選択します。

4 [削除] をクリックします。

## 11.5 ソフトウェアコレクションフォルダの作成

[ソフトウェアコレクション] リスト内にフォルダを作成すると、ソフトウェアコレクションをさらに組織化できます。すべてのフォルダは、リストのトップに表示されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ライセンス管理] > [ソフトウェアコレクション] の順にクリックして [ソフトウェアコレクション] ページを表示します。

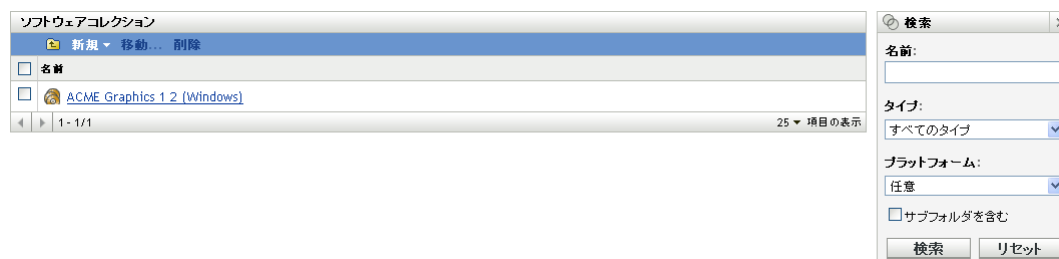


- 2 [新規] > [フォルダ] の順にクリックし、[新規フォルダ] ダイアログボックスを表示します。
- 3 次のフィールドに入力します。
  - 名前: フォルダの名前を指定します。名前は、同レベルの他のすべてのフォルダとソフトウェアコレクションに対して一意である必要があります。
  - フォルダ: 新規フォルダを入れるフォルダを参照して選択します。
  - 説明: フォルダを識別する任意の情報 (オプション) を指定します。
- 4 [OK] をクリックしてフォルダを作成します。

## 11.6 ソフトウェアコレクションの移動

ソフトウェアコレクションは、[ソフトウェアコレクション] リスト内の1つのフォルダから別のフォルダに移動できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ソフトウェアコレクション] をクリックします。



- 3 [ソフトウェアコレクション] パネルで、移動するコレクションを選択します。
- 4 [移動] をクリックします。
- 5 [ソフトウェアコレクションの移動] ダイアログボックスで、移動先のフォルダを選択します。
- 6 [OK] をクリックします。

# ライセンスの割り当て



Novell® ZENworks® Asset Management では、組織内でライセンスを割り当てることにより、ライセンスの所有権と配布を追跡できます。

- ◆ 117 ページの第 12 章「ライセンス割り当ての概念」
- ◆ 119 ページの第 13 章「統計データの準備」
- ◆ 125 ページの第 14 章「ライセンスの割り当て」
- ◆ 133 ページの第 15 章「ライセンス割り当ての操作」
- ◆ 135 ページの第 16 章「割り当てレポートの生成」



# ライセンス割り当ての概念

ライセンスをデバイス、部署、サイト、コストセンターに割り当てると、組織内のライセンス所有権を追跡し保守することができます。

次の各セクションでは、アセット管理を効果的に使用してライセンスを割り当てる上で、理解しておく必要がある概念を紹介しています。

- [117 ページのセクション 12.1 「割り当て対コンプライアンス」](#)
- [117 ページのセクション 12.2 「デバイス割り当てと統計割り当て」](#)

## 12.1 割り当て対コンプライアンス

ライセンス割り当ては、アカウントツールです。このツールは、デバイス、部署、サイト、またはコストセンターにライセンスを割り当てることにより、ライセンスの配布と所有権を追跡します。ライセンスコンプライアンスは、評価ツールです。このツールは、製品のライセンス数量をそのインストール数量と比較して、コンプライアンスステータスを決定します。

両方ともライセンス製品に基づくという点以外、ライセンス割り当てとライセンスコンプライアンスは、互いに独立したツールです。ライセンスの割り当ては、製品の購入ライセンス数やインストール数に影響しないので、製品のライセンスコンプライアンスステータスにも影響しません。

たとえば、部署 Q が製品 A のライセンスを 30 個購入したとします。ただし、部署 Q は、製品を 35 インストールしました。つまり、製品 A のライセンスコンプライアンスステータスは適合未満です (ライセンス数よりインストール数が多い)。この場合、部署 Q に 35 個のライセンスを割り当てることにします。これは、購入ライセンスが 30 しかない場合でも可能です。コンプライアンス計算では、割り当てられたライセンスではなく、購入されたライセンスが使用されるので、コンプライアンスステータスは適合未満のままです。

一部の事例では、ライセンス割り当てがコンプライアンスの問題の解決に役立つことがあります。たとえば、製品 A が 4 ライセンスだけ適合未満であることに気付いたとします。製品 A のライセンス割り当て情報をチェックすると、14 のライセンスが部署 Q に割り当てられ、部署 Q に関連付けられた 14 のデバイスで製品 A がインストールされています。一方、部署 Z には 12 ライセンスが割り当てられていますが、部署 Z に関連付けられた 16 のデバイスで製品 A がインストールされています。このことから、コンプライアンスの問題を解決するには、部署 Z と協力する必要があると分かります。

## 12.2 デバイス割り当てと統計割り当て

ライセンスは、デバイスに割り当てたり、統計 (サイト、部署、またはコストセンター) に割り当てることができます。

デバイス割り当ては、特定のデバイスにライセンスを割り当てることです。そのデバイスには、製品がインストールされていても、インストールされていなくても構いません。たとえば、製品 A の 10 ライセンスを購入したとします。これらのライセンスは、デバイスにインストールする前でも、ターゲットデバイスに割り当てることができます。

統計割り当てでは、1つまたは複数のライセンスをサイト、部署、またはコストセンターに割り当てることです。統計を割り当てられ、製品がインストールされたデバイスは、その割り当てに関連付けられたインストールとして表示されます。たとえば、製品 A の 15 ライセンスを購入し、それを部署 Q に割り当てたとします。部署 Q に割り当てられているデバイスは 20 台です。20 台のデバイスうち、12 台のデバイスで製品 A がインストールされました。その結果、部署 Q の割り当てとして、15 の割り当てられたライセンスと 12 のインストールが示されます。

統計割り当てを効果的に実装するには、管理ゾーン内のデバイスに正しい統計データが含まれている必要があります。このデータは、デバイスのインベントリデータの一部として保存されます。デバイスが正しいデータを含むようにするには、いくつかの方法があります。これらの方法は、[119 ページの第 13 章「統計データの準備」](#)で説明されています。

シングルライセンス製品は、両方のタイプの割り当てを含むことができます。たとえば、部署 Q が製品 A のライセンスを 15 個購入したとします。一方、IT 部署では、組織全体で雑多な用途で使用するため、製品 A のライセンスを 10 個購入しました。この場合、部署 Q に 15 ライセンスを割り当て、次に、製品 A のインストールを要求する他の任意のユーザのデバイスに個々のライセンスを (10 個の IT ライセンスのプールから) 割り当てます。

割り当ての作成については、[125 ページの第 14 章「ライセンスの割り当て」](#)を参照してください。

# 統計データの準備

統計データ ( 部署、サイト、またはコストセンター ) に基づいてライセンスを割り当てる前に、デバイスと購買記録に適切な統計データが含まれていることを確認する必要があります。次のセクションではそれらの手順について説明します。

- ◆ 119 ページのセクション 13.1 「デバイスへの統計データの追加」
- ◆ 120 ページのセクション 13.2 「購買記録への統計データの追加」
- ◆ 122 ページのセクション 13.3 「購買記録インポートファイルへの統計データの追加」
- ◆ 122 ページのセクション 13.4 「デバイス / 購買記録間での統計データの一貫化」

ライセンスをデバイスに直接割り当てる場合は、統計データは無視して、125 ページの第 14 章「ライセンスの割り当て」に進んでください。

## 13.1 デバイスへの統計データの追加

各デバイスのインベントリデータには、3 つの人口統計フィールドがあります ( [ サイト ]、[ 部署 ]、[ コストセンター ] )。これらの統計データをデバイスに追加すると、次のようになります。

- ◆ ライセンスを割り当てることのできる統計 (たとえば、Site1、CostCenterA、Department12) のリストを作成します。ライセンスを割り当てる際には、インベントリデバイスまたは購買記録のデータ内にすでに存在するサイト、部署、およびコストセンターにのみライセンスを割り当てることができます。
- ◆ デバイスのインストールをライセンスの割り当てと照合して追跡できるようになります。たとえば、製品 A の 10 ライセンスを Site1 に割り当てます。デバイス 1 が Site1 に割り当てられている場合は、デバイス 1 の製品 A のインストールが Site1 の割り当てと照合して追跡されます。そうでない場合は、追跡されません。
- ◆ [ 割り当ての初期化 ] ウィザードで、デバイスの統計データに基づいてライセンス製品の初期割り当てを作成できるようになります。たとえば、サイト統計に基づいて製品 A のライセンス割り当てを初期化するとします。デバイス 1、デバイス 2、およびデバイス 3 には製品 A がインストールされています。デバイス 1 とデバイス 2 はサイト 1 に割り当てられ、デバイス 3 はサイト 2 に割り当てられています。この場合、ウィザードは、2 つのライセンスをサイト 1 (デバイス 1 とデバイス 2)、1 つのライセンスをサイト 2 (デバイス 3) に割り当てます。

ライセンス割り当てがすべて、同じ統計 ( サイト、部署、またはコストセンター ) を使用する場合は、その統計データだけを各デバイスに追加できます。たとえば、統計割り当てがすべて部署割り当てになる場合は、各デバイスに部署を追加するだけです。統計割り当てが混合になる場合は、各デバイスにサイト、部署、およびコストセンターを追加しなければなりません。

デバイスに統計データを追加する方法には、次の 3 つがあります。

- ◆ ZENworks® コントロールセンターで、デバイスごとにデータを手動入力します。その場合は、デバイスの [ インベントリ ] ページを開いて、[ ハードウェア / ソフトウェアのインベントリの詳細 ] リンクをクリックし、[ 編集 ] ( ページの下部にある ) をクリックして、[ サイト ]、[ 部署 ]、および [ コストセンター ] のフィールドに情報を入力します。

- ◆ 電子データ収集フォームを個人に配布し、統計データを提供させます。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management Asset Inventory リファレンス』の「[人口統計データのスキャン](#)」を参照してください。
- ◆ LDAP ディレクトリ内のデバイスオブジェクトから統計データをインポートします。詳細については、『ZENworks 10 Configuration Management Asset Inventory リファレンス』の「[人口統計データのインポート](#)」を参照してください。

## 13.2 購買記録への統計データの追加

購買記録への統計データの追加はオプションです。次のどちらかを実行する場合のみ、それを行う必要があります。

- ◆ 購買記録データを使用して、ライセンスを割り当てることができる統計 (たとえば、Site1、CostCenterA、Department12) のリストを作成します。ライセンスを割り当てる際には、デバイスまたは購買記録のデータ内にすでに存在するサイト、部署、およびコストセンターにのみライセンスを割り当てることができます。
- ◆ [割り当ての初期化] ウィザードを使用して、購買記録内の統計データに基づいて、ライセンス製品の初期統計割り当てを作成します。たとえば、部署統計に基づいて製品 A のライセンス割り当てを初期化するとします。購買記録 1 には、部署 Q に割り当てられた製品 A の 10 ライセンスが含まれています。購買記録 2 には、部署 Z に割り当てられた製品 A の 20 ライセンスが含まれています。この場合、ウィザードは、部署 Q に 10 ライセンスを割り当て、部署 Z に 20 ライセンスを割り当てます。

ライセンス割り当てがすべて、同じ統計 (サイト、部署、またはコストセンター) を使用する場合は、その統計データだけを各購買記録に割り当てることができます。たとえば、統計割り当てがすべて部署割り当てになる場合は、各購買記録に部署を割り当てるだけです。統計割り当てが混合になる場合は、各購買記録にサイト、部署、およびコストセンターを追加しなければなりません。

既存の購買記録に統計データを追加するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[購買記録] をクリックします。



PO番号	注文日	販売者
10077	8/9/07	Software Spectrum
101	8/4/07	
10100	8/9/07	Software Spectrum
10101	8/9/07	Software Spectrum

- 3 統計データを追加する購買記録をクリックします。

1345787

全般 購入の詳細

---

全般

PO番号: 1345787 注文日: 2/9/2009

受信者: Tom Raymond 販売者: Cheap Software.com

社名: Novell, Inc

発送先(1): 30 Lafayette St

発送先(2):

市町村: Lebanon

都道府県: NH

郵便番号: 03766

国: USA

メモ:

適用 リセット

4 [購入の詳細] タブをクリックします。

1345787

全般 購入の詳細

購入の詳細

新規 編集... 削除

<input type="checkbox"/>	製品名 ▲	請求書番号	数量	ユニット MSRP	単 価	総 額	シリアル番号	有効 期限	コスト センター	部署	サイト
<input type="checkbox"/>	Adobe Systems FrameMaker 7 (Full License) (1)	45768	15	999.00	799.00	11,985.00			F83750		Lebanon
<input type="checkbox"/>	MySQL AB MySQL 4.0.13 (Full License) (1)	23	2	0.00	0.00	0.00			Marketing		Lebanon
合計:			17	999.00	799.00	11,985.00					

製品に関連付けられた購入の詳細に統計データを追加します。

- 購入の詳細の横にあるチェックボックスをオンにして、[編集] をクリックします。
- [コストセンター]、[部署]、[サイト] の各フィールドを編集して該当するデータを入力します。  
フィールドごとに、リストから既存値を選択するか、新しい値を入力できます。
- [OK] をクリックし、変更を保存します。

## 13.3 購買記録インポートファイルへの統計データの追加

購買記録インポートファイルへの統計データの追加はオプションです。ライセンス製品の既存の統計割り当てカウントを、その製品を含む新規購買記録のインポート時に自動的に更新したい場合か、または購買記録を使用して割り当てを初期化したい場合のみ、それを行う必要があります。

たとえば、製品 A に、部署 Q への 20 ライセンスの割り当てがあるとします。部署 Q 用の製品 A のライセンスを 15 含む別の購買記録をインポートします。追加の 15 ライセンスが部署 Q の割り当てに自動的に反映されます。

インポートファイル内の各製品の明細 (つまり詳細) には、[Site]、[Department]、および [Cost Center] の各フィールドが含まれています。これらのフィールドには、適切な情報を含める必要があります。インポートファイルの編集については、[94 ページのセクション 9.9 「インポートファイルの操作」](#) を参照してください。

## 13.4 デバイス / 購買記録間での統計データの一貫化

統計データがデバイスと購買記録に追加される時、同じサイト、部署、またはコストセンターを表すために異なる値が使用されることがあります。たとえば、同じサイトが、インベントリデバイスデータでは Site1 によって表され、購買記録データでは SiteOne によって表されることがあります。

一貫しないデータは、アセット管理が製品のインストールを人口統計割り当てと照合しようとする際に問題となる可能性があります。たとえば、購買記録の統計データから SiteOne 割り当てを作成した場合は、Site1 に割り当てられたデバイス上の製品インストールは、SiteOne 割り当てと照合されません。

統計データを同期するには、購買記録の統計値をインベントリデバイスデータからの値で置き換えることができます。たとえば、購買記録内の SiteOne のすべてのオカレンスを Site1 で置き換えることができます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[購買記録] をクリックします。



PO番号	注文日	販売者
10077	8/9/07	Software Spectrum
101	8/4/07	
10100	8/9/07	Software Spectrum
10101	8/9/07	Software Spectrum

- 3 [購買記録] リストで、[アクション] をクリックし、次に、[サイト人口統計の置き換え]、[部署人口統計の置き換え]、または [コストセンター人口統計の置き換え] をクリックします。
- 4 [Demographic Value(統計値)] ダイアログボックスで、次のフィールドに入力します。

**Demographic value from Purchase Records( 購買記録からの統計値 ):** 購買記録内で置き換えたい値を選択します。このリストには空の値が含まれています。空の値を選択すると、すべての統計( サイト、部署、コストセンター) のすべての空フィールドが置換されます。

インベントリからの**統計値**: 置き換え値を選択します。

- 5 [OK] をクリックします。



# ライセンスの割り当て

製品のライセンスをデバイスまたは人口統計 ( サイト、部署、またはコストセンター ) に割り当てるために使用できる方法が2つあります。[割り当ての初期化] ウィザードを使用すると、アセット管理システムで使用できるデバイスと購買記録のデータに基づいて、自動的に割り当てを作成できます。または、手動でも割り当てを作成できます。両方の方法については、次の各セクションで説明されています。

- ◆ 125 ページのセクション 14.1 「割り当ての初期化」
- ◆ 128 ページのセクション 14.2 「統計割り当ての手動追加」
- ◆ 130 ページのセクション 14.3 「デバイス割り当ての手動追加」

## 14.1 割り当ての初期化

[割り当ての初期化] ウィザードを使用すると、ライセンス製品のデバイス割り当てまたは統計割り当てを作成できます。初期割り当ての作成後は、追加割り当てを追加したり、初期割り当てを変更できます。

統計割り当てを作成する場合は、デバイスと購買記録に正しい統計データが含まれていることを確認してください。詳細については、119 ページの第 13 章「統計データの準備」を参照してください。

ライセンス製品の割り当てを初期化するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks® コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▼ 移動... 削除 アクション ▼						
<input type="checkbox"/> 名前	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数量	割り当てられた数量	
<input type="checkbox"/> Microsoft .NET Framework 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1	
<input type="checkbox"/> Mozilla.org Firefox 2		<input checked="" type="checkbox"/>		1	1	
<input type="checkbox"/> Sun Java2 Runtime Environment 23e43		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0	

1 - 3/3 25 ▼ 項目の表示

- 3 [ライセンスされた製品] リストで、初期化する割り当ての対象のライセンス製品の横にあるチェックボックスをオンにします。  
複数の製品を選択できます。その場合は、選択したすべての製品が同じデータソース ( インベントリデバイスデータまたは購買記録 ) からの同じタイプの割り当て ( デバイスまたは統計 ) で初期化されます。
- 4 [アクション] > [割り当ての初期化] の順にクリックし、次に、[OK] をクリックして、選択した製品の既存割り当ての削除を承認します。
- 5 次の表の情報を使用して各フィールドに入力し、[割り当ての初期化] ウィザードを完了します。

ウィザードページ	詳細
割り当てタイプ	<p>製品がインストールされているデバイスごとにライセンスを割り当てる場合は、[デバイス] を選択します。</p> <p>サイト、部署、またはコストセンターにライセンスを割り当てたい場合は、[統計] を選択してから、[サイト]、[部署]、または [コストセンター] を選択します。</p>
割り当てデータソース	<p>デバイス割り当てを作成する場合は、[インベントリからの初期化] オプションだけが有効になります。ウィザードは、インベントリデータを検出して、製品がインストールされているデバイスを見つけ、各デバイスにライセンスを割り当てます。</p> <p>統計割り当てを作成する場合は、ライセンス割り当ての作成に使用するデータソースを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li> <p><b>購入記録からの初期化</b>：購入記録から検出された統計データに基づいてライセンスが割り当てられます。</p> <p>たとえば、部署統計に基づいて製品 A のライセンス割り当てを初期化するとします。購買記録 1 には、部署 Q に割り当てられた製品 A の 10 ライセンスが含まれています。購買記録 2 には、部署 Z に割り当てられた製品 A の 20 ライセンスが含まれています。ウィザードは、製品 A のライセンスを部署 Q には 10、部署 Z には 20 割り当てます。</p> </li> <li> <p><b>インベントリからの初期化</b>：インベントリデバイスデータに関連付けられた統計データに基づいて、ライセンスが割り当てられます。</p> <p>たとえば、サイト統計に基づいて製品 A のライセンス割り当てを初期化するとします。デバイス 1、デバイス 2、およびデバイス 3 には製品 A がインストールされています。デバイス 1 とデバイス 2 はサイト 1 に割り当てられ、デバイス 3 はサイト 2 に割り当てられています。この場合、ウィザードは、2 つのライセンスをサイト 1(デバイス 1 とデバイス 2)、1 つのライセンスをサイト 2(デバイス 3) に割り当てます。</p> </li> <li> <p><b>将来の購買レコードインポートの統計データに基づき、ライセンス割り当てを更新します</b>：将来の購買記録のインポート時に、購買記録に該当する統計データが含まれている場合は、割り当てられたライセンス数量が更新されます。</p> <p>たとえば、部署 Q に割り当てられた製品 A のライセンスを含む別の購買記録をインポートするとします。これらの追加ライセンスは、部署 Q の統計割り当てに自動的に反映されます。</p> <p>必要な場合は、新規割り当ての作成も行われます。たとえば、購買記録に、部署 Z(製品 A の割り当てリストにない新しい部署) に割り当てられた製品 A のライセンスが含まれている場合は、部署 Z の新規割り当てが作成されます。</p> </li> </ul>

割り当ての初期化の概要 データを確認します。

- まだウィザードを完了していない場合は、[完了] をクリックして、ライセンス割り当てを作成します。
  - ライセンス割り当てを表示するには、[ライセンスされた製品] リスト内でライセンス製品を見つけ、[割り当てられた数量] 列の数字をクリックします。
- ウィザードで作成された統計割り当ては、[統計割り当て] パネルに一覧されます。

統計割り当て				
追加 削除				
<input type="checkbox"/> サイト	デバイス数	割り当てられた数量	インストール済み数量	相違
<input type="checkbox"/> Bangalore	44	<input type="text" value="2"/>	2	0
<input type="checkbox"/> Lebanon	64	<input type="text" value="1"/>	1	0
<input type="checkbox"/> Provo	36	<input type="text" value="2"/>	2	0
<input type="checkbox"/> Waltham	2	<input type="text" value="2"/>	2	0
合計:	153	7	7	

1 - 4/4 5 項目の表示

各統計割り当てについて、次の情報が表示されます。

- ◆ **デバイス数**：統計に割り当てられたデバイス数。この数字をクリックすると、デバイスのリストが表示されます。
- ◆ **割り当てられた数量**：統計に割り当てられたライセンス数。この数字を変更して、割り当てるライセンス数を増やしたり、減らしたりできます。
- ◆ **インストール済み数量**：統計に割り当てられたデバイス上の製品インストールの数。
- ◆ **相違**：統計に割り当てられた割り当てライセンス数と製品インストール数の相違。

割り当てられた数量 - インストール済み数量 = 相違

負の相違は、割り当てられたライセンスより製品のインストールが多いことを示し、正の相違は、製品のインストールより割り当てられたライセンスが多いことを示します。

ウィザードで作成されたデバイス割り当ては、[デバイス割り当て] パネルに一覧されます。

デバイス割り当て								
削除 追加								
<input type="checkbox"/>	マシン名	ログイン名	IPアドレス	サイト	部署	コストセンター	インストール済み数量	重複した割り当て
<input type="checkbox"/>	<a href="#">ARHEATH02076</a>	atheath	164.99.114.108	Bangalore	Engineering	1001	1	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">DAMAVILLO3032</a>	Damaville	192.168.2.134	Provo	North American Sales	1004	1	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">DDJOHNS002096</a>	ddjohnson	164.99.114.33	Bangalore	Engineering	1001	1	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">KJTOMBS03018</a>	SLDUSCHEID	192.168.2.184	Waltham	Marketing Services Group	1007	1	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<a href="#">MJLIBUDA02079</a>	SYSTEM	164.99.114.19	Lebanon	Quality Assurance	1003	1	

1 - 5/5 5 項目の表示

割り当てられていないインストール数: 1

各デバイス割り当てについて、次の情報が表示されます。

- ◆ **マシン名、ログイン名、IPアドレス**：デバイスの標準情報（デバイスのインベントリ取得時にログインしていたユーザのログイン名など）。
- ◆ **サイト、部署、コストセンター**：デバイスの統計データ 1 つまたは複数のフィールドが空の場合、その情報はデバイスのインベントリデータに含まれていません。
- ◆ **インストール済み数量**：デバイス上のライセンス製品のインストール数。通常は、1 になります。

- ◆ **重複した割り当て** : デバイスのインストールが統計割り当てにも含まれている場合は、チェックマークが付きます。
  - ◆ **割り当てられていないインストール数** : 統計割り当てまたはデバイス割り当てによりライセンスを割り当てられていないインストールの数を表示します。この数字をクリックすると、インストールのリストが表示されます。
- 8 必要な場合は、追加割り当てを割り当てるか、または既存割り当てを変更します。詳細については、次のセクションを参照してください。
- ◆ 128 ページのセクション 14.2 「統計割り当ての手動追加」
  - ◆ 133 ページのセクション 15.1 「統計割り当て用ライセンス数の調整」
  - ◆ 130 ページのセクション 14.3 「デバイス割り当ての手動追加」
  - ◆ 134 ページのセクション 15.2 「割り当ての削除」

追加の統計データをデバイスまたは購買記録に追加すると、製品の初期化割り当てが改善される場合は、データを追加してから、[割り当ての初期化] ウィザードを再度実行します。既存の割り当てが削除された後で、新しい割り当てが追加されます。

## 14.2 統計割り当ての手動追加

製品のライセンスは、サイト、部署、またはコストセンターに割り当てることができます。統計値 (たとえば、Site1、DepartmentQ、Cost Center123) は、インベントリデバイスデータまたは購買記録データ内の値としてすでに存在している必要があります。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/>	名前	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数量	割り当てられた数量
<input type="checkbox"/>	Microsoft .NET Framework 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1
<input type="checkbox"/>	Mozilla.org Firefox 2		<input checked="" type="checkbox"/>		1	1
<input type="checkbox"/>	Sun Java2 Runtime Environment 23e43		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0

1 - 3/3 25 ▾ 項目の表示

- 3 [ライセンスされた製品] リストで、ライセンスを割り当てるライセンス製品をクリックします。
- 4 製品に関して、統計割り当てを有効にします。
  - 4a [全般] タブをクリックします。
  - 4b [ライセンス割り当ての設定] パネルで、次のフィールドに入力します。

**統計割り当ての有効化** : このオプションを選択します。

**統計割り当てタイプ** : シングルライセンス製品に関するすべての統計割り当ては、同じタイプでなければなりません。この製品に使用したいタイプを選択します ([サイト]、[部署]、[コストセンター])。

今後の購買記録のインポートによって、統計データのライセンス割り当てを更新します : 製品の今後の購買記録のインポート時に、購買記録の統計データに基づいて、割り当てられたライセンス数量を自動的に更新する場合は、このオプションを選択します。

たとえば、製品が部署割り当てを使用するとします。部署 Q に割り当てられたライセンスを含む購買記録をインポートします。それらのライセンスが部署 Q の統計割り当てとして追加されます。

必要な場合は、新規割り当ての作成も行われます。たとえば、購買記録に、部署 Z (製品 A の割り当てリストにない新しい部署) に割り当てられた製品 A のライセンスが含まれている場合は、部署 Z の新規割り当てが作成されます。

**4c** [適用] をクリックして変更内容を保存します。

**5** [ライセンス割り当て] タブをクリックします。

全般	ライセンスの権限	コンプライアンスステータス	ライセンス割り当て
<b>統計割り当て</b>			
追加 削除			
<input type="checkbox"/>	サイト	デバイス数	割り当てられた数量
インストール済み数量			
相違			
使用できる項目がありません。			
<b>デバイス割り当て</b>			
追加 削除			
<input type="checkbox"/>	マシン名	ログイン名	IPアドレス
	サイト	部署	コストセンター
			インストール済み数量
			重複した割り当て
<input type="checkbox"/>	DEXPSP3		172.22.1.34
			0
1 - 1/1			
5 項目の表示			
割り当てられていないインストール数: 0			
適用		リセット	

**6** [統計割り当て] パネルで、[追加] をクリックして次のフィールドに入力します。  
**人口統計:** リストから目的の統計 (サイト、部署、コストセンター) を選択します。

**割り当てられた数量:** 統計に割り当てるライセンス数を指定します。

**7** [OK] をクリックして、割り当てをリストに追加します。

割り当てに関する次の情報が表示されます。

- **デバイス数:** 統計に割り当てられたデバイス数。この数字をクリックすると、デバイスのリストが表示されます。
- **割り当てられた数量:** 統計に割り当てられたライセンス数。この数字を変更して、割り当てるライセンス数を増やしたり、減らしたりできます。
- **インストール済み数量:** 統計に割り当てられたデバイス上の製品インストールの数。
- **相違:** 統計に割り当てられた割り当てライセンス数と製品インストール数の相違。

割り当てられた数量 - インストール済み数量 = 相違

負の相違は、割り当てられたライセンスより製品のインストールが多いことを示し、正の相違は、製品のインストールより割り当てられたライセンスが多いことを示します。

## 14.3 デバイス割り当ての手動追加

ライセンスは、特定のデバイスに割り当てることができます。そのデバイスには、製品がインストールされていても、インストールされていなくても構いません。たとえば、製品 A の 10 ライセンスを購入したとします。これらのライセンスは、デバイスにインストールする前でも、ターゲットデバイスに割り当てることができます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/> 名前 ▲	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数	割り当てられた数	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Microsoft .NET Framework 2</a>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Mozilla.org Firefox 2</a>		<input checked="" type="checkbox"/>		1	1	
<input type="checkbox"/> <a href="#">Sun Java2 Runtime Environment 23e43</a>		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0	

1 - 3/3 25 ▾ 項目の表示

- 3 [ライセンスされた製品] リストで、ライセンスを割り当てるライセンス製品をクリックします。
- 4 [ライセンス割り当て] タブをクリックします。

全般	ライセンスの権限	コンプライアンスステータス	ライセンス割り当て
統計割り当て <span style="float: right;">▲</span>			
追加 削除			
<input type="checkbox"/> サイト ▲	デバイス数	割り当てられた数	インストール済み数
使用できる項目がありません。			
デバイス割り当て <span style="float: right;">▲</span>			
追加 削除			
<input type="checkbox"/> マシン名 ▲	ログイン名	IPアドレス	サイト
	部署	コストセンター	インストール済み数量
			重複した割り当て
<input type="checkbox"/> <a href="#">DEXPSP3</a>		172.22.1.34	0

1 - 1/1 5 ▾ 項目の表示

割り当てられていないインストール数: 0

- 5 (オプション) 製品はインストールされていますが、割り当てられたライセンスのないデバイスを表示するには、[デバイス割り当て] パネルで、[割り当てられていないインストール数] の数字をクリックします。
- 6 ライセンスの割り当て先デバイスに製品がインストールされている場合は、[追加] > [Devices with Product Installed(製品がインストールされているデバイス)] の順にクリックします。  
または  
ライセンスの割り当て先デバイスに製品がインストールされていない場合は、[追加] > [Any Devices(任意のデバイス)] の順にクリックします。  
[デバイスの検索] ダイアログボックスが表示されます。

- 7 [デバイスタイプ] フィールドで、[管理対象デバイス]、[インベントリ済みデバイス]、[Managed or Inventoried Devices(管理対象またはインベントリ済みデバイス)]、[ZAM マイグレートデバイス]、[すべて] のいずれを検索するか選択します。  
デバイスタイプが不明な場合は、[すべて] を選択します。
- 8 検索を制限するには、フィルタを使用して、検索条件を作成します。  
フィルタを作成しない場合は、すべてのデバイス (または製品がインストールされているすべてのデバイス) が、最大表示数まで表示されます。
- 9 検索で表示するデバイスの最大数を指定します。
- 10 検索結果のダイアログボックスに表示するカラムを選択します。複数のフィールドを選択する場合は、<Ctrl> キーを使用します。
- 11 [検索] をクリックすると、検索結果が一覧表示された [デバイスの選択] ダイアログボックスが表示されます。
- 12 ライセンスを割り当てたいデバイスを選択して、[OK] をクリックします。  
割り当てに関する次の情報が表示されます。
- ◆ **マシン名、ログイン名、IP アドレス** : デバイスの標準情報 ( デバイスのインベントリ取得時にログインしていたユーザのログイン名など )。
  - ◆ **サイト、部署、コストセンター** : デバイスの統計データ 1 つまたは複数のフィールドが空の場合、その情報はデバイスのインベントリデータに含まれていません。
  - ◆ **インストール済み数量** : デバイス上のライセンス製品のインストール数。通常は、1 になります。
  - ◆ **重複した割り当て** : デバイスのインストールが統計割り当てにも含まれている場合は、チェックマークが付きます。
  - ◆ **割り当てられていないインストール数** : 統計割り当てまたはデバイス割り当てによりライセンスを割り当てられていないインストールの数を表示します。この数字をクリックすると、インストールのリストが表示されます。



# ライセンス割り当ての操作

次の各セクションでは、既存のライセンス割り当ての管理に役立つ情報を提供します。ライセンス割り当ての追加については、125 ページの第 14 章「ライセンスの割り当て」を参照してください。

- 133 ページのセクション 15.1 「統計割り当て用ライセンス数の調整」
- 134 ページのセクション 15.2 「割り当ての削除」

## 15.1 統計割り当て用ライセンス数の調整

サイト、部署、またはコストセンターに割り当てられたライセンス数は、手動で増減できます。

- 1 ZENworks® コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/>	名前 ▲	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数量	割り当てられた数量
<input type="checkbox"/>	Microsoft .NET Framework 2	🟡	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1
<input type="checkbox"/>	Mozilla.org Firefox 2	🟢	<input checked="" type="checkbox"/>		1	1
<input type="checkbox"/>	Sun Java2 Runtime Environment 23e43	🔴	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0

1 - 3/3 25 ▾ 項目の表示

- 3 [ライセンスされた製品] リストで、調整するライセンス割り当てを持つライセンス製品をクリックします。
- 4 [ライセンス割り当て] タブをクリックします。

全般	ライセンスの権限	コンプライアンスステータス	ライセンス割り当て
<b>統計割り当て</b> <span style="float: right;">⌵</span> 追加 削除			
<input type="checkbox"/>	サイト ▲	デバイス数	割り当てられた数量
インストール済み数量			
相違			
使用できる項目がありません。			
<b>デバイス割り当て</b> <span style="float: right;">⌵</span> 追加 削除			
<input type="checkbox"/>	マシン名 ▲	ログイン名	IPアドレス
	サイト	部署	コストセンター
			インストール済み数量
			重複した割り当て
<input type="checkbox"/>	DEXPSP3		172.22.1.34
			0

1 - 1/1 5 ▾ 項目の表示

割り当てられていないインストール数: 0

適用 リセット

- 5 [統計割り当て] パネルで、目的の割り当てを見つけ、[割り当てられた数量] の数字を変更します。
- 6 [適用] をクリックして変更内容を保存します。

## 15.2 割り当ての削除

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/>	名前 ▲	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数量	割り当てられた数量
<input type="checkbox"/>	Microsoft .NET Framework 2	🟡	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1
<input type="checkbox"/>	Mozilla.org Firefox 2	🟢	<input checked="" type="checkbox"/>		1	1
<input type="checkbox"/>	Sun Java2 Runtime Environment 23e43	🔴	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0

1 - 3/3 25 ▾ 項目の表示

- 3 [ライセンスされた製品] リストで、割り当てられたライセンスを削除するライセンス製品をクリックします。
- 4 [ライセンス割り当て] タブをクリックします。

全般	ライセンスの権限	コンプライアンスステータス	ライセンス割り当て
<b>統計割り当て</b> <span style="float: right;">⌵</span> 追加 削除			
<input type="checkbox"/>	サイト ▲	デバイス数	割り当てられた数量
インストール済み数量 相違			
使用できる項目がありません。			
<b>デバイス割り当て</b> <span style="float: right;">⌵</span> 追加 削除			
<input type="checkbox"/>	マシン名 ▲	ログイン名	IPアドレス
	サイト	部署	コストセンター
			インストール済み数量
<input type="checkbox"/>	DEXPSP3		172.22.1.34
			0
1 - 1/1 <span style="float: right;">5 ▾ 項目の表示</span>			
割り当てられていないインストール数: 0			
適用 リセット			

- 5 削除する割り当ての横のチェックボックスをオンにしてから、[削除] をクリックします。

# 割り当てレポートの生成

# 16

ZENworks® Asset Management には、さまざまなレポートが組み込まれています。このレポートを生成して割り当てと割り当て関係のデータを見ることができます。事前定義のレポートの表示に加えて、カスタムレポートを作成したり、レポートをいくつかのファイル形式にエクスポートできます。

割り当てレポートの生成には、ZENworks Reporting Server を使用します。ZENworks Reporting Server および使用可能な割り当てレポートについては、[209 ページの第 33 章「ZENworks Reporting Server レポートの操作」](#)を参照してください。



# ソフトウェア使用状況



Novell® ZENworks® Asset Management を使用すると、組織内の個々のデバイスのソフトウェア使用状況を追跡できます。特定のアプリケーションに対する需要を知ることは、必要なライセンス数の管理に役立ちます。

- ◆ [139 ページの第 17 章「ソフトウェア使用状況の概念」](#)
- ◆ [141 ページの第 18 章「使用状況設定の設定」](#)
- ◆ [143 ページの第 19 章「Web アプリケーションの設定」](#)
- ◆ [145 ページの第 20 章「使用状況の監視」](#)
- ◆ [149 ページの第 21 章「使用状況レポートの生成」](#)



組織内のアプリケーション使用の追跡は有用ではありますが、困難な場合があります。アプリケーションに対する需要を知れば、実際に必要なライセンス数の予測が容易になります。製品 A の 4 つのインストールがアクティブに使用されていないとき、新たに 10 ライセンス注文することは合理的でしょうか？ライセンスの割り当てをやり直し、新規ライセンスの注文を減らす方が合理的ではないでしょうか？

ZENworks® Asset Management は、管理ゾーン全体に渡ってデバイスのソフトウェア使用状況を追跡することによって、より適切な決定の形成に貢献します。ZENworks コントロールセンターで基本的な使用データを直接表示したり、分析用の詳細なレポートを生成できます。

次の各セクションでは、アセット管理を効果的に使用してソフトウェアの使用状況を監視する上で、理解しておく必要がある概念を紹介しています。

- ◆ [139 ページのセクション 17.1 「追跡対象のソフトウェア」](#)
- ◆ [140 ページのセクション 17.2 「使用状況データの収集時」](#)
- ◆ [140 ページのセクション 17.3 「基本的な使用状況データ対詳細な使用状況データ」](#)

## 17.1 追跡対象のソフトウェア

アセット管理は、次のソフトウェアの使用状況を追跡します。

- ◆ **インストール済みの検出製品**：ZENworks Knowledgebase で定義され、管理ゾーンのデバイスにインストールされているソフトウェア製品。
- ◆ **ローカルソフトウェア製品**：ZENworks Knowledgebase に検出製品として登録されていないので管理者が定義するインストール済みソフトウェア製品。つまり、これらは、管理者定義の検出製品です。これらは、定義されると、[検出された製品] リストに表示されます。
- ◆ **ソフトウェアファイル**：ZENworks Knowledgebase になく、それらのローカルソフトウェア製品も作成されていないインストール済みソフトウェアファイル。
- ◆ **Web アプリケーション**：内部または外部の Web サイトにホストされている Web アプリケーションまたは Web ページ。Web アプリケーションは、自動的に検出されず、管理者が作成する必要があります。

アセット管理は、実行可能ファイル (.exe) を追跡して、使用状況データを収集します。したがって、アセット管理では、Citrix\* サーバと Windows ターミナルサーバから起動されたシンククライアントアプリケーションは追跡されません。アセット管理は、シンククライアント内で実行されるアプリケーションではなく、シンククライアントの使用状況自体を追跡します。

## 17.2 使用状況データの収集時

使用状況データは、ソフトウェアインベントリスキャン時にデバイスから収集されます。定期的なソフトウェアインベントリスキャンをスケジュールすることで、使用状況デバイスの収集頻度を制御できます。詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management Asset Inventory リファレンス](#)』の「[管理対象デバイスのスキャン](#)」を参照してください。

## 17.3 基本的な使用状況データ対詳細な使用状況データ

アクティブなインストールの数や使用時間など、製品の基本的な使用状況データは、ZENworks コントロールセンターのさまざまなページで表示できます ([145 ページの第 20 章「使用状況の監視](#)」を参照)。

ただし、詳細な情報については、使用状況レポートを生成する必要があります。使用状況レポートでは、次のような複数の観点から使用状況データを分析できます。

- ◆ 製品タイプ (ローカルアプリケーション、ネットワークサーバアプリケーション、Web アプリケーション) 別の使用状況
- ◆ 製品、ユーザ、またはデバイス別の使用状況
- ◆ 特定期間の使用状況

レポートの生成については、[149 ページの第 21 章「使用状況レポートの生成](#)」を参照してください。

# 使用状況設定の設定

ソフトウェア使用状況に関する ZENworks® 管理ゾーン設定は2つあります。1つの設定では、ソフトウェア使用状況の収集が可能になり、もう一方の設定では、使用状況データを ZENworks コントロールセンターのインターフェイスで表示するか、またはソフトウェア使用状況レポートでのみ表示するか指定できます。

設定を行うには、次の手順に従ってください。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] タブをクリックします。
- 2 [管理ゾーンの設定] パネルで、[アセット管理] をクリックして設定を表示します。
- 3 [使用状況モニタリング] をクリックし、[使用状況監視を有効にする] オプションが選択されていることを確認して、[OK] をクリックします。  
このオプションが有効になっていない場合は、使用状況の統計情報がデバイスから収集されません。
- 4 [使用表示] をクリックします。  
ZENworks コントロールセンターの [ライセンス管理] ページで使用状況データを表示するかどうか決定できます。使用状況データを表示すると、使用状況データの取得中にページのロードが遅くなることがあります。使用状況データの表示場所については、145 ページの第 20 章「使用状況の監視」を参照してください。
- 5 ZENworks コントロールセンターの [ライセンス管理] ページに使用状況データを表示したい場合は、[ライセンス管理ページに使用状況を表示しません] オプションを選択解除します。  
または  
ソフトウェア使用状況レポートの生成だけで使用状況データを利用したい場合は、[ライセンス管理ページに使用状況を表示しません] オプションを選択します。
- 6 [OK] をクリックして変更内容を保存します。



# Web アプリケーションの設定

# 19

ZENworks® Asset Management では、Web ベースのアプリケーションまたはページの使用状況を監視できます。使用状況レポートを生成するには、その前に、Web アプリケーションを定義する必要があります。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] タブをクリックします。
- 2 [アセット管理] タブをクリックして、[Web アプリケーション] パネルを表示します。



<input type="checkbox"/> 製造元	アプリケーション	バージョン	最終更新日時
<input type="checkbox"/> ACME	<a href="#">Graphics 1</a>	3	08/07/30

- 3 [Web アプリケーション] パネルで、[新規] をクリックして、[新規 Web アプリケーションの作成] ウィザードを起動します。次の表の情報をを使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

ウィザードページ	詳細
アプリケーション名前付け	<p>次のフィールドに入力します。</p> <p><b>製造元</b> : Web アプリケーションの製造元。</p> <p><b>アプリケーション</b> : アプリケーション名。</p> <p><b>バージョン</b> : アプリケーションのバージョン。</p>
アプリケーション認識	<p>Web アプリケーションは、アプリケーションの表示時にブラウザウィンドウのタイトルバーに表示されるテキストで認識されます。ただし、ブラウザ名は除外されます。1つまたは複数のタイトルを指定して、Web アプリケーションに関連付けることができます。</p> <p>Web アプリケーションは、定義されたすべてのウィンドウが閉じるまで、使用中と見なされます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>[ウィンドウタイトル] フィールドで、アプリケーションを定義するタイトルバーテキストを指定します。            ワイルドカード文字 * と ? は、ウィンドウタイトルに含めることができます。ワイルドカード * は任意の数の文字を表し、ワイルドカード ? は文字 1 つ分に相当します。            たとえば、ウィンドウタイトルを [*Google*] にして、すべての Google ページに関する単一の Web アプリケーションを作成したり、[*Google Search*] と [*Google Maps*] で、Google 検索と Google マップに関する個別のアプリケーションを作成できます。</li> <li>[追加] をクリックします。</li> <li>他の追加値についてもこの手順を繰り返します。値を変更または削除するには、[編集] および [削除] ボタンを使用します。</li> </ol>
概要	<p>データを確認します。指定した値を編集するには、[戻る] ボタンを使用します。</p>

- [完了] をクリックして、アプリケーションを [Web アプリケーション] リストに追加します。

## 使用状況の監視

ZENworks® コントロールセンターには、製品の基本使用状況を表示できる場所がいくつかあります。次の各セクションでは、それらの場所について説明します。

- ◆ 145 ページのセクション 20.1 「検出製品リスト」
- ◆ 145 ページのセクション 20.2 「ライセンス製品のコンプライアンスステータスページ」
- ◆ 146 ページのセクション 20.3 「検出製品のインストール/使用ページ」

### 20.1 検出製品リスト

[検出された製品] リストの [Active Usage(アクティブな使用数)] 列には、現在の使用状況期間で使用されている製品のインストール数が表示されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[検出された製品] をクリックします。

検出された製品						
アクション ▼						
<input type="checkbox"/>	名前	除外	ライセンスされた製品	インストール済み数	アクティブな使用数	機能カテゴリ
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Adobe Adobe Flash Player Plugin 10.0 (Windows)</a>			2	0	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)</a>		<a href="#">Java2 Runtime Environment</a>	1	0	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Microsoft Windows XP Professional 5.1 (Windows)</a>			4	0	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Novell Novell CASA 1.7 (Windows)</a>			5	0	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Novell ZENworks Imaging Agent 10.2 (Windows)</a>			5	0	

次の手順で、リスト内のデータを操作できます。

- ◆ リストの上に表示される [使用期間] フィールドは、使用状況データの時間帯を決定します。この時間帯を変更するには、[アクション] > [使用時間帯の更新] の順にクリックし、次に、新しい時間帯を選択して、[OK] をクリックします。
- ◆ 使用されている製品のみを表示するには、リストをフィルタします。[検索] パネルで、[使用ステータス] フィールドを [使用あり] に設定して、[検索] をクリックします。

各インストールの使用時間を表示したい場合は、検出製品内にドリルダウンできません。詳細については、146 ページの「検出製品のインストール/使用ページ」を参照してください。

### 20.2 ライセンス製品のコンプライアンスステータスページ

ライセンス製品の [コンプライアンスステータス] ページには、[検出された製品] リストと同じ使用状況データが表示されます。ただし、[コンプライアンスステータス] ページには、ライセンス製品に割り当てられた検出製品しか表示されない点が異なります。

ライセンス製品の [コンプライアンスステータス] ページにアクセスするには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] ページで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/>	名前 ▲	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数	割り当てられた数
<input type="checkbox"/>	Microsoft .NET Framework 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1
<input type="checkbox"/>	Mozilla.org Firefox 2		<input checked="" type="checkbox"/>		1	1
<input type="checkbox"/>	Sun Java2 Runtime Environment 23e43		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0

1 - 3/3 25 ▾ 項目の表示

- 3 ライセンス製品のステータスアイコン , , または をクリックして、製品の [コンプライアンスステータス] ページを表示します。

ライセンス管理 > ライセンスされた製品 > Novell GroupWise

Novell GroupWise								
全般 ライセンスの権限 コンプライアンスステータス ライセンス割り当て								
<small>発生時刻: 2010/04/22 12:27:14 使用期間: データベース内のすべての履歴</small>								
ライセンス使用(使用データソース: インベントリ)								
アクション ▾								
検出された製品 ▲	配布	ライセンスタイプ	シリアル番号	インストール済み数	無視されたインストール	追加消費コンソリダクション	総使用量	アクティブな使用量
使用できる項目がありません。								
コンプライアンスステータス(使用データソース: インベントリ)								
ライセンスエンタイトルメント	ライセンスモデル	カバーされたバージョン ▲	カバーされたインストール	ライセンス数	使用されたライセンス	超えている/未済		
Custom	マシン		0	30	0	30		
test	マシン		0	0	0	0		
Per-Named User Upgrade	名前付きユーザごと		0	0	0	0		
Per-User	ユーザごと		0	0	0	0		
合計:			0	30	0			
コンプライアンスステータス(使用データソース: 手動)								
ライセンスエンタイトルメント ▲	ライセンス数	使用されたライセンス	超えている/未済					
Unrestricted	0	2	-2					
合計:		0	2					

[ライセンス使用 (使用データソース: インベントリ)] パネルの [アクティブな使用数] 列には、現在の使用期間に使用された製品のインストール数が表示されます。

[License Consumption(ライセンス使用)] パネルの上に表示される [使用期間] フィールドは、使用状況データの時間帯を決定します。この時間帯を変更するには、[アクション] > [使用時間帯の更新] の順にクリックし、次に、新しい時間帯を選択して、[OK] をクリックします。

## 20.3 検出製品のインストール / 使用ページ

検出製品の [インストール / 使用] ページには、各インストールの使用時間が表示されます。

検出製品の [インストール / 使用] ページにアクセスするには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。

2 [ライセンス管理] ページで、[検出された製品] をクリックします。

検出された製品					
アクション ▼					
名前	除外	ライセンスされた製品	インストール済み数量	アクティブな使用量	標準カテゴリ
Adobe Adobe Flash Player Plugin 10.0 (Windows)			2	0	
Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)		Java2 Runtime Environment	1	0	
Microsoft Windows XP Professional 5.1 (Windows)			4	0	
Novell Novell CASA 1.7 (Windows)			5	0	
Novell ZENworks Imaging Agent 10.2 (Windows)			5	0	

3 検出製品の [インストール済み数量] の数字をクリックして、製品の [インストール/使用] ページを表示します。

Novell GroupWise for Win32 7.0 (Windows)

詳細 インストール/使用

使用期間: データベース内のすべての履歴

インストール

アクション ▼								
マシン名	ログイン名	IPアドレス	サイト	部署	コストセンター	無視	シリアル番号	アクティブな時間
BMCDOWELLN26092	BMcDowell	164.99.114.113	Provo	North American Sales	1004			14
CTETHINKPAD	ceaton	164.99.114.96	Bangalore	Engineering	1001			223
DASKREN25796	daskren	164.99.114.42	Bangalore	Engineering	1001			9
DDJOHNS002096	ddjohnson	164.99.114.33	Bangalore	Engineering	1001			0
DRM-TEST	dmellina	164.99.114.28	Bangalore	Engineering	1001			0
DROWELL25800	drowell	164.99.114.29	Bangalore	Engineering	1001			162
JLTVMXP	jtinkham	164.99.114.39		Professional Services Group				2
JTINKHAMN27245	jtinkham	164.99.114.49	Lebanon	Quality Assurance	1003			0
KRBRACK25801	krbrack	164.99.114.106	Bangalore	Engineering	1001			39
MEOW03057	tmbean	164.99.114.52	Horsholm	Fingerprinting	1002			111

1 - 10 / 26 10 項目の表示

検索

マシンの名:

部署: 任意

コストセンター: 任意

サイト: 任意

インストールステータス: 任意

使用ステータス: 任意

検索 リセット

アクティブなインストール使用量: 23

使用

無視されたインストール: 0

認識されたインストール: 28

追加コンサンクション:

総使用量: 28

適用 リセット

[インストール] パネルの [アクティブな時間] 列は、現在の使用期間にデバイスで製品が使用された時間を示します。

リストの上に表示される [使用期間] フィールドは、使用状況データの時間帯を決定します。この時間帯を変更するには、[アクション] > [使用時間帯の更新] の順にクリックし、次に、新しい時間帯を選択して、[OK] をクリックします。

リストをフィルタすると、使用された製品だけを表示することもできます。[検索] パネルで、[使用ステータス] フィールドを [使用あり] に設定して、[検索] をクリックします。



# 使用状況レポートの生成

# 21

ZENworks® Asset Management には、さまざまなレポートが組み込まれています。このレポートを生成して使用状況データを見ることができます。事前定義のレポートの表示に加えて、カスタムレポートを作成したり、レポートをいくつかのファイル形式にエクスポートできます。

コンプライアンスレポート情報は、ライセンス管理と契約管理のレポート情報 ([181 ページのパート VI 「レポート」](#)) と組み合わせられます。次のリストは、使用状況レポートに関する各セクションへの直接リンクを提供しています。

- ◆ すべての標準レポートとカスタムレポートの説明 : [183 ページの第 28 章「標準レポートとカスタムレポートの説明」](#)
- ◆ 標準レポートの実行方法 : [193 ページの第 31 章「標準レポートの操作」](#)
- ◆ カスタムレポートの作成 / 生成方法 : [197 ページの第 32 章「カスタムレポートの操作」](#)



# 契約

# IV

Novell® ZENworks® Asset Management では、組織のアセットに関する契約を管理できます。

- ◆ 153 ページの第 22 章「新規契約の作成」
- ◆ 157 ページの第 23 章「既存契約の操作」
- ◆ 163 ページの第 24 章「日付通知の操作」
- ◆ 171 ページの第 25 章「契約レポートの生成」



## 新規契約の作成

ZENworks® Asset Management を使用すると、組織のアセットの契約レコード (通常、単に契約と呼ぶ) を作成できます。次に、契約のステータスを監視し、さまざまな契約詳細を示すレポートを生成できます。

契約を作成するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックします。

ソフトウェア使用状況	ライセンス管理	契約管理	ドキュメント
契約管理			
名前		タイプ	
<a href="#">契約 (詳細)</a>		フォルダ	
<a href="#">日付の通知 (詳細)</a>		フォルダ	
<a href="#">契約管理レポート (詳細)</a>		フォルダ	

- 3 [契約] をクリックします。
- 4 [契約] パネルで、[新規] > [契約] の順にクリックして、[新規契約の作成] ウィザードを起動します。次の表の情報を使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

ウィザードページ	詳細
契約全般情報	<p>次のフィールドに入力します。</p> <p><b>契約 ID:</b> 契約に一意の ID を指定します。必須。</p> <p><b>名前:</b> 契約に説明的な名前を指定します。必須。</p> <p><b>説明:</b> 契約を識別する追加テキストを入力します。</p> <p><b>総コスト:</b> 開始日から終了日までの契約の総コストを指定します。このフィールドは、年間コストや関連付け (アセット、ユーザ、部署など) ごとのコストなど、契約の財務情報のベースになります。</p> <p><b>親契約:</b> この契約が別の契約に対して子関係にある場合は、[参照] ボタンをクリックして、親契約を参照し選択して、[OK] をクリックします。</p> <p><b>条件:</b> 条件を指定します。</p> <p><b>契約タイプ:</b> 14 の事前契約タイプから 1 つを選択するか、または独自のカスタムタイプを入力します。</p> <p><b>ステータス:</b> [保留中]、[アクティブ]、または [期限切れです] から選択します。独自のカスタムステータスを入力することもできます。</p> <p><b>オリジナルの開始日:</b> <input type="checkbox"/> をクリックして、契約の開始日を選択します。年間財務情報の場合、この日付と終了日は必須です。</p> <p><b>現在の終了日:</b> <input type="checkbox"/> をクリックして、契約の現在の終了日を選択します。契約に終了がない場合は、[エバーグリーン] オプションを選択します。年間財務情報の場合、この日付と終了日は必須です。</p> <p><b>更新オプション:</b> 契約が更新のオプションを含む場合は、[はい] を選択します。そうでない場合は、[いいえ] を選択します。</p> <p><b>更新規定:</b> 更新規定を指定します。</p> <p><b>通知日:</b> 契約が通知を含む場合は、<input type="checkbox"/> をクリックして、通知日を選択します。</p> <p><b>通知の説明:</b> 通知の説明を指定します。</p>
ベンダ情報	<p>フィールドにベンダ情報を指定します。フィールドごとに、既存の値を選択するか、新しい値を入力します。</p>
リース	<p>このページは、リース契約の場合のみ表示されます。契約のリース情報を指定します。</p>
新規契約の概要	<p>入力した情報を確認します。前に戻る場合は、[戻る] ボタンを使用します。</p>

- 5 [新規契約のサマリ] ページで、[作成後に詳細を設定] を選択して [完了] をクリックします。

契約が作成され、表示されます。

一般	ベンダ名	財務	SLA	リース	ドキュメント	更新	関係
<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <div style="border-bottom: 1px solid gray; padding-bottom: 5px;"> <span style="float: left;">一般</span> <span style="float: right;">▲</span> </div> <div style="padding: 5px;"> <div style="border-bottom: 1px solid gray; padding-bottom: 5px;"> <span style="float: left;">アクション ▼</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>契約ID: <input type="text" value="102"/></p> <p>名前: <input type="text"/></p> <p>説明: <input type="text"/></p> <p>総コスト: <input type="text" value="100.00"/></p> <p>親契約: <input type="text"/></p> <p>条件: <input type="text"/></p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>契約のタイプ: <input type="text" value="ソフトウェアのメンテナンス"/></p> <p>ステータス: <input type="text" value="アクティブ"/></p> <p>元の開始日: <input type="text" value="08/07/30"/></p> <p>現在の終了日: <input type="text"/></p> <p>更新オプション: <input type="text" value="はい"/></p> <p>更新規定: <input type="text"/></p> <p>通知日: <input type="text" value="08/07/31"/></p> <p>通知の説明: <input type="text"/></p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="width: 48%;"> <p><input type="checkbox"/> 日付の通知</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> エバグリーン <input type="checkbox"/> 日付の通知</p> <p>残り時間: <input type="text"/></p> </div> <div style="width: 48%;"> <p><input type="checkbox"/> 日付の通知</p> <p><input type="checkbox"/> 日付の通知</p> </div> </div> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <span>適用</span> <span>リセット</span> </div>							

**6** タブをクリックし、フィールドに入力して、契約情報を追加します。次に各タブについて説明します。

**一般**：契約の基本情報を追加します。契約作成時に設定した情報の変更に加えて、開始日、終了日、および通知日の電子メール通知をセットアップできます。方法については、[163 ページの第 24 章「日付通知の操作」](#)を参照してください。

**ベンダ名**：契約のベンダ情報を追加します。これらのフィールドは、必要に応じて変更できます。

**財務**：このページは編集できません。契約の財務データが表示されます。これらのデータは、他のページの情報から計算されます。

- ◆ 総コスト：[全般] ページで総コストが定義されている必要があります。
- ◆ 項目ごと総コスト：項目が [関係] ページに含まれている場合に表示されます。たとえば、[関係] ページで契約をライセンスエンタイトルメントと関連付けている場合は、[ライセンスされた製品ごと] フィールドに、ライセンス製品ごとの総コストが表示されます。
- ◆ 年間コスト：[全般] ページで、[元の開始日] および [現在の終了日] が定義されている必要があります。
- ◆ Annualized Cost per Item( 項目ごと年間コスト)：項目が [関係] ページに含まれている場合に表示されます。たとえば、[関係] ページで契約をライセンスエンタイトルメントと関連付けている場合は、[ライセンスされた製品ごと] フィールドに、ライセンス製品ごとの年間コストが表示されます。

**SLA**：契約の SLA( サービスレベル契約 ) を追加します。追加する SLA ごとに、サービスレベルメトリック、実際のサービスレベル、開始日、および終了日を追加できません。開始日と終了日に関する電子メール通知も設定できます。方法については、[163 ページの第 24 章「日付通知の操作」](#)を参照してください。

**リース**：契約のリース情報を追加します。日付フィールドごとに、電子メール通知を設定できます。方法については、[163 ページの第 24 章「日付通知の操作」](#)を参照してください。

**ドキュメント:** 契約にドキュメントを添付します。これには、契約またはその他の補足ドキュメントの電子コピーを使用できます。このドキュメントは、アセット管理システムにすでに追加されている必要があります。ドキュメントの追加の詳細については、[160 ページのセクション 23.5「契約へのドキュメントの追加」](#)を参照してください。

**更新:** 更新日と新しい終了日の追加により、契約を更新します。各更新レコードは、[更新履歴] リストに追加されます。

**関係:** デバイス、ユーザ、ライセンス製品、統計 ( サイト、部署、コストセンター ) に契約を関連付けます。

## 既存契約の操作

次の各セクションでは、既存契約の管理に関するタスクについて説明します。新規契約の作成については、153 ページの第 22 章「新規契約の作成」を参照してください。

- 157 ページのセクション 23.1 「契約リストの表示」
- 158 ページのセクション 23.2 「契約リストのフィルタリング」
- 159 ページのセクション 23.3 「契約フォルダの作成」
- 159 ページのセクション 23.4 「既存の契約のコピー」
- 160 ページのセクション 23.5 「契約へのドキュメントの追加」

### 23.1 契約リストの表示

すべての契約のリストを表示できます。このリストには、各契約の一般情報（ステータス、開始日、終了日など）が表示されます。

- 1 ZENworks® コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックし、次に、[契約] をクリックします。

契約							
新規 ▼ 移動... 削除 コピー...							
契約ID	名前	タイプ	ステータス	開始日	終了日	親契約ID	
<input type="checkbox"/> 00001	ACME	ソフトウェアのメンテナンス					
<input type="checkbox"/> 09987	Maintenance	ソフトウェアのメンテナンス					
<input type="checkbox"/> 99090	nov	SLA					

1 - 3/3 25 ▼ 項目の表示

各契約に関する次の情報が一覧表示されます。

**契約 ID:** 契約の識別番号。契約 ID をクリックすると、契約の詳細を表示できます。

**名前:** 契約の説明的な名前。

**タイプ:** 契約のタイプ（たとえば、リース、SLA、テクニカルサポート）。

**ステータス:** 契約のステータス。このステータスは、現在の日付と契約の開始日および終了日によって、自動的に変更されます。

- **保留中:** 現在の日付が開始日より前です。
- **アクティブ:** 現在の日付が開始日と終了日の間にあります。
- **期限切れです:** 現在の日付が終了日より後です。

**開始日:** 契約が最初に有効になる日。

**終了日:** 契約の最終有効日。

**親契約 ID:** 契約が別の契約と子関係にある場合、親契約の ID を示します。

## 23.2 契約リストのフィルタリング

[契約] リストをフィルタすると、一定の条件を満たす契約だけを表示できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックし、次に、[契約] をクリックします。

契約							
新規 ▾ 移動... 削除 コピー...							
<input type="checkbox"/> 契約ID ▲	名前	タイプ	ステータス	開始日	終了日	親契約ID	
<input type="checkbox"/> 00001	ACME	ソフトウェアのメンテナンス					
<input type="checkbox"/> 09987	Maintenance	ソフトウェアのメンテナンス					
<input type="checkbox"/> 99090	nov	SLA					

1 - 3/3 25 ▾ 項目の表示

- 3 [検索] パネル ([契約] パネルの横) で、フィルタに使用する条件を指定します。契約は、すべての条件に一致しないと表示されません。

**契約ID:** 契約ID(またはフォルダ名)に含める必要があるテキストを指定します。これは、大文字小文字を区別しない部分一致フィールドです。入力したテキストが契約IDのどこかに含まれる場合、その製品は条件に一致します。

**タイプ:** 一致の対象として、フォルダ、契約、またはその両方を選択します。

**契約タイプ:** 特定の契約タイプを選択するか、どの契約タイプにも一致する [任意] を選択します。

**契約ステータス:** 次の一致条件の1つを選択します。

- **任意:** 契約ステータスを無視します。どの契約にも一致します。
- **アクティブ:** 現在、開始日から終了日までの間の契約に一致します。
- **期限切れです:** 終了日を過ぎた契約に一致します。
- **保留中:** 開始日より前の契約に一致します。

**有効ステータス:** 次の一致条件の1つを選択します。

- **任意:** 有効ステータスを無視します。どの契約にも一致します。
- **期限切れです:** 終了日を過ぎた契約に一致します。
- **60日以内に失効します:** 現在の日付から60日以内の終了日を持つ契約に一致します。
- **60日以内には失効しません:** 現在の日付より60日後の終了日を持つ契約に一致します。

**プログラム名:** 特定のベンダプログラム名を選択するか、どのプログラム名にも一致する [任意] を選択します。

**現在の終了日:** 次の一致条件の1つを選択します。

- **任意:** 終了日を無視します。どの契約にも一致します。
- **オン:** 選択する日付と同じ終了日を持つ契約に一致します。 をクリックして、日付を選択します。
- **以前:** 選択する日付より前の終了日を持つ契約に一致します。 をクリックして、日付を選択します。
- **以降:** 選択する日付より後の終了日を持つ契約に一致します。 をクリックして、日付を選択します。

**契約フィールド:**一覧されたフィールドの1つを選択するか、[任意]を選択して条件を無視します。

**サブフォルダを含む:**現在のフォルダとそのサブフォルダを検索するには、このオプションを選択します。

- 4 [検索] をクリックして、検索条件を適用し、リストをフィルタします。

## 23.3 契約フォルダの作成

[契約] リスト内にフォルダを作成すると、契約をさらに組織化できます。すべてのフォルダは、リストのトップに表示されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [契約管理] > [契約] の順にクリックして、[契約] ページを表示します。

契約ID	名前	タイプ	ステータス	開始日	終了日	親契約ID
00001	ACME	ソフトウェアのメンテナンス				
09987	Maintenance	ソフトウェアのメンテナンス				
99090	nov	SLA				

- 2 [新規] > [フォルダ] の順にクリックし、[新規フォルダ] ダイアログボックスを表示します。
- 3 次のフィールドに入力します。
  - 名前:** フォルダの名前を指定します。名前は、同レベルの他のすべてのフォルダと契約に対して一意である必要があります。
  - フォルダ:** 新規フォルダを入れるフォルダを参照して選択します。
  - 説明:** フォルダを識別する任意の情報 (オプション) を指定します。
- 4 [OK] をクリックしてフォルダを作成します。

## 23.4 既存の契約のコピー

既存の契約をコピーして、新しい契約を作成できます。その場合、一般情報、ベンダ情報、リース情報、およびドキュメントは、コピーに保持されます。日付情報は、すべて削除されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [契約管理] > [契約] の順にクリックして、[契約] ページを表示します。

契約ID	名前	タイプ	ステータス	開始日	終了日	親契約ID
00001	ACME	ソフトウェアのメンテナンス				
09987	Maintenance	ソフトウェアのメンテナンス				
99090	nov	SLA				

- 2 [契約] パネルで、コピーする契約の隣のチェックボックスをオンにして、[コピー] をクリックして、[契約のコピー] ダイアログボックスを表示します。

契約のコピー

新しい契約の値を入力します。

契約ID: 00001(1)

名前: ACME(1)

親契約:  親なし  
 ソース契約(00001)

OK キャンセル

- 3 次のフィールドに入力します。

**契約 ID:** 契約の新しい ID を指定します。契約 ID は、フォルダ内の契約 ID と同じものにはできません。

**名前:** 契約の新しい名前を指定します。

**親契約:** この契約の親としてソース契約を指定するには、[ソース契約] を選択します。この契約の親としてソース契約の親を指定するには、[ソースと同じ親] を選択します。それ以外の場合は、[親なし] を選択します。

他の契約を親として指定する必要がある場合は、契約を作成して編集できます。この時点では、既存の契約を選択できます。

- 4 [OK] をクリックして新規契約を作成して、[契約] リストに追加します。

## 23.5 契約へのドキュメントの追加

多くの物理的な契約には、物理ドキュメントが関連付けられています。アセット管理システム内で契約とともに物理ドキュメントを保持するために、ドキュメントの電子バージョンを契約に追加できます。

次の手順では、電子ドキュメントをすでにアセット管理システムにアップロードしていると想定しています。そうでない場合は、[173 ページのパート V 「文書」](#) を参照してください。

ドキュメントを契約に追加するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [契約管理] > [契約] の順にクリックして、[契約] ページを表示します。

契約							
新規 ▾ 移動... 削除 コピー...							
<input type="checkbox"/>	契約ID ▲	名前	タイプ	ステータス	開始日	終了日	親契約ID
<input type="checkbox"/>	<a href="#">00001</a>	ACME	ソフトウェアのメンテナンス				
<input type="checkbox"/>	<a href="#">09987</a>	Maintenance	ソフトウェアのメンテナンス				
<input type="checkbox"/>	<a href="#">99090</a>	nov	SLA				

1 - 3/3 25 ▼ 項目の表示

- 2 該当する契約をクリックします。
- 3 [ドキュメント] タブをクリックします。

ドキュメント							
追加 削除							
<input type="checkbox"/>	ドキュメントID ▲	ファイル名	添付日	ファイルタイプ	ファイルサイズ(KB)	説明	添付者
使用できる項目がありません。							

- 4 [ドキュメント] パネルで、[追加] をクリックします。
- 5 追加するドキュメントを参照して選択し、[OK] をクリックしてドキュメントを [ドキュメント] リストに追加します。



## 日付通知の操作

契約には、追跡対象として重要な多数の日付が含まれています。たとえば、いつ契約が失効しそうか、いつリースしたハードウェアが配送される予定か知りたいことがあります。この追跡プロセスを自動化するため、重要な日付に関する電子メール通知を有効にできます。

次の各セクションでは、日付通知の作成と管理に役立つ情報を提供します。

- ◆ 163 ページのセクション 24.1 「電子メールサーバの指定」
- ◆ 163 ページのセクション 24.2 「デフォルト設定の設定」
- ◆ 165 ページのセクション 24.3 「契約への日付通知の追加」
- ◆ 166 ページのセクション 24.4 「日付の通知リストの表示」
- ◆ 167 ページのセクション 24.5 「日付通知リストのフィルタリング」
- ◆ 168 ページのセクション 24.6 「日付の通知フォルダの作成」
- ◆ 168 ページのセクション 24.7 「日付通知の移動」
- ◆ 168 ページのセクション 24.8 「日付通知の削除」

### 24.1 電子メールサーバの指定

日付通知を送信するには、ZENworks® システムに、電子サーバとして SMTP サーバが指定されている必要があります。[環境設定] > [管理ゾーンの設定] > [イベントとメッセージング] > [SMTP 設定] ページの順に選択して、電子メールサーバを設定します。

### 24.2 デフォルト設定の設定

契約の日付に関する通知を作成する前に、デフォルトの日付通知設定を設定する必要があります。日付通知を作成すると、通知にデフォルト設定が入力されます。その後は、必要に応じて、設定をカスタマイズできます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [契約管理] > [日付の通知] の順に選択します。

日付の通知						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/>	名前	フィールド	ステータス	送信済み	エラー	最終 次
<input checked="" type="checkbox"/>	102 - (詳細)		0			8/7/07 9/6/07
1 - 1/1						25 ▾ 項目の表示

- 2 [アクション] > [デフォルト日付通知設定] の順にクリックします。

3 次のフィールドのデフォルトを設定します。

**Number of days before date to send notification( 通知が送信されるまでの日数 ):** 通知のリードタイムを指定します。

**通知の繰り返し:** 通知を繰り返すには、このオプションを選択し、次に、頻度 ( [月]、[週]、または [毎日] ) と回数を選択します。たとえば、90 日のリードタイムを指定した場合は、[通知の繰り返し] フィールドを [月] に設定し、[繰り返しの回数] フィールドを [3] に設定することによって、通知を毎月繰り返すことができます。

**完了時に通知記録を削除:** このオプションを使用すると、通知の全インスタンスの送信後に通知が削除されます。

**送信者:** 電子通知の [送信者] フィールドに表示したい電子メールアドレスを指定します。

**受信者:** 少なくとも 1 つのデフォルト受信者を追加する必要があります。そのためには、このフィールドを使用するか、[追加受信者] を使用します。

[連絡先] リストにアドレスが含まれている場合は、アドレスを選択して [受信者] リストに移動します。電子メールアドレスは、インベントリデータからインポートされた場合のみ、[連絡先] リストに表示されます (『ZENworks 10 Configuration Management アセットインベントリリファレンス』の「“Configuring E-mail Addresses”」を参照してください。)

**追加受信者:** 少なくとも 1 つのデフォルト受信者を追加する必要があります。そのためには、このフィールドを使用するか、[受信者] フィールドを使用します。このフィールドを使用するには、少なくとも 1 つのアドレスを指定します (たとえば、pjones@novell.com)。アドレスは、カンマで区切ってください。

4 [OK] をクリックします。

## 24.3 契約への日付通知の追加

契約には、通知を設定できる次の日付フィールドが含まれます。

- ◆ 全般ページ: [元の開始日]、[現在の終了日]、[通知日]
- ◆ SLA ページ: [開始日]、[終了日]
- ◆ リースページ: [注文日]、[出荷日]、[納品日]、[署名日]、[検査日]、[受諾日]

日付フィールドに日付通知を追加するには、次の手順に従います。

- 1 通知を追加する日付フィールドを見つけます。
- 2 [日付の通知] の横にあるチェックボックスをクリックして、[新規の日付の通知] ダイアログボックスを表示します。

新規の日付の通知

通知名: Contract 124 - 現在の終了日

ソース契約: Contract 124

日付フィールド: 現在の終了日

通知を送信するまでの日数: 90

通知の繰り返し: 月

繰り返しの回数: 3

完了時に通知記録を削除

メッセージの件名: Contract 124 - 現在の終了日: 12/10/01

メッセージコンテンツ: これは、次の契約情報に関するZENworks Asset Managementからの通知です:  
契約ID: Contract 124  
名前: Novell Lease Agreement  
説明:  
現在の終了日: 12/10/01

送信者: ZENworks Administrator

受信者: 連絡先 > 宛先 dvandenbos@novell.com

追加受信者:

OK キャンセル

- 3 次のデフォルト設定を変更します。

**通知名:** 日付通知は [日付の通知] リストに追加されます。これは、リスト内で通知を識別する名前です。デフォルトの名前には、契約 ID フィールドと日付フィールドが含まれています。必要に応じて、異なる名前を指定します。

**ソース契約:** ソース契約の契約 ID。

**日付フィールド:** 通知の適用先の日付フィールド。

**Number of days before date to send notification( 通知が送信されるまでの日数):** 通知のリードタイムを指定します。

**通知の繰り返し:** 通知を繰り返すには、このオプションを選択し、次に、頻度 ( [月]、[週]、または [毎日] ) と回数を選択します。たとえば、90 日のリードタイムを指定した場合は、[通知の繰り返し] フィールドを [月] に設定し、[繰り返しの回数] フィールドを [3] に設定することによって、通知を毎月繰り返すことができます。

**完了時に通知記録を削除:** このオプションを使用すると、通知の全インスタンスの送信後に通知が削除されます。

**メッセージの件名:** デフォルトのメッセージ件名には、ソース契約と日付のフィールドが含まれています。必要に応じて、異なる件名を指定します。

**メッセージコンテンツ:** デフォルトのメッセージコンテンツは、契約とイベントを識別します。メッセージコンテンツは、必要に応じて変更できます。

**送信者:** 電子通知の [送信者] フィールドに表示したい電子メールアドレスを指定します。

**受信者:** 少なくとも 1 つのデフォルト受信者を追加する必要があります。そのためには、このフィールドを使用するか、[追加受信者] を使用します。

[連絡先] リストにアドレスが含まれている場合は、アドレスを選択して [受信者] リストに移動します。電子メールアドレスは、インベントリデータからインポートされた場合のみ、[連絡先] リストに表示されます (『ZENworks 10 Configuration Management アセットインベントリリファレンス』の「“Configuring E-mail Addresses”」を参照してください。)

**追加受信者:** 少なくとも 1 つのデフォルト受信者を追加する必要があります。そのためには、このフィールドを使用するか、[受信者] フィールドを使用します。このフィールドを使用するには、少なくとも 1 つのアドレスを指定します (たとえば、pjones@novell.com)。アドレスは、カンマで区切ってください。

4 [OK] をクリックして、デフォルト通知を作成します。


[日付の通知] チェックボックスが有効になります。さらに、通知記録が [日付の通知] リストに追加されます ( [環境設定] > [契約管理] > [日付の通知] )。リストの詳細については、166 ページのセクション 24.4 「日付の通知リストの表示」を参照してください。

5 [適用] をクリックして変更内容を契約に保存します。

## 24.4 日付の通知リストの表示

すべての日付通知のリストを表示できます。このリストには、各通知の一般情報 (通知のステータス、送信回数、次に予定されている送信時間など) が表示されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [契約管理] の順にクリックします。
- 2 [日付の通知] をクリックします。

日付の通知						
新規 ▼ 移動... 削除 アクション ▼						
<input type="checkbox"/>	名前	フィールド	ステータス	送信済み	エラー	最終 次
<input type="checkbox"/>	 102 - [詳細]		0			8/7/07 9/6/07
1 - 1/1						25 ▼ 項目の表示

各通知に関する次の情報が一覧表示されます。

**名前:** 日付通知を適用する契約の ID。契約 ID をクリックすると、契約の詳細を表示できます。

**フィールド:** 通知の適用先の日付フィールド。

**ステータス:** 日付通知のステータス。

- **保留中:** 最初の通知メッセージがまだ送信されていません。
- **進行中:** 1 つ以上の通知メッセージが送信され、送信予定のメッセージが存在します。
- **完了:** スケジュールされたすべての通知メッセージが送信されました。
- **使用不可:** 日付の通知がアクティブではなくなりました。

**送信済み:** 送信された通知メッセージの数。

**エラー:** エラーになった送信済み通知メッセージの数。電子メールサーバが指定済みで ([環境設定] > [管理ゾーンの設定] > [イベントとメッセージング] > [SMP 設定])、受信者が有効であることを確認する必要があります。

**最終:** 最後の通知メッセージの送信試行日。

**次:** 次の通知メッセージが試行される日付。

## 24.5 日付通知リストのフィルタリング

[日付の通知] リストをフィルタすると、一定の条件を満たす通知だけを表示できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [契約管理] > [日付の通知] の順にクリックします。

日付の通知							
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾							
<input type="checkbox"/>	名前	フィールド	ステータス	送信済み	エラー	最終	次
<input type="checkbox"/>	 102 - [詳細]		0			8/7/07	9/6/07

1 - 1/1 25 ▾ 項目の表示

- 2 [検索] パネル ([日付の通知] パネルの横) で、フィルタに使用する条件を入力します。通知は、すべての条件に一致しないと表示されません。

**名前:** 通知名 (またはフォルダ名) に含める必要があるテキストを指定します。これは、大文字小文字を区別しない部分一致フィールドです。入力したテキストが名前のどこかに含まれる場合、その通知は条件に一致します。

**タイプ:** 一致の対象として、フォルダ、日付通知、またはその両方を選択します。

**ステータス:** 一致させるステータスを選択するか、どのステータスにも一致する [任意] を選択します。


**サブフォルダを含む:** 現在のフォルダとそのサブフォルダを検索するには、このオプションを選択します。

- 3 [検索] をクリックして、検索条件を適用し、リストをフィルタします。

## 24.6 日付の通知フォルダの作成

[日付の通知] リスト内にフォルダを作成すると、通知をさらに組織化できます。すべてのフォルダは、リストのトップに表示されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [契約管理] > [日付の通知] の順に選択します。


日付の通知							
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾							
<input type="checkbox"/>	名前	フィールド	ステータス	送信済み	エラー	最終	次
<input type="checkbox"/>	 102 - (詳細)		0			8/7/07	9/6/07
◀ ▶ 1 - 1/1							25 ▾ 項目の表示

- 2 [日付の通知] パネルで、[新規] > [フォルダ] の順にクリックし、[新規フォルダ] ダイアログボックスを表示します。
- 3 次のフィールドに入力します。  
**名前:** フォルダの名前を指定します。名前は、同レベルの他のすべてのフォルダと通知に対して一意である必要があります。  
**フォルダ:** 新規フォルダを入れるフォルダを参照して選択します。  
**説明:** フォルダを識別する任意の情報 (オプション) を指定します。
- 4 [OK] をクリックしてフォルダを作成します。

## 24.7 日付通知の移動

日付の通知は、[日付の通知] リスト内の1つのフォルダから別のフォルダに移動できます。








- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [契約管理] > [日付の通知] の順に選択します。

日付の通知							
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾							
<input type="checkbox"/>	名前	フィールド	ステータス	送信済み	エラー	最終	次
<input type="checkbox"/>	 102 - (詳細)		0			8/7/07	9/6/07
◀ ▶ 1 - 1/1							25 ▾ 項目の表示

- 2 移動する通知を選択します。
- 3 [移動] をクリックして、[日付の通知の移動] ダイアログボックスを表示します。
- 4 ターゲットフォルダを参照および選択して、[OK] をクリックします。

## 24.8 日付通知の削除

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [契約管理] > [日付の通知] の順に選択します。

日付の通知						
 新規 ▾  移動...  削除  アクション ▾						
<input type="checkbox"/>	名前	フィールド	ステータス	送信済み	エラー	最終 次
<input type="checkbox"/>	 102 - <a href="#">(詳細)</a>		0			8/7/07 9/6/07
  1 - 1/1						25 ▾ 項目の表示

- 2 削除する通知の横にあるチェックボックスをオンにします。
- 3 **[削除]** をクリックし、次に **[OK]** をクリックして削除を確認します。

日付通知は、該当する日付フィールドに関連付けられた **[日付の通知]** チェックボックスの選択解除によっても、削除できます。たとえば、契約の **[全般]** ページにある **[現在の終了日]** フィールドの **[日付の通知]** チェックボックスを選択解除すると、現在の終了日の通知を削除できます。



# 契約レポートの生成

# 25

ZENworks® Asset Management には、さまざまなレポートが組み込まれています。このレポートを生成して契約データを見ることができます。事前定義のレポートの表示に加えて、カスタムレポートを作成したり、レポートをいくつかのファイル形式にエクスポートできます。

契約レポート情報は、ソフトウェア使用状況および契約管理のレポート情報 (181 ページのパート VI 「レポート」) と組み合わせられます。次のリストは、コンプライアンスレポートに関する各セクションへの直接リンクを提供します。

- ◆ すべての標準レポートとカスタムレポートの説明 :183 ページの第 28 章「標準レポートとカスタムレポートの説明」
- ◆ 標準レポートの実行方法 :193 ページの第 31 章「標準レポートの操作」
- ◆ カスタムレポートの作成 / 生成方法 :197 ページの第 32 章「カスタムレポートの操作」



# 文書



Novell® ZENworks® Asset Management を使用すると、ドキュメントファイルをアップロードし、ライセンス製品、契約、および購入概要レコードと関連付けることができます。

- ◆ [175 ページの第 26 章「ドキュメントのアップロード」](#)
- ◆ [177 ページの第 27 章「ドキュメントの操作」](#)



# ドキュメントのアップロード

# 26

ドキュメントは、ライセンス製品、契約、または購入概要レコードに追加する前に、アセット管理システムにアップロードする必要があります。アップロードされたドキュメントは、ZENworks® データベースに保存されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ドキュメント] の順にクリックします。

ドキュメントID	ファイル名	ファイルタイプ	ファイルサイズ(KB)	作成日	説明	添付物	ローカルパス	ソースの場所	アップロード日	アップロード者
100.1	Dobe TLP	txt	4	03/12/01	Dobe TLP	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin
190	MS Select 6.0 Agreement	pdf	128	05/05/01	MS Select Agreement	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin
200.1	mia_70_nalaap_eng	pdf	209	04/10/31	Novell MLA	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin
300.1	GE master lease	txt	23	05/01/01	GE Master Lease Agreement	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin
300.2	GE Master Lease ExhibitA	txt	66	06/01/01	GE Lease Schedule A	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin
400.1	Dell Service Agreement	pdf	273	06/11/01	Dell Server Agreement	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin

- 2 [ドキュメント] パネルで、[新規] > [ドキュメントのアップロード] の順にクリックして、[新規ドキュメントのアップロード] ウィザードを起動します。次の表の情報をを使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

ウィザードページ	詳細
追加するドキュメント ファイルを指定する	[ファイル名] フィールドでファイルを指定するか、または [ブラウズ] をクリックして検索します。
ドキュメントファイル情報	次のフィールドに入力します。 <b>ドキュメント ID:</b> ファイル ID を指定します。 <b>ローカルパス:</b> ファイルのパスを表示します。 <b>ソースの場所:</b> ソースファイルの場所を指定します。 <b>現在日:</b> カレンダーアイコンをクリックして、日付を選択します。 <b>説明:</b> 必要に応じて、説明を追加します。
新規ドキュメントの概要	入力したデータを確認します。修正する場合は、[戻る] ボタンを使用します。

- 3 [終了] をクリックして、ドキュメントをアップロードします。



次の各セクションでは、既存ドキュメントの管理に関するタスクについて説明します。アセット管理システムへのドキュメントの追加については、175 ページの第 26 章「ドキュメントのアップロード」を参照してください。

- 177 ページのセクション 27.1 「ドキュメントリストの表示」
- 178 ページのセクション 27.2 「ドキュメントリストのフィルタリング」
- 178 ページのセクション 27.3 「ドキュメントフォルダの作成」
- 179 ページのセクション 27.4 「ライセンス製品、契約、および購入概要レコードへのドキュメントの添付」

## 27.1 ドキュメントリストの表示

すべてのドキュメントのリストを表示できます。このリストには、各ドキュメントの一般情報 (ドキュメントの名前、ファイルタイプ、アップロード日、ドキュメントをライセンス製品、契約、または購入概要レコードに関連付けるかどうかなど) が表示されます。

- 1 ZENworks® コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 [ドキュメント] タブをクリックします。

ドキュメント ID	ファイル名	ファイルタイプ	ファイルサイズ(KB)	現在日	説明	添付物	ローカルパス	ソースの場所	アップロード日	アップロード者
100.1	Dube TLP	txt	4	03/12/01	Dobe TLP	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin
190	MS Select 6.0 Agreement	pdf	128	05/05/01	MS Select Agreement	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin
200.1	mla_70_nalaap_eng	pdf	209	04/10/31	Novell MLA	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin
300.1	GE master lease	txt	23	05/01/01	GE Master Lease Agreement	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin
300.2	GE Master Lease Exhibit A	txt	66	06/01/01	GE Lease Schedule A	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin
400.1	Dell Service Agreement	pdf	273	06/11/01	Dell Server Agreement	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin

各ドキュメントに関する次の情報が一覧表示されます。

**ドキュメント ID:** ドキュメントに指定された識別番号。ドキュメント ID をクリックすると、ドキュメントの詳細を表示できます。

**ファイル名:** ドキュメントのファイル名。

**ファイルタイプ:** ドキュメントのファイル拡張子。

**ファイルサイズ (KB):** ドキュメントのファイルサイズ (キロバイト単位)。

**現在日:** ドキュメントのアップロード時に入力されたドキュメントの最終編集日

**説明:** ドキュメントのアップロード時に入力された説明文。

**添付物:** ドキュメントがライセンス製品、契約、または購入概要レコードと関連付けられている場合は、チェックマークが付きます。

**ローカルパス:** ドキュメントのローカルパス。


**ソースの場所:** ドキュメントのアップロード時に入力されたドキュメントソースの場所。

**アップロード日:** ドキュメントがアップロードされた日付。

## 27.2 ドキュメントリストのフィルタリング

[ドキュメント] リストをフィルタすると、一定の条件を満たすドキュメントだけを表示できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ドキュメント] の順にクリックします。



ドキュメントID	ファイル名	ファイルタイプ	ファイルサイズ(KB)	掲載日	説明	添付物	ローカルパス	ソースの場所	アップロード日	アップロード者
100.1	Dobe TLP	txt	4	03/12/01	Dobe TLP	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin
190	MS Select 6.0 Agreement	pdf	128	05/05/01	MS Select Agreement	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin
200.1	mia_70_nalaap_eng	pdf	209	04/10/31	Novell MLA	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin
300.1	GE master lease	txt	23	05/01/01	GE Master Lease Agreement	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin
300.2	GE Master Lease Exhibits	txt	66	06/01/01	GE Lease Schedule A	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin
400.1	Dell Service Agreement	pdf	273	06/11/01	Dell Server Agreement	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents\Laforge		10/04/21	EntAdmin

- 2 [検索] パネル ([ドキュメント] パネルの横) で、フィルタに使用する条件を指定します。契約は、すべての条件に一致しないと表示されません。

**ドキュメント ID:** ドキュメント ID(またはフォルダ名)に含める必要があるテキストを指定します。これは、大文字小文字を区別しない部分一致フィールドです。入力したテキストがドキュメント ID のどこかに含まれる場合、その製品は条件に一致します。

**ファイル名:** ファイル名に含める必要があるテキストを指定します。これは、大文字小文字を区別しない部分一致フィールドです。入力したテキストがファイル名のどこかに含まれる場合、その製品は条件に一致します。

**タイプ:** 一致の対象として、フォルダ、ドキュメント、またはその両方に一致させるかどうかを選択します。

**ファイルタイプ:** 特定のファイルタイプを選択するか、どのファイルタイプにも一致する [任意] を選択します。

**添付ファイルステータス:** 次の一致条件の 1 つを選択します。

- **任意:** 添付ファイルステータスを無視します。どのドキュメントにも一致します。
- **添付物:** ライセンス製品、契約、または購入概要レコードと関連付けられたドキュメントに一致します。
- **未添付:** ライセンス製品、契約、購買記録のどれにも関連付けられていないドキュメントに一致します。

**サブフォルダを含む:** 現在のフォルダとそのサブフォルダを検索するには、このオプションを選択します。

- 3 [検索] をクリックして、検索条件を適用し、リストをフィルタします。

## 27.3 ドキュメントフォルダの作成

[ドキュメント] リスト内にフォルダを作成すると、契約をさらに組織化できます。すべてのフォルダは、リストのトップに表示されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ドキュメント] の順にクリックします。

ドキュメント											
新規・移動・削除											
<input type="checkbox"/>	ドキュメントID	ファイル名	ファイルタイプ	ファイルサイズ(KB)	掲載日	説明	添付物	ローカルパス	ソースの場所	アップロード日	アップロード者
<input type="checkbox"/>	100.1	Dobe TLP	txt	4	03/12/01	Dobe TLP	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents Laforge		10/04/21	EntAdmin
<input type="checkbox"/>	190	MS Select 6.0 Agreement	pdf	128	05/05/01	MS Select Agreement	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents Laforge		10/04/21	EntAdmin
<input type="checkbox"/>	200.1	m1a_70_nalaap_eng	pdf	209	04/10/31	Novell MLA	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents Laforge		10/04/21	EntAdmin
<input type="checkbox"/>	300.1	GE master lease	txt	23	05/01/01	GE Master Lease Agreement	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents Laforge		10/04/21	EntAdmin
<input type="checkbox"/>	300.2	GE Master Lease ExhibitA	txt	66	06/01/01	GE Lease Schedule A	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents Laforge		10/04/21	EntAdmin
<input type="checkbox"/>	400.1	Dell Service Agreement	pdf	273	06/11/01	Dell Server Agreement	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents Laforge		10/04/21	EntAdmin

- [ドキュメント] パネルで、[新規] > [フォルダ] の順にクリックし、[新規フォルダ] ダイアログボックスを表示します。
- 次のフィールドに入力します。  
**名前:** フォルダの名前を指定します。名前は、同レベルの他のすべてのフォルダとドキュメントに対して一意である必要があります。  
**フォルダ:** 新規フォルダを入れるフォルダを参照して選択します。  
**説明:** フォルダを識別する任意の情報 (オプション) を指定します。
- [OK] をクリックしてフォルダを作成します。

## 27.4 ライセンス製品、契約、および購入概要レコードへのドキュメントの添付

- ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] > [ドキュメント] の順にクリックします。

ドキュメント											
新規・移動・削除											
<input type="checkbox"/>	ドキュメントID	ファイル名	ファイルタイプ	ファイルサイズ(KB)	掲載日	説明	添付物	ローカルパス	ソースの場所	アップロード日	アップロード者
<input type="checkbox"/>	100.1	Dobe TLP	txt	4	03/12/01	Dobe TLP	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents Laforge		10/04/21	EntAdmin
<input type="checkbox"/>	190	MS Select 6.0 Agreement	pdf	128	05/05/01	MS Select Agreement	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents Laforge		10/04/21	EntAdmin
<input type="checkbox"/>	200.1	m1a_70_nalaap_eng	pdf	209	04/10/31	Novell MLA	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents Laforge		10/04/21	EntAdmin
<input type="checkbox"/>	300.1	GE master lease	txt	23	05/01/01	GE Master Lease Agreement	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents Laforge		10/04/21	EntAdmin
<input type="checkbox"/>	300.2	GE Master Lease ExhibitA	txt	66	06/01/01	GE Lease Schedule A	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents Laforge		10/04/21	EntAdmin
<input type="checkbox"/>	400.1	Dell Service Agreement	pdf	273	06/11/01	Dell Server Agreement	<input checked="" type="checkbox"/>	C:\data\Documents Laforge		10/04/21	EntAdmin

- ドキュメント ID をクリックします。
- [関係] タブをクリックします。
- [契約] パネル、[ライセンスエンタイトルメント] パネル、または [購入概要レコード] パネルで、[追加] をクリックします。
- 残りのプロンプトに従って、ドキュメントを追加します。



# レポート

# VI

Novell® ZENworks® Asset Management には、アセットに関連付けられたデータの分析に役立つさまざまな標準レポートが用意されています。標準レポートに必要な情報が含まれない場合は、カスタムレポートを作成できます。

- ◆ 183 ページの第 28 章「標準レポートとカスタムレポートの説明」
- ◆ 189 ページの第 29 章「レポート権限の設定」
- ◆ 191 ページの第 30 章「レポート設定の設定」
- ◆ 193 ページの第 31 章「標準レポートの操作」
- ◆ 197 ページの第 32 章「カスタムレポートの操作」
- ◆ 209 ページの第 33 章「ZENworks Reporting Server レポートの操作」



# 標準レポートとカスタムレポートの 説明

ZENworks® コントロールセンターには、管理ゾーンでアセット管理データを分析する際に役立つさまざまな標準(事前定義)レポートとカスタムレポートが含まれています。次の各セクションでは、利用可能なレポートについて説明します。

- ◆ [183 ページのセクション 28.1 「ライセンス管理レポート」](#)
- ◆ [184 ページのセクション 28.2 「ソフトウェア使用状況レポート」](#)
- ◆ [187 ページのセクション 28.3 「契約管理レポート」](#)

ZENworks Reporting Server をインストールしている場合は、追加の Asset Management レポートにアクセスできます。詳細については、[209 ページの第 33 章「ZENworks Reporting Server レポートの操作」](#)を参照してください。

## 28.1 ライセンス管理レポート

ライセンス管理レポートでは、ライセンスコンプライアンスとライセンス割り当てのデータを分析できます。

- ◆ [183 ページのセクション 28.1.1 「標準レポート」](#)
- ◆ [184 ページのセクション 28.1.2 「カスタムレポートのサンプル」](#)

### 28.1.1 標準レポート

フォルダ	レポート	説明
ソフトウェアコンプライアンス	コンプライアンスレポート	すべてのライセンス製品のコンプライアンスステータスを表示します。未調整のカatalog製品と検出製品の数などの一般詳細を含みます。ライセンス製品ごとに、ライセンス数、インストール数、アクティブな使用数、未使用のインストールなどの詳細を含みます。
ソフトウェアコンプライアンス	ステータスサマリー	ライセンス製品、総数、購入記録、Catalog製品、および検出製品の総数の概要を表示します。
未調整の製品	Catalog製品	ライセンス製品に関連付けのないCatalog製品を表示します。
未調整の製品	検出された製品	ライセンス製品に関連付けのない検出製品を表示します。
購入	購入の概要	購入数や平均購入価格などの基本情報を含む、製品別購入レコードを表示します。
購入	購入詳細	販売者、製品、バージョン、購入数、購入価格((ユニット MSRP、単価、総額)などの詳細を含む、注文書/請求書別購入レコードを表示します。

フォルダ	レポート	説明
スイート	スイート / コンポーネント	検出されたスイートとそのコンポーネント製品を表示します。スイートに関連付けられたインストール数と個々のコンポーネント製品に関連付けられたインストール数を含みます。
スイート	スタンドアロンコンポーネント	スイートなしでインストールされたスイートコンポーネントを表示します。インストール数とスタンドアロンコンポーネントが関連付けられているライセンス製品を含みます。
その他のレポート	インベントリの比較	マップ先の検出製品とともに、すべてのインベントリ製品 (インベントリスキャンで検出製品) を表示します。インストール数、スタンドアロンインストールとスイートコンポーネントインストールの数、インベントリ製品をライセンスコンプライアンスから除外するかどうかなどの詳細を含みます。
その他のレポート	ソフトウェア標準	すべての検出製品とその製品に割り当てられた標準カテゴリを表示します。

## 28.1.2 カスタムレポートのサンプル

フォルダ	レポート	説明
ソフトウェアコンプライアンス	除外カタログ製品	ライセンスコンプライアンスから除外されているカタログ製品を表示します。
ソフトウェアコンプライアンス	除外検出製品	ライセンスコンプライアンスから除外されているカタログ製品を表示します。
ソフトウェアコンプライアンス	非適合のライセンスレコード	コンプライアンスが [不明] または [以下] (ライセンス数が不足) のライセンス製品を表示します。
ソフトウェアコンプライアンス	未調整検出製品	ライセンス製品との関連付けがなく、ライセンスコンプライアンスから除外されていない検出製品を表示します。

## 28.2 ソフトウェア使用状況レポート

ソフトウェア使用状況レポートは、ZENworks 管理ゾーンのデバイス上のローカルアプリケーション、サービスアプリケーション、および Web アプリケーションの使用状況の分析に役立ちます。

- ◆ [185 ページのセクション 28.2.1 「標準レポート」](#)
- ◆ [186 ページのセクション 28.2.2 「カスタムレポートのサンプル」](#)

## 28.2.1 標準レポート

フォルダ	レポート	説明
アプリケーション使用状況	製品ごとのアプリケーション使用状況 (全体)	ローカルおよびサービスアプリケーションの使用状況 (全体) が製品ごとにまとめて表示されます。
アプリケーション使用状況	ユーザごとのアプリケーション使用状況 (全体)	ローカルおよびサービスアプリケーションの使用状況 (全体) がユーザごとにまとめて表示されます。
アプリケーション使用状況	デバイスごとのアプリケーション使用状況 (全体)	ローカルおよびサービスアプリケーションの使用状況 (全体) がデバイスごとにまとめて表示されます。
アプリケーション使用状況	デバイスごとのアプリケーション使用状況 (全体)	ローカルおよびサービスアプリケーションの使用状況 (全体) がデバイスごとにまとめて表示されます。
アプリケーション使用状況	ユーザごとのアプリケーション使用状況 (ローカル)	ローカルアプリケーションの使用状況がユーザごとにまとめて表示されます。
アプリケーション使用状況	デバイスごとのローカルアプリケーションの使用状況	ローカルアプリケーションの使用状況がデバイスごとにまとめて表示されます。
アプリケーション使用状況	製品ごとのサービスアプリケーション使用状況	サービスアプリケーションの使用状況が製品ごとにまとめて表示されます。
アプリケーション使用状況	サーバごとのサービスアプリケーション使用状況	サービスアプリケーションの使用状況がサーバごとにまとめて表示されます。
アプリケーション使用状況	ユーザごとのサービスアプリケーション使用状況	サービスアプリケーションの使用状況がユーザごとにまとめて表示されます。
アプリケーション使用状況	デバイスごとのサービスアプリケーション使用状況	サービスアプリケーションの使用状況がデバイスごとにまとめて表示されます。
アプリケーション使用状況	使用状況収集履歴	データ収集の履歴が表示されます。
Web アプリケーション使用状況	アプリケーションごとの Web アプリケーション使用状況	Web アプリケーションの使用状況がアプリケーションごとにまとめて表示されます。
Web アプリケーション使用状況	ユーザごとの Web アプリケーション使用状況	Web アプリケーションの使用状況がユーザごとにまとめて表示されます。
Web アプリケーション使用状況	デバイスごとの Web アプリケーション使用状況	Web アプリケーションの使用状況がデバイスごとにまとめて表示されます。

フォルダ	レポート	説明
ソフトウェアファイルの使用状況	カテゴリごとのソフトウェアファイル使用状況	ソフトウェアファイルは、ZENworks Knowledgebase に認識されないの、検出製品にマップされない製品を表します。  ファイルのリストへのリンクとともに、ソフトウェアファイルの数がカテゴリ ( [すべて]、[その他]、および [補助] ) ごとにまとめて表示されます。
ソフトウェアファイルの使用状況	製造元ごとのソフトウェアファイル使用状況	製造元によってグループ分けされたソフトウェアファイルのカウンをファイルのリストへのリンクと一緒に表示します。
ソフトウェアファイルの使用状況	デバイスごとのソフトウェアファイル使用状況	デバイスによってグループ分けされたソフトウェアファイルのカウンをファイルのリストへのリンクと一緒に表示します。
ネットワークソフトウェアの使用状況	製品ごとのネットワークソフトウェア使用状況	ネットワークソフトウェアの使用状況が製品ごとにまとめて表示されます。
ネットワークソフトウェアの使用状況	サーバごとのネットワークソフトウェア使用状況	ネットワークソフトウェアの使用状況がサーバごとにまとめて表示されます。
ネットワークソフトウェアの使用状況	ユーザごとのネットワークソフトウェア使用状況	ネットワークソフトウェアの使用状況がユーザごとにまとめて表示されます。
ネットワークソフトウェアの使用状況	デバイスごとのネットワークソフトウェア使用状況	ネットワークドライブから起動されたソフトウェアにフォーカスした使用状況レポート。
すべての使用状況	ユーザごとのすべての使用状況	すべての使用状況がユーザごとにまとめて表示されま
すべての使用状況	デバイスごとのすべての使用状況	すべての使用状況がデバイスごとにまとめて表示されま

## 28.2.2 カスタムレポートのサンプル

フォルダ	レポート	説明
ソフトウェアアプリケーション使用状況	Software Applications Not Used in 90 Days (過去 90 日間使用されていないソフトウェアアプリケーション)	過去 90 日間に使用されていないアプリケーションが表示されます。
ソフトウェアアプリケーション使用状況	仮想マシン上でのソフトウェア使用状況	仮想マシン上でのソフトウェア使用状況を表示します。

フォルダ	レポート	説明
ソフトウェアアプリケーション使用状況	Workstations with Suspicious Software Used Within 7 Days (過去7日間に使用された不審なソフトウェアのあるワークステーション)	過去7日間に使用された疑わしいソフトウェア(マルウェア)のあるワークステーションを表示します。

## 28.3 契約管理レポート

契約管理レポートを使用すると、主要な財務情報、サービスレベル契約、更新日付などの視点から契約データを分析できます。

- ◆ [187 ページのセクション 28.3.1 「標準レポート」](#)
- ◆ [188 ページのセクション 28.3.2 「カスタムレポートのサンプル」](#)

### 28.3.1 標準レポート

フォルダ	レポート	説明
契約管理レポート	一般契約	ステータス(アクティブまたは失効)、契約期間、総コスト、ベンダなどの一般契約情報を含む契約のリストを表示します。
契約管理レポート	日付の詳細	契約の開始日と終了日、残り時間、契約に更新オプションがあるかないかなどの日付情報を含む契約のリストを表示します。
契約管理レポート	ベンダの詳細	名前、アカウント番号、契約などのベンダ情報を含む契約のリストを表示します。
契約管理レポート	財務の詳細	総コスト(全体)、統計別総コスト(部署、サイト、およびコストセンター)などの財務情報を含む契約のリストを表示します。年間コストも表示します。
契約管理レポート	SLAの詳細	契約期間、メトリックなどのサービスレベル契約の情報を含む契約のリストを表示します。
契約管理レポート	リース詳細	注文日、保証規定、リース終了規定などの主要リース情報を含む契約のリストを表示します。
契約管理レポート	ドキュメントの詳細	関連ドキュメントを含む契約のリストを表示します。
契約管理レポート	更新の詳細	すべての契約の更新履歴を表示します。
契約管理レポート	関連付けの詳細	関連付けられたデバイス、ユーザ、コストセンター、部署、サイト、およびライセンスエンタイトルメントを含む契約のリストを表示します。
契約管理レポート	親/子の詳細	契約の階層リストが表示され、親/子の関係を示します。

## 28.3.2 カスタムレポートのサンプル

フォルダ	レポート	説明
契約管理	関連付けられているアセットがないアクティブ契約	関連付けられているアセット(ワークステーションまたはネットワークデバイス)がないアクティブな契約が表示されます。
契約管理	アクティブソフトウェアメンテナンス契約	タイプがソフトウェアメンテナンスのアクティブな契約が表示されます。
契約管理	エバーグリーン規定を持つ契約	エバーグリーン規定を含む(契約終了日のない)すべてのアクティブ契約を表示します。
契約管理	添付付きドキュメントのない契約	添付ドキュメントのない契約がすべて表示されます。
契約管理	Contracts Ending within 90 Days (No Renewal Option)(90日以内に終了する契約(更新オプションなし))	終了日が実行日から90日以内の更新不可能な契約がすべて表示されます。
契約管理	Contracts Ending within 90 Days (Renewal Option)(90日以内に終了する契約(更新オプション付き))	終了日が実行日から90日以内の更新可能な契約がすべて表示されます。
契約管理	Contracts Renewed in Last 90 Days(過去90日以内に更新された契約)	最近90日以内に更新された契約が表示されます。
契約管理	期限切れの契約	期限切れの契約がすべて表示されます。
契約管理	Lease Schedules Ending within 60 Days(60日以内に終了するリーススケジュール)	リーススケジュールが含まれており、現在の終了日がレポート実行日から60日以内の契約が表示されます。
契約管理	保留中契約	保留中の契約がすべて表示されます。

# レポート権限の設定

# 29

ZENworks® Asset Management を使用すると、各レポートフォルダに対する管理者権限を管理できます。各フォルダに関連付けられた権限は、そのフォルダ内のすべてのレポートを対象とします。たとえば、フォルダに対して全権限を持つ場合は、フォルダ内のレポートを編集できますが、表示/実行権限を持つ場合は、フォルダ内のレポートの表示と実行ができるだけです。

アセット管理レポート権限を設定するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [管理者] パネルで管理者をクリックします。
- 3 [管理者タスク] パネル (左のナビゲーションパネル内) で、[アセット管理レポート権限] をクリックします。

フォルダタイプ	フォルダ名	ソース	権限
カスタムレポート	Software Application Usage	使用状況	表示/実行権限
カスタムレポート	Software Compliance	ライセンス管理	表示/実行権限
カスタムレポート	091	ライセンス管理	表示/実行権限
カスタムレポート	Contract Management	契約管理	表示/実行権限
標準レポート	すべての使用状況	使用状況	全権限
標準レポート	アプリケーション使用状況	使用状況	表示/実行権限
標準レポート	契約管理	契約管理	全権限
標準レポート	ネットワークソフトウェア使用状況	使用状況	表示/実行権限
標準レポート	その他のレポート	ライセンス管理	表示/実行権限
標準レポート	購入数	ライセンス管理	全権限
標準レポート	ソフトウェアコンプライアンス	ライセンス管理	表示/実行権限
標準レポート	ソフトウェアファイル使用状況	使用状況	表示/実行権限
標準レポート	スイート	ライセンス管理	全権限
標準レポート	未調整の製品	ライセンス管理	表示/実行権限
標準レポート	Webアプリケーション使用状況	使用状況	表示/実行権限

- 4 権限を変更するフォルダを選択します。
- 5 [編集] をクリックして、次のいずれかをクリックします。
  - **すべての権限の削除:** フォルダに対するすべての権限が削除されるので、管理者がフォルダを見られなくなります。
  - **権限の表示/実行の割り当て:** 管理者は、特定のフォルダ内のレポートを表示したり、実行できますが、フォルダ内のレポートの編集、移動、削除はできません。
  - **全権限の割り当て:** レポートの作成、編集、移動、および削除に対する完全な権限を管理者に与えます。標準レポートに関しては、レポートの変更ができませんので、この設定は [表示/実行] と同じになります。

変更内容は [権限] カラムに反映されます。



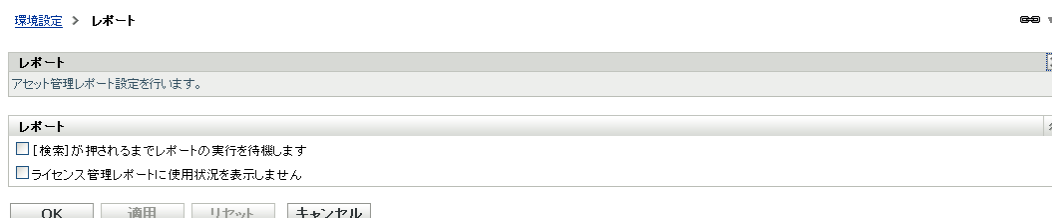
# レポート設定の設定

# 30

アセット管理レポートに関する2つのZENworks®管理ゾーン設定があります。1つの設定では、レポートの起動方法を決定し、もう1つの設定では、すべてのレポートでソフトウェア使用状況を表示するかどうかを決定します。

設定を行うには、次の手順に従ってください。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [管理ゾーンの設定] パネルで、[アセット管理] をクリックし、次に [レポート] をクリックします。



- 3 次のオプションを設定します。

**[検索] が押されるまでレポートの実行を待機します:** デフォルトでは、レポートをクリックすると、レポートが実行されます。このオプションを選択すると、レポートの実行前に検索条件が表示され、[検索] ボタンを押した後でのみ、レポートが実行されます。

**ライセンス管理レポートに使用状況を表示しない:** 多くのリース管理 (ライセンスコンプライアンスとライセンス割り当て) レポートに、ソフトウェア使用状況のデータが含まれています。ソフトウェア使用状況データを収集すると、通常、レポートの生成に必要な時間が増大します。この生成時間を削減する必要があり、レポートに使用状況データを含める必要がない場合は、このオプションを選択します。

- 4 [OK] をクリックし、変更を保存します。





ZENworks® コントロールセンターには、さまざまな事前定義の資産管理レポートがあります。各標準レポートについては、183 ページの第 28 章「標準レポートとカスタムレポートの説明」で説明されています。次の各セクションでは、レポートの使用方法について説明します。

- ◆ 193 ページのセクション 31.1 「レポートの実行」
- ◆ 194 ページのセクション 31.2 「レポートのエクスポート」
- ◆ 194 ページのセクション 31.3 「レポートのグラフ表示」
- ◆ 194 ページのセクション 31.4 「レポート期間の変更」
- ◆ 195 ページのセクション 31.5 「フィルタ基準の変更」

## 31.1 レポートの実行

資産管理の標準レポートの多くは、ソフトウェア製品に関連する使用状況データを含んでいます。そのデータが必要な場合は、データを除外してレポートの生成を高速化できます。詳細については、191 ページのセクション 30 「レポート設定の設定」を参照してください。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[資産管理] タブをクリックします。
- 2 コンプライアンスレポートおよびライセンス割り当てレポートの場合は、[ライセンス管理] タブをクリックしてから、[ライセンス管理レポート] をクリックします。  
または  
ソフトウェア使用状況レポートの場合は、[ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。  
または  
契約管理レポートの場合は、[契約管理] タブをクリックしてから、[契約管理レポート] をクリックします。
- 3 [標準レポート] パネルで、実行したいレポートを見つけます。  
場合によっては、フォルダを開いて、目的のレポートを見つける必要があります。フォルダ内では、レポートは、名前と説明別に一覧されます。レポートのリストおよび説明の詳細については、183 ページの第 28 章「標準レポートとカスタムレポートの説明」を参照してください。
- 4 ソフトウェア使用状況レポートを生成する場合は、次の [グループ化基準] の 1 つを選択することにより、レポートの範囲を制限できます。
  - ◆ **ゾーン**：管理ゾーン全体からのデータを表示します。
  - ◆ **フォルダ**：特定のフォルダ内のデバイスのデータを表示します。[フォルダ] を選択し、次に、 をクリックして、目的のフォルダを参照し、選択します。
  - ◆ **グループ**：特定のグループ内のデバイスのデータを表示します。[グループ] を選択し、次に、 をクリックして、目的のグループを参照し、選択します。

- ◆ **人口統計**：特定の人口統計のデータを表示します。[人口統計] を選択し、次に、[部署]、[サイト]、または [コストセンター] を選択します。

5 レポートをクリックして実行します。

多くのレポートに、リンクされた項目が含まれています。リンクされた項目をクリックすると、項目の詳細情報を表示できます。

## 31.2 レポートのエクスポート

レポートデータは、3つの形式 (Excel、CSV、PDF) にエクスポートできます。

- 1 レポートを実行します。方法については、193 ページのセクション 31.1 「レポートの実行」を参照してください。
- 2 レポート下部にある3つのオプション ([Excel]、[CSV]、[PDF]) の1つをクリックして、レポートをエクスポートします。

現在一覧表示されている項目より多い項目がレポートに含まれる場合は (たとえば、226 製品のうち、1?100 製品が含まれている)、3つの追加オプションが追加されます ([Excel (All)(Excel (すべて))、[CSV (All)(CSV (すべて))、および [PDF (All)(PDF (すべて))])。[Excel]、[CSV]、および [PDF] の各オプションは、現在表示されている項目のみエクスポートします。[Excel (すべて)]、[CSV (すべて)]、および [PDF (すべて)] の各オプションは、すべての項目をエクスポートします。

## 31.3 レポートのグラフ表示

多くのレポートはグラフとして表示できます。この機能が利用可能な場合は、レポートの下部に [グラフ] が表示されます。

レポートは、3つの異なるグラフ (バーグラフ、パイグラフ、線グラフ) として生成されます。グラフは、PDF ファイルとして保存できます。

小さなデータセットのグラフ化が最良です。多数の値を含めると、グラフが読み難くなる場合があります。表示するデータの量を制限するには、フィルタとグループ化の条件を使用します。

- 1 レポートを実行します。方法については、193 ページのセクション 31.1 「レポートの実行」を参照してください。
- 2 レポートの下部にある [グラフ] をクリックします。

現在一覧表示されている項目より多い項目がレポートに含まれている (たとえば、226 製品のうち、1?100 製品が含まれている) 場合は、[グラフ (すべて)] オプションが追加されます。[グラフ] オプションは、現在表示されている項目のみをグラフにします。[グラフ (すべて)] オプションは、すべての項目をグラフにします。

## 31.4 レポート期間の変更

より柔軟なレポートのために、一部のレポートでは期間を変更できますこの機能が使用可能な場合は、レポートの下部に [期間/フィルタの変更] が表示されます。

次の期間の中から選択できます。

- ◆ 先月
- ◆ 直前 3ヶ月

- ◆ 直前 6ヶ月
- ◆ 直前 12ヶ月
- ◆ データベース内のすべての履歴

期間を変更するには、次の手順に従います。

- 1 レポートを実行します。方法については、[193 ページのセクション 31.1 「レポートの実行」](#)を参照してください。
  - 2 **[期間の変更]** をクリックします。
  - 3 **[新規期間]** フィールドで期間を選択します。
  - 4 **[適用]** をクリックします。
- レポートが再実行され、新しい期間がレポートの左上に表示されます。

## 31.5 フィルタ基準の変更

多くのレポートでは、レポートのフィルタ基準を変更できます一部のレポートでは、フィルタ基準がレポートの左側のナビゲーションペインに表示されます。他のレポートでは、レポートの下部にある、**[フィルタの変更]** (または **[期間/フィルタの変更]**) オプションを介して基準にアクセスします。

- 1 レポートを実行します。方法については、[193 ページのセクション 31.1 「レポートの実行」](#)を参照してください。
- 2 フィルタ基準が左のナビゲーションペインに表示されている場合は、条件を変更して、**[検索]** をクリックします。

または

レポートの下部で **[フィルタの変更]** をクリックし、フィルタの 1 つを選択して **[適用]** をクリックします。



ZENworks コントロールセンターでは、アセット管理レポートを作成および実行して、標準レポートに含まれないデータを分析することができます。183 ページの第 28 章「標準レポートとカスタムレポートの説明」には、作成可能なさまざまなタイプのレポートをデモするカスタムレポートのサンプルが示されています。

次の各セクションでは、カスタムレポートを使用する方法について説明します。

- ◆ 197 ページのセクション 32.1 「カスタムレポートの作成」
- ◆ 198 ページのセクション 32.2 「カスタムレポートの実行」
- ◆ 200 ページのセクション 32.3 「カスタムレポートのスケジューリング」
- ◆ 202 ページのセクション 32.4 「スケジュール済みカスタムレポートの表示」
- ◆ 203 ページのセクション 32.5 「カスタムレポートの編集」
- ◆ 206 ページのセクション 32.6 「カスタムレポートフォルダの作成」
- ◆ 206 ページのセクション 32.7 「カスタムレポートフォルダの削除」
- ◆ 207 ページのセクション 32.8 「カスタムレポートの移動」
- ◆ 207 ページのセクション 32.9 「カスタムレポートの削除」
- ◆ 208 ページのセクション 32.10 「新しいレポート定義のインポート」

## 32.1 カスタムレポートの作成

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 コンプライアンスレポートおよびライセンス割り当てレポートの場合は、[ライセンス管理] タブをクリックしてから、[ライセンス管理レポート] をクリックします。  
または  
ソフトウェア使用状況レポートの場合は、[ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。  
または  
契約管理レポートの場合は、[契約管理] タブをクリックしてから、[契約管理レポート] をクリックします。
- 3 [カスタムレポート] パネルで、レポートの作成先フォルダを開きます。
- 4 [新規] をクリックして、[カスタムレポート定義 - ステップ 1/2] ページを表示します。
- 5 次のフィールドに入力します。  
**名前:** レポートの名前を指定します。名前は、作成先のフォルダ内で一意でなければなりません。  
**タイプ:** ライセンス管理レポートと契約管理レポートの場合、このフィールドは、事前設定されています。ソフトウェア使用状況レポートの場合は、作成するレポートのタイプを選択します。タイプによって、表示される [フォーカス] オプションが決まります。

**バックアップの対象:** レポートのフォーカスを選択します。フォーカスによって、レポートに組み込めるフィールドが決まります。たとえば、作成するレポートがライセンス管理タイプで、フォーカスとして [購買記録] を選択した場合は、購買記録に関連するフィールドのみが使用可能になります。

6 [続行] をクリックして、[カスタムレポート定義 - ステップ 2/2] ページを表示します。

7 次のフィールドに入力します。

**名前:** ステップ 5 で入力した名前が表示されます。ID は、必要に応じて変更できます。

**フォルダ:** ステップ 3 で選択したフォルダが表示されます。ID は、必要に応じて変更できます。

**説明:** レポートの説明を指定します。このオプションの選択は任意です

**タイプ:** ステップ 5 で選択したレポートタイプが表示されます。

**列:** 左側にあるリストから、レポートに含めるフィールドを選択します。矢印アイコンを使用して、選択したフィールドを右側のリストに移動します。複数のフィールドを同時に選択するには、<Ctrl> キーを押しながらクリックします。上向き / 下向きのアイコンを使用して、フィールドの表示順序を変更します。

**基準:** データベース内でのフィールドの値に基づいて、エントリを含めたり、除外します。たとえば、購買記録フォーカスを持つレポートの作成時に条件をまったく含めない場合は、生成されたレポートにすべての購買記録が表示されます。ただし、*購入販売店 = CheapSoft* を基準として選択した場合は、販売店が CheapSoft である購買記録のみが表示されます。

ファイル基準を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

**サマリ条件:** 計算された値に基づいて、エントリを含めたり、除外します。

サマリフィルタ条件を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

8 [保存] をクリックします。

レポートが [カスタムレポート] パネルに追加されます。ただし、ページを更新するまで、レポートは表示されません。

## 32.2 カスタムレポートの実行

カスタムレポートにはソフトウェア製品に関連付けられた使用状況データが記載され、使用状況データが必要な場合は、このデータを除外してレポートの生成を高速化できます。詳細については、191 ページの第 30 章「レポート設定の設定」を参照してください。

1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。

2 コンプライアンスレポートおよびライセンス割り当てレポートの場合は、[ライセンス管理] タブをクリックしてから、[ライセンス管理レポート] をクリックします。

または

ソフトウェア使用状況レポートの場合は、[ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。

または

契約管理レポートの場合は、[契約管理] タブをクリックしてから、[契約管理レポート] をクリックします。

- 3 [カスタムレポート] パネルで、実行したいレポートを含むフォルダを開きます。
- 4 レポートをクリックします。

#### カスタムレポート定義サマリ: 除外カタログ製品

<b>説明</b>	コンプライアンス計算から除外されたカタログ製品を一覧表示します
<b>タイプ</b>	ProductCatalog
<b>カラム</b>	カタログ製造元 カタログ製品 カタログバージョン カタログタイプ カタログ製造部品番号 カタログライセンス数
<b>基準</b>	除外カタログ =  はい
<b>作成者</b>	
<b>作成日</b>	08/07/30
<b>前回実行日</b>	08/07/31

#### [実行](#) [スケジュール](#) [通知](#) [編集](#) [コピー](#) [エクスポート](#)

レポート定義が表示されます。レポート定義の編集の詳細については、[203 ページのセクション 32.5「カスタムレポートの編集」](#)を参照してください。

- 5 レポートの下部にある [実行] をクリックします。  
[レポート] ページで、レポートのさまざまなリンクをクリックして追加情報を表示します。対応するリンクをクリックすると、レポートを Excel、CSV、または PDF 形式でエクスポートすることもできます。

## 32.3 カスタムレポートのスケジューリング

レポートを自動的に実行して、レポートの準備ができたなら個々のユーザーに通知を送信するようにスケジュールできます。

電子メール通知を送信する場合は、SMTP 電子メールサーバを前もって定義しておく必要があります。これは、[SMTP 設定] オプションで実行できます ( [環境設定] タブ > [管理ゾーンの設定] パネル > [イベントとメッセージング] > [SMTP 設定] )。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 コンプライアンスレポートおよびライセンス割り当てレポートの場合は、[ライセンス管理] タブをクリックしてから、[ライセンス管理レポート] をクリックします。  
または  
ソフトウェア使用状況レポートの場合は、[ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。  
または  
契約管理レポートの場合は、[契約管理] タブをクリックしてから、[契約管理レポート] をクリックします。
- 3 [カスタムレポート] パネルで、実行したいレポートを含むフォルダを開きます。
- 4 スケジュール設定したいレポートをクリックします。


## カスタムレポート定義サマリ: 除外カタログ製品

説明	コンプライアンス計算から除外されたカタログ製品を一覧表示します
タイプ	ProductCatalog
カラム	カタログ製造元 カタログ製品 カタログバージョン カタログタイプ カタログ製造部品番号 カタログライセンス数
基準	除外カタログ =  はい
作成者	
作成日	08/07/30
前回実行日	08/07/31


[実行](#) [スケジュール/通知](#) [編集](#) [コピー](#) [エクスポート](#)

- 5 [スケジュール/通知] をクリックします。

スケジュールレポート/通知: 未調整の検出された製品

開始日	<input type="text"/> 
頻度	年 <input type="button" value="v"/>
出力	<input checked="" type="radio"/> 保存されたレポートの結果 <input type="radio"/> 通知(電子メール)の送信 <input type="radio"/> 両方 <input checked="" type="checkbox"/> 一致するレコードが見つかった場合にのみ通知を送信/結果を保存します
最大レコード	<input type="text"/>

6 次のフィールドに入力します：


**開始日：**  をクリックして、レポートを生成する最初の日を指定します。

**頻度：** レポートを生成する頻度を選択します (年、月、週、毎日、一回、またはなし)。

**出力：** レポートを生成したら、何をしたいか選択します。レポートを単に保存するか、レポートの準備ができたことを知らせる電子メール通知を送信するか、または両方を選択できます。結果を保存するか、またはレポートにデータがあるときのみ通知を送信するか選択することもできます。

[通知 (電子メール) の送信] または [両方] を選択する場合は、電子メール通知を設定する必要があります。

- **納入フォーマット：** Microsoft Excel ファイルとしてレポートを送信するか、電子メールに添付した PDF ファイルとしてレポート送信するか、または ZENworks サーバに保存されたレポートへのリンクを含めるか選択します。
- **送信者：** 電子メールの [送信者] フィールドに入力する名前を指定します。
- **受信者：** [連絡先] リストには、電子メールアドレスのリストがインベントリデータベースにある個々のユーザが含まれています。リストに必要な電子メールアドレスがない場合は、アドレスをインポートするか、または [追加受信者] フィールドを使用できます。電子メールアドレスのインポートについては、『ZENworks 10 Configuration Management Asset Inventory リファレンス』の「[電子メールアドレスの設定](#)」を参照してください。

[連絡先] リストから受信者を追加するには、 をクリックして受信者を [宛先] リストに追加します。

- **追加受信者：** 少なくとも1つのデフォルト受信者を追加する必要があります。そのためには、このフィールドを使用するか、[受信者] フィールドを使用します。このフィールドを使用するには、少なくとも1つのアドレスを指定します (たとえば、pjones@novell.com)。アドレスは、カンマで区切ってください。

**最大レコード：** レポートに含めるレコードの最大数を指定します。

7 [送信] をクリックします。

レポートがスケジュールされた時間に実行されます。

## 32.4 スケジュール済みカスタムレポートの表示

スケジュールされたレポートは、ZENworks データベースに保存されます。これらのレポートはタイトルまたは日付で参照できます。レポートのスケジュールリングについては、[200 ページのセクション 32.3 「カスタムレポートのスケジュールリング」](#)を参照してください。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 コンプライアンスレポートおよびライセンス割り当てレポートの場合は、[ライセンス管理] タブをクリックしてから、[ライセンス管理レポート] をクリックします。  
または  
ソフトウェア使用状況レポートの場合は、[ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。  
または

契約管理レポートの場合は、[契約管理] タブをクリックしてから、[契約管理レポート] をクリックします。

3 [カスタムレポート] パネルで、次のいずれか1つをクリックします。

- ◆ [アクション] > [スケジュール済みレポートの結果を日付ごとに表示]
- ◆ [アクション] > [スケジュール済みレポートの結果をタイトルごとに表示]

[グループ化によるスケジュール済みレポート] ページが開き、日付またはタイトルでグループ化されたレポートとレポート件数が表示されます。

グループ化によるスケジュール済みレポート	
削除	
<input type="checkbox"/> グループ化 ▾	レポートカウント
<input checked="" type="checkbox"/> 26/05/09	1
◀ ▶ 1 - 1/1	10 ▾ 項目の表示

4 グループをクリックして [スケジュール済みレポート] ページを開き、レポートを選択して表示します。

## 32.5 カスタムレポートの編集

1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。

2 コンプライアンスレポートおよびライセンス割り当てレポートの場合は、[ライセンス管理] タブをクリックしてから、[ライセンス管理レポート] をクリックします。

または

ソフトウェア使用状況レポートの場合は、[ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。

または

契約管理レポートの場合は、[契約管理] タブをクリックしてから、[契約管理レポート] をクリックします。

3 [カスタムレポート] パネルで、編集するレポートを含むフォルダを開きます。

4 レポートをクリックします。

### カスタムレポート定義サマリ: 除外カタログ製品

<b>説明</b>	コンプライアンス計算から除外されたカタログ製品を一覧表示します
<b>タイプ</b>	ProductCatalog
<b>カラム</b>	カタログ製造元 カタログ製品 カタログバージョン カタログタイプ カタログ製造部品番号 カタログライセンス数
<b>基準</b>	除外カタログ =  はい
<b>作成者</b>	
<b>作成日</b>	08/07/30
<b>前回実行日</b>	08/07/31

[実行](#) [スケジュール](#) [通知](#) [編集](#) [コピー](#) [エクスポート](#)

- 5 レポートの下部にある [\[編集\]](#) をクリックします。



6 次のフィールドを編集します。

**名前:** レポートの名前。指定する名前は、そのレポートを保存するフォルダ内で一意でなければなりません。

**フォルダ:** レポートを保存するフォルダ。

**説明:** レポートの説明。このフィールドはオプションです。

**タイプ:** レポートのタイプ。

**列:** 左側にあるリストから、レポートに含めるフィールドを選択します。矢印アイコンを使用して、選択したフィールドを右側のリストに移動します。複数のフィールドを同時に選択するには、<Ctrl> キーを押しながらクリックします。上向き/下向きのアイコンを使用して、フィールドの表示順序を変更します。

**基準:** データベース内でのフィールドの値に基づいて、エントリを含めたり、除外します。たとえば、購買記録フォーカスを持つレポートの作成時に条件をまったく含めない場合は、生成されたレポートにすべての購買記録が表示されます。ただし、**購入販売店 = CheapSoft** を基準として選択した場合は、販売店が **CheapSoft** である購買記録のみが表示されます。

ファイル基準を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

**サマリ条件:** 計算された値に基づいて、エントリを含めたり、除外します。

サマリフィルタ条件を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

7 [保存] をクリックします。

## 32.6 カスタムレポートフォルダの作成

フォルダを作成して、カスタムレポートを組織化できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 コンプライアンスレポートおよびライセンス割り当てレポートの場合は、[ライセンス管理] タブをクリックしてから、[ライセンス管理レポート] をクリックします。  
または  
ソフトウェア使用状況レポートの場合は、[ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。  
または  
契約管理レポートの場合は、[契約管理] タブをクリックしてから、[契約管理レポート] をクリックします。
- 3 [カスタムレポート] パネルで、[新規] をクリックして、[新規フォルダダイアログボックス] を表示します。
- 4 [名前] フィールドでフォルダの名前を指定して、[OK] をクリックします。  
名前は、[カスタムレポート] リスト内で一意でなければなりません。

## 32.7 カスタムレポートフォルダの削除

フォルダおよびそのフォルダ内のすべてのレポートを削除するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 コンプライアンスレポートおよびライセンス割り当てレポートの場合は、[ライセンス管理] タブをクリックしてから、[ライセンス管理レポート] をクリックします。  
または  
ソフトウェア使用状況レポートの場合は、[ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。  
または  
契約管理レポートの場合は、[契約管理] タブをクリックしてから、[契約管理レポート] をクリックします。
- 3 [カスタムレポート] パネルで、削除するフォルダを選択します。
- 4 [削除] をクリックし、次に [OK] をクリックして削除を確認します。

## 32.8 カスタムレポートの移動

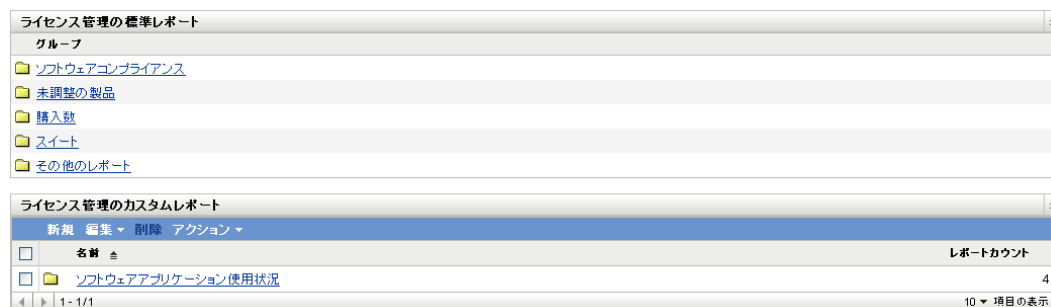
カスタムレポートは、1つのフォルダから別のフォルダに移動できます。移動先フォルダは、ソースフォルダと同じタイプでなければなりません(ライセンス管理、ソフトウェア使用状況、または契約管理)。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 コンプライアンスレポートおよびライセンス割り当てレポートの場合は、[ライセンス管理] タブをクリックしてから、[ライセンス管理レポート] をクリックします。  
または  
ソフトウェア使用状況レポートの場合は、[ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。  
または  
契約管理レポートの場合は、[契約管理] タブをクリックしてから、[契約管理レポート] をクリックします。
- 3 [カスタムレポート] パネルで、移動するレポートを選択して、[編集] > [移動] の順にクリックします。
- 4 [新しいレポートのロケーション] リストで、移動先のフォルダを選択して、[OK] をクリックします。

## 32.9 カスタムレポートの削除

カスタムレポートを削除するには、次の手順に従います。

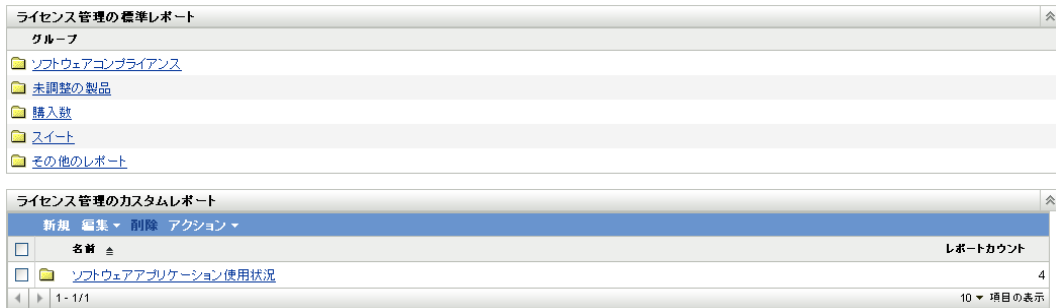
- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンス管理レポート] をクリックします。



- 3 [ライセンス管理のカスタムレポート] パネルで、削除するレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 4 削除するレポートを選択します。
- 5 [削除] をクリックします。

フォルダ(およびそのフォルダ内のすべてのレポート)を削除するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンス管理レポート] をクリックします。



- 3 [ライセンス管理のカスタムレポート] パネルで、削除するレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 4 [削除] をクリックします。

## 32.10 新しいレポート定義のインポート

レポートを ZENworks Asset Management 7.5 で定義した場合は、ZENworks コントロールセンターにインポートできます。ZENworks コントロールセンターによってエクスポートされたレポートを再インポートすることもできます。

レポート定義をインポートするには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[アセット管理] タブをクリックします。
- 2 コンプライアンスレポートおよびライセンス割り当てレポートの場合は、[ライセンス管理] タブをクリックしてから、[ライセンス管理レポート] をクリックします。  
または  
ソフトウェア使用状況レポートの場合は、[ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。  
または  
契約管理レポートの場合は、[契約管理] タブをクリックしてから、[契約管理レポート] をクリックします。
- 3 [カスタムレポート] パネルで、[アクション] > [新規レポート定義のインポート] の順にクリックします。

### カスタムレポート定義のインポート

クエリインポートファイル:

- 4 [クエリインポートファイル] フィールドでファイルを指定するか、または [ブラウズ] をクリックしてファイルを検索して選択します。
- 5 [インポート] をクリックします。

# ZENworks Reporting Server レポートの操作

# 33

ZENworks コントロールセンターの [アセット管理] タブから作成し、生成できるソフトウェア使用状況レポート、ライセンス管理レポート、契約管理レポートの他に、ZENworks Reporting Server を使用すると、追加レポートを生成できます。

ZENworks Reporting Server は、強力で柔軟な、カスタマイズ可能なレポートングツールであり、ZENworks システムとは別個にインストールして設定します (『ZENworks 10 Configuration Management Reporting Server インストールガイド』を参照)。

Reporting Server を使用すると、追加の事前定義されたアセット管理レポートを表示したり、カスタムレポートを作成できます。次のセクションでは、事前定義されたレポートとその表示方法を説明します。

- ◆ 209 ページのセクション 33.1 「定義済みレポート」
- ◆ 211 ページのセクション 33.2 「事前定義レポートの表示」

カスタムレポートの作成については、『ZENworks 10 Configuration Management システムレポートングリファレンス』を参照してください。

## 33.1 定義済みレポート

定義済みの Asset Management レポートは、4つのカテゴリに分類されます。

- ◆ 209 ページのセクション 33.1.1 「ライセンス割り当てレポート」
- ◆ 210 ページのセクション 33.1.2 「購入レポート」
- ◆ 210 ページのセクション 33.1.3 「ソフトウェアコンプライアンスレポート」
- ◆ 211 ページのセクション 33.1.4 「スイートレポート」

### 33.1.1 ライセンス割り当てレポート

レポートタイトル	説明
コストセンター別割り当てステータス	ライセンス製品をコストセンター別にグループ化し、ライセンス製品の割り当ての過剰 (インストール数よりもライセンス数が多い) または不足 (ライセンス数よりもインストール数が多い) を示します。
部署別割り当てステータス	ライセンス製品を部署別にグループ化し、ライセンス製品の割り当ての過剰 (インストール数よりもライセンス数が多い) または不足 (ライセンス数よりもインストール数が多い) を示します。
サイト別割り当てステータス	ライセンス製品をサイト別にグループ化し、ライセンス製品の割り当ての過剰 (インストール数よりもライセンス数が多い) または不足 (ライセンス数よりもインストール数が多い) を示します。

レポートタイトル	説明
割り当て数対インストール数	ライセンス製品について、割り当てられたライセンスとインストールの総数との差異を表示します。結果は、過剰に割り当てられたライセンスと割り当てが不足しているライセンスの数です。
現在の割り当て	各ライセンス製品について、ライセンスの総数と、割り当てられている数、割り当てられていない数を表示します。
人口統計的に割り当て過剰	統計的に割り当てられたライセンスの数が、統計に関連付けられたインストール数よりも多いすべてのライセンス製品のリストを表示します。
人口統計的に割り当て不足	統計的に割り当てられたライセンスの数が、統計に関連付けられたインストール数よりも少ないすべてのライセンス製品のリストを表示します。
デバイスの割り当て過剰	デバイスに割り当てられたライセンスの数がデバイスに関連付けられたインストール数よりも少ない、すべてのライセンス製品のリストを表示します。
重複した割り当て	統計割り当てと重複するデバイス割り当てがあるライセンス製品すべてのリストを表示します。
割り当てられていないインストール数	統計またはデバイス割り当ての範囲ではない、インストールされた製品があるライセンス製品すべてのリストを表示します。

### 33.1.2 購入レポート

レポートタイトル	説明
購入記録詳細	完全な詳細 (PO 番号、販売者、製造元、価格など) を含むすべての購入記録のリストを表示します。
購入記録概要	購入記録をカタログ製品別にまとめます。各カタログ製品について、製品タイプ、購入数量、平均単価、合計価格のリストを表示します。

### 33.1.3 ソフトウェアコンプライアンスレポート

レポートタイトル	説明
コストセンター別ソフトウェアコンプライアンス	ライセンス製品をコストセンター別にグループ化し、ライセンス製品がライセンス過剰か (インストール数よりもライセンス数が多い)、またはライセンス不足か (ライセンス数よりもインストール数が多い) 表示します。
部署別ソフトウェアコンプライアンス	ライセンス製品を部署別にグループ化し、ライセンス製品がライセンス過剰か (インストール数よりもライセンス数が多い)、またはライセンス不足か (ライセンス数よりもインストール数が多い) を表示します。

レポートタイトル	説明
サイト別ソフトウェアコンプライアンス	ライセンス製品をサイト別にグループ化し、ライセンス製品がライセンス過剰か (インストール数よりもライセンス数が多い)、またはライセンス不足か (ライセンス数よりもインストール数が多い) を表示します。

### 33.1.4 スイートレポート

レポートタイトル	説明
検出されたスタンドアロンコンポーネント	デバイスのインベントリスキャンで検出されたスイートの個々のコンポーネントのリストを表示します。各コンポーネントについて、インストール数と使用されている数のリストが表示されます。

## 33.2 事前定義レポートの表示

事前定義レポートを使用するには、ZENworks Reporting Server をインストールして設定しておく必要があります。詳細については、『[ZENworks 10 Configuration Management Reporting Server インストールガイド](#)』を参照してください。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] タブをクリックします。
- 2 [ZENworks Reporting Server] パネルで、[ZENworks Reporting Server InfoView] をクリックします。  
InfoView は、ZENworks Reporting Server のレポートを操作するメインインタフェースです。
- 3 [ドキュメントリスト] をクリックします。
- 4 [すべて] > [Public Folders(パブリックフォルダ)] > [Novell ZENworks Reports(Novell ZENworks レポート)] > [Predefined Reports(事前定義レポート)] > [アセット管理] > [ライセンス管理] フォルダの順に移動します。  
アセット管理のレポートは、4つのサブフォルダに分類されます ([ライセンスの割り当て]、[購入数]、[ソフトウェアコンプライアンス]、[スイート])。それぞれのレポートの簡単な説明については、[209 ページのセクション 33.1「定義済みレポート」](#)を参照してください。
- 5 表示したいレポートを含むフォルダを開きます。
- 6 表示するレポートをダブルクリックします。

